

## 生命保険について

ここでは、単身赴任、下宿等で現在同居していないご家族も含めてお答えください。

ここでいう生命保険には、個人年金保険及び積立型損害保険は含みません。

住宅ローン等の借入に伴う「団体信用生命保険」の利用については含めないでお考えください。

民間生命保険会社については、原則として、会社名が、全てカタカナまたはアルファベットである会社は外資系、その他の、漢字や、ひらがな・カタカナの混じった名前の会社は国内系とお考えください。但し、あおば生命(外資系)、オリックス生命(国内系)、ソニー生命(国内系)、T&D フィナンシャル生命(国内系)の4社は例外となります。

### 1. 生命保険への加入状況 (問22 複数回答)

問22 お宅では、現在、どの保険会社等の生命保険に加入していますか。(はいくつでも)

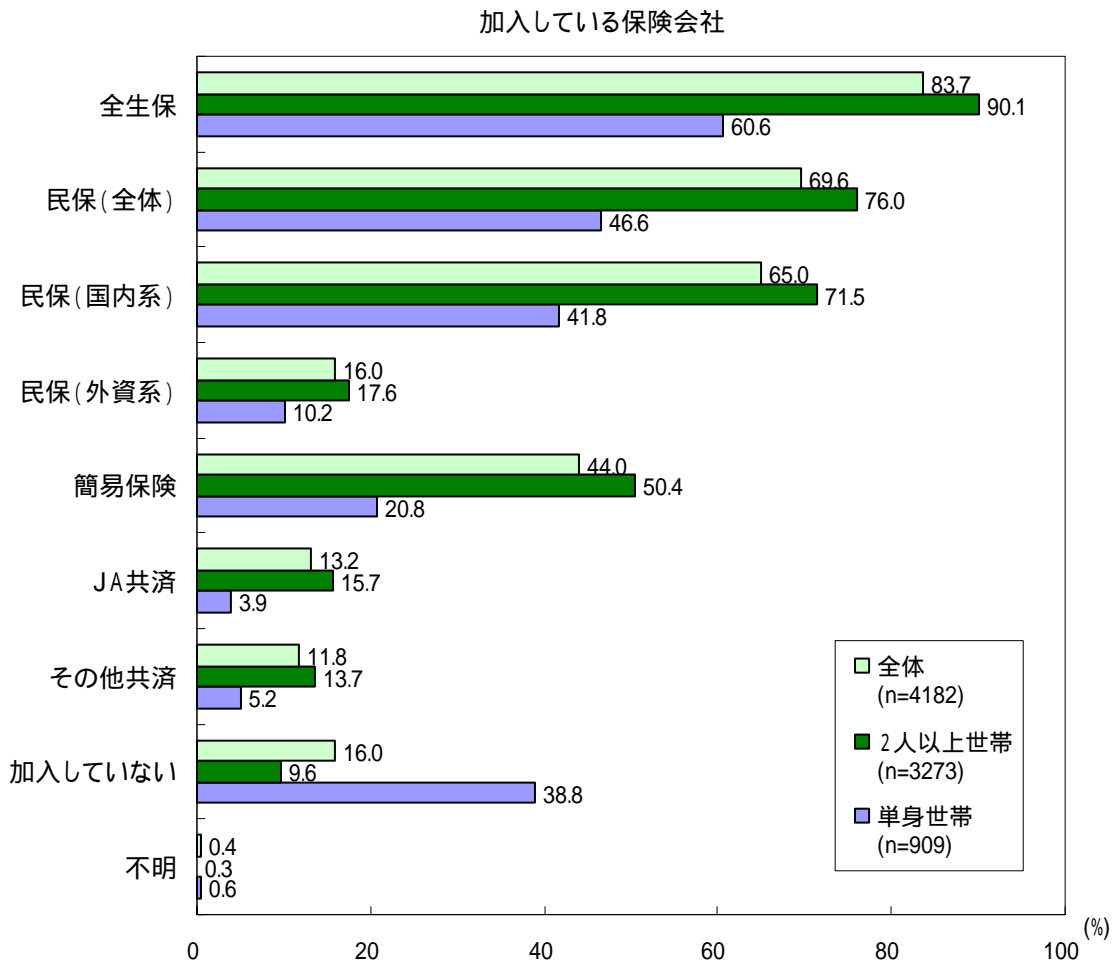
#### <世帯別>

生命保険への加入率(全生保)は、2人以上世帯(n=3,273)では90.1%、単身世帯(n=909)では60.6%と、2人以上世帯の加入率が大幅に高くなっている。

加入している保険会社をみると、「民保(国内系)」(2人以上世帯 71.5%、単身世帯 41.8%)の割合が最も高く、次いで「簡易保険」(2人以上世帯 50.4%、単身世帯 20.8%)、「民保(外資系)」(2人以上世帯 17.6%、単身世帯 10.2%)が続いている。

「全生保」とは、民保(国内系)、民保(外資系)、簡易保険、JA共済、その他共済のうち、いずれかに加入していることをいう。

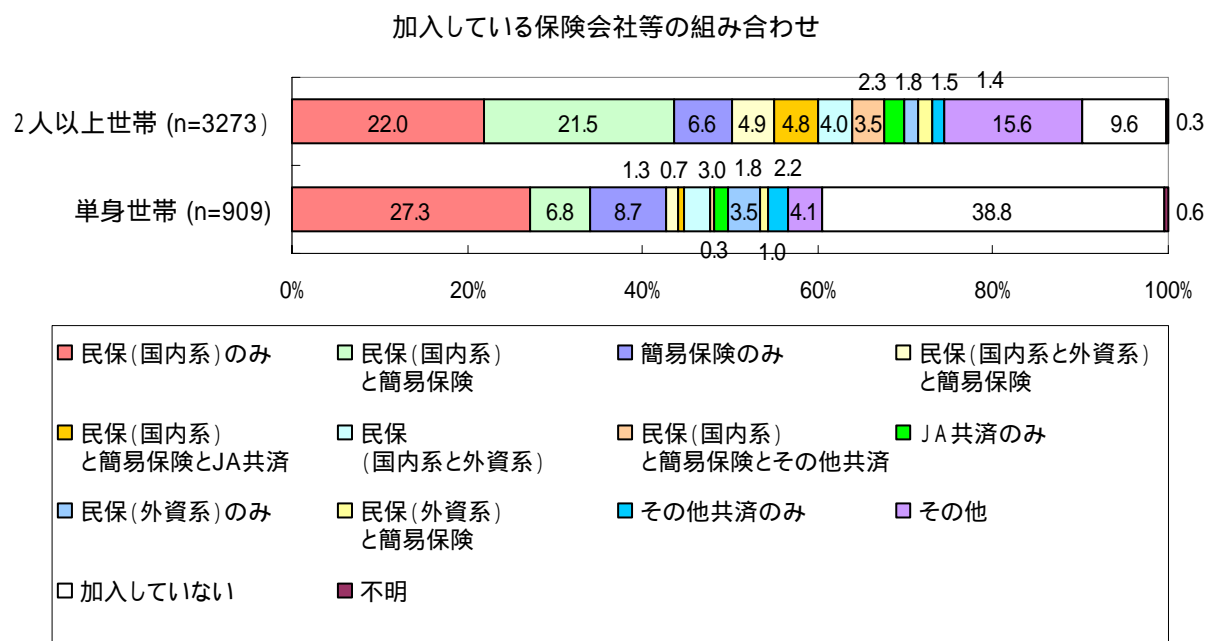
「民保(全体)」は、民保(国内系)または民保(外資系)に加入していることをいう。



## <加入している保険会社の組み合わせ>

加入している保険会社の組み合わせをみると、2人以上世帯では、「民保(国内系)のみ」(22.0%)の割合が最も高く、次いで、「民保(国内系)と簡易保険」(21.5%)に加入している世帯が続いている。

単身世帯では、「民保(国内系)のみ」(27.3%)が圧倒的に高く、次いで、「簡易保険のみ」(8.7%)となっている。2人以上世帯と比較すると、「民保(外資系)のみ」(3.5%)、「その他共済のみ」(2.2%)の割合が高くなっている。



## 上位の組み合わせ

順位	組み合わせ	2人以上世帯		単身世帯	
		人数	割合	人数	割合
1	民保(国内系)のみ	721	22.0%	248	27.3%
2	民保(国内系)と簡易保険	705	21.5%	62	6.8%
3	簡易保険のみ	216	6.6%	79	8.7%
4	民保(国内系)と民保(外資系)と簡易保険	162	4.9%	12	1.3%
5	民保(国内系)と簡易保険とJA共済	158	4.8%	6	0.7%
6	民保(国内系)と民保(外資系)	132	4.0%	27	3.0%
7	民保(国内系)と簡易保険とその他共済	115	3.5%	3	0.3%
8	民保(国内系)とその他共済	91	2.8%	6	0.7%
9	民保(国内系)とJA共済	89	2.7%	6	0.7%
10	簡易保険とJA共済	80	2.4%	7	0.8%
11	JA共済のみ	74	2.3%	16	1.8%
12	民保(外資系)のみ	59	1.8%	32	3.5%
13	民保(外資系)と簡易保険	49	1.5%	9	1.0%
14	その他共済のみ	46	1.4%	20	2.2%

加入している保険会社等の組み合わせ(全体)

種類	組み合わせ			2人以上世帯		単身世帯		全体		
				人数	割合	人数	割合	人数	割合	
1	民保(国内系)			721	22.0%	248	27.3%	969	23.2%	
	民保(外資系)			59	1.8%	32	3.5%	91	2.2%	
	簡易保険			216	6.6%	79	8.7%	295	7.1%	
	JA共済			74	2.3%	16	1.8%	90	2.2%	
	その他共済			46	1.4%	20	2.2%	66	1.6%	
2	民保 (国内系)	民保(外資系)		132	4.0%	27	3.0%	159	3.8%	
		簡易保険		705	21.5%	62	6.8%	767	18.3%	
		JA共済		89	2.7%	6	0.7%	95	2.3%	
		その他共済		91	2.8%	6	0.7%	97	2.3%	
	民保 (外資系)	簡易保険		49	1.5%	9	1.0%	58	1.4%	
		JA共済		5	0.2%	0	-	5	0.1%	
		その他共済		12	0.4%	2	0.2%	14	0.3%	
	簡易保険	JA共済		80	2.4%	7	0.8%	87	2.1%	
		その他共済		35	1.1%	5	0.6%	40	1.0%	
	JA共済	その他共済		2	0.1%	0	-	2	0.0%	
3	民保 (国内系)	民保(外資系)	簡易保険		162	4.9%	12	1.3%	174	4.2%
			JA共済		16	0.5%	0	-	16	0.4%
			その他共済		36	1.1%	5	0.6%	41	1.0%
		簡易保険	JA共済		158	4.8%	6	0.7%	164	3.9%
			その他共済		115	3.5%	3	0.3%	118	2.8%
			JA共済	その他共済		8	0.2%	0	-	8
	民保 (外資系)	簡易保険	JA共済		6	0.2%	0	-	6	0.1%
			その他共済		15	0.5%	1	0.1%	16	0.4%
	簡易保険	JA共済	その他共済		1	0.0%	0	-	1	0.0%
		簡易保険			7	0.2%	0	-	7	0.2%
4	民保(国内系)以外			1	0.0%	0	-	1	0.0%	
	民保(外資系)以外			25	0.8%	0	-	25	0.6%	
	簡易保険以外			7	0.2%	0	-	7	0.2%	
	JA共済以外			39	1.2%	5	0.6%	44	1.1%	
	その他共済以外			29	0.9%	0	-	29	0.7%	
5	すべて			7	0.2%	0	-	7	0.2%	
加入していない				315	9.6%	353	38.8%	668	16.0%	
不明				10	0.3%	5	0.6%	15	0.4%	
合計				3273		909		4182		

**参 考**

**生命保険について 類似調査との比較 (2人以上世帯)**

2人以上世帯について、「平成 15 年度 生命保険に関する全国実態調査」(生命保険文化センター、以下「生保実態調査」という。)と主な項目の調査結果を比較する。

「平成 15 年度 生命保険に関する全国実態調査」(生命保険文化センター)の調査概要

調査地域	全国(436 地点)
調査対象	世帯員2人以上の一般世帯
標本数	6,500
回収数(率)	4,725 (72.7%)
調査時期	平成 15 年 5 月 2 日 ~ 6 月 8 日

「生保実態調査」においては、生命保険の世帯加入率は 89.6%となっており、生命保険の定義について、「個人年金保険を含む」「JAを除く生命共済を含まない」などの違いはあるが、本調査の結果とおおむね近い数字となっている。加入件数、加入保険金額、払込保険料についても大きな乖離はみられないが、支出可能保険料及び万一の場合の必要生活資金については、本調査では、生保実態調査と比較して、6-7 割の低い数字となっている。これは、本調査では両項目については選択式であり、平均算出の際に、支出可能保険料については「10 万円以上」を「10 万円」と、必要生活資金については、「1 億 5 千万円以上」を「1 億 5 千万円」とみなして計算していることや質問方法が異なること(「生保実態調査」では、「1年間にいくらのお金が必要で、何年分あれば大丈夫」という聞き方をしている。)が一因と考えられる。

「平成 15 年度 生命保険に関する全国実態調査」の調査結果との比較(主な項目) < 2人以上世帯 >

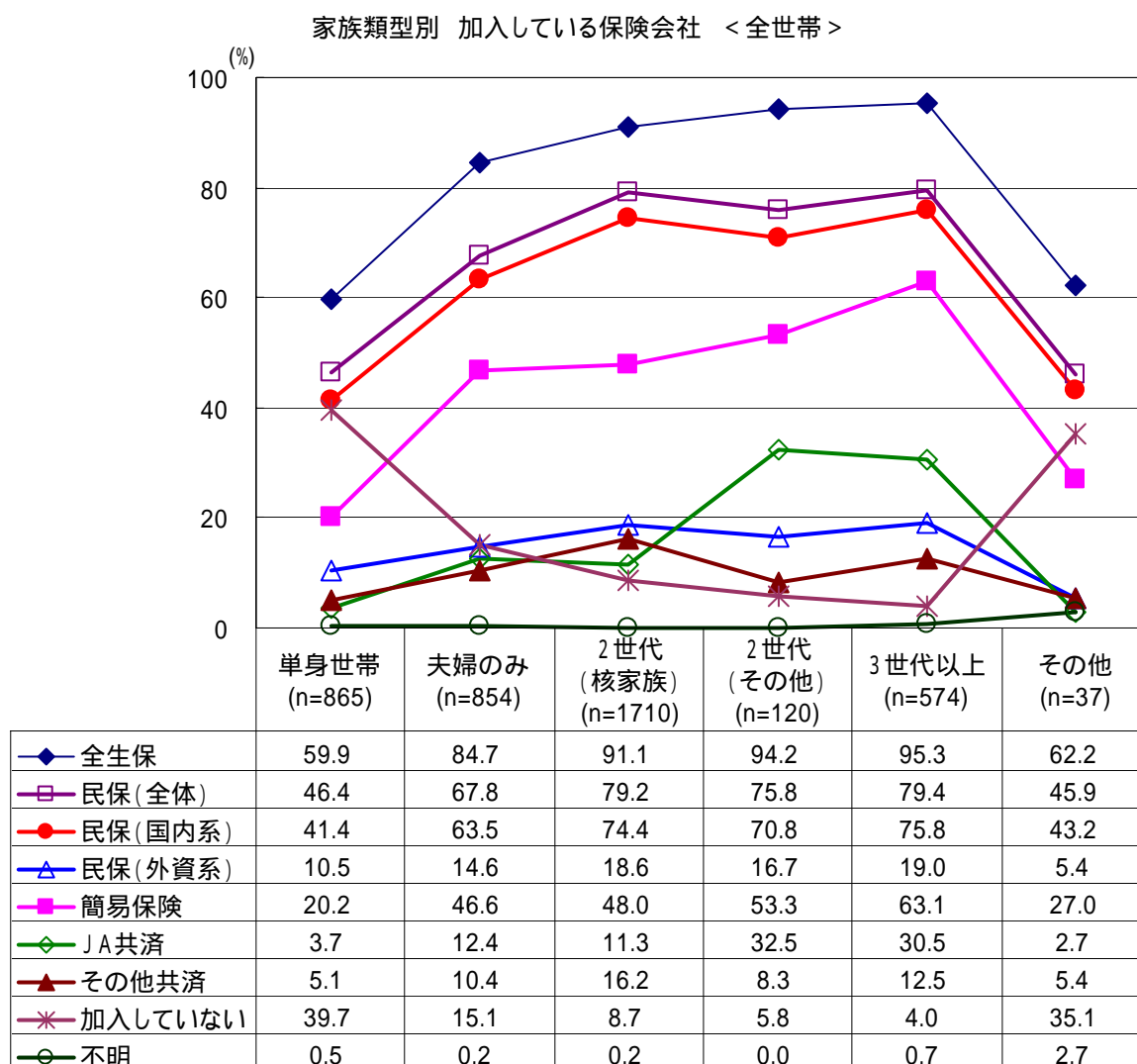
		第8回金融機関利用調査	生保実態調査 H15
生命保険の 世帯加入率	全体	90.1%	89.6%
	民保	76.0%	76.1%
	簡保	50.4%	48.7%
	農協	15.7%	15.0%
生命保険の 世帯加入件数 (平均)	全体	4.1 件	4.3 件
	民保	国内系 2.5 件 外資系 1.8 件	3.0 件
	簡保	2.4 件	2.5 件
	農協	2.1 件	2.4 件
生命保険の 世帯加入保険金額 (平均)	全体	4,173 万円	3,697 万円
	民保	国内系 3,719 万円 外資系 1,832 万円	3,441 万円
	簡保	916 万円	812 万円
	農協	2,624 万円	2,567 万円
生命保険の 世帯払込保険料 (月額、平均)	全体	4.9 万円	年 53.1 万円(月 4.4 万円)
	民保	国内系 3.3 万円 外資系 1.7 万円	年 38.7 万円(月 3.2 万円)
	簡保	3.0 万円	年 30.5 万円(月 2.5 万円)
	農協	2.8 万円	年 29.7 万円(月 2.5 万円)
支出可能保険料(月額、平均)		2.9 万円	年 54.8 万円(月 4.6 万円)
万一の場合の必要生活資金(平均)		4,636 万円	6,765 万円

## < 家族類型別 > (全世帯)

全世帯について、家族類型別にみると、生命保険への加入率(全生保)は、「3世代以上」(95.3%)が最も高くなっている。

なお、ここでいう「家族類型」は別居を含む家族についてみており、例えば「単身」については、世帯別における「単身世帯」とは異なる。

加入している保険会社については、「JA共済」では、核家族以外での加入率が高い。

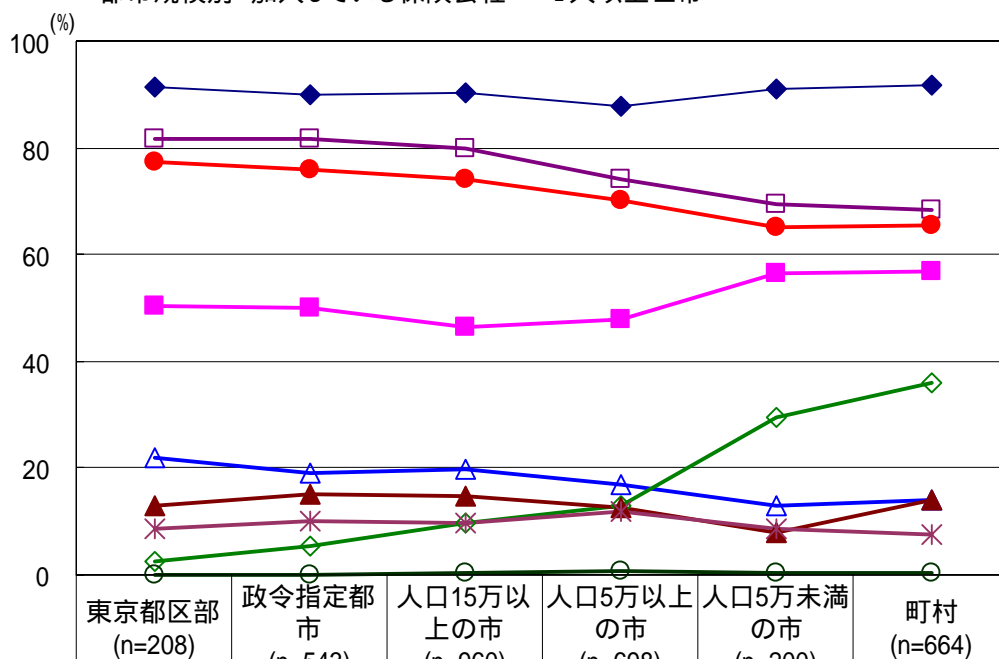


### <都市規模別> (2人以上世帯)

2人以上世帯について都市規模別にみると、生命保険への加入率(全生保)は、都市規模によって大きな差はみられない。

加入している保険会社については、「JA共済」及び「簡易保険」では、「町村」「人口5万未満の市」における加入率が相対的に高い。

都市規模別 加入している保険会社 <2人以上世帯>



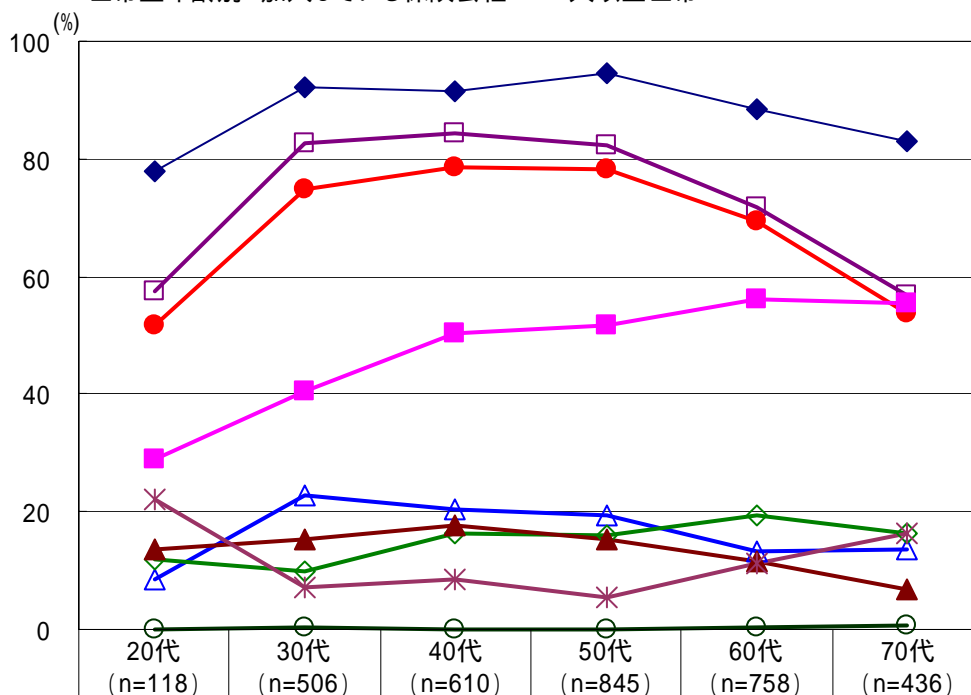
	東京都区部 (n=208)	政令指定都 市 (n=543)	人口15万以 上の市 (n=960)	人口5万以上 の市 (n=698)	人口5万未満 の市 (n=200)	町村 (n=664)
◆ 全生保	91.3	89.9	90.2	87.7	91.0	91.9
□ 民保(全体)	81.7	81.6	79.7	74.1	69.5	68.4
● 民保(国内系)	77.4	75.9	74.3	70.1	65.0	65.5
△ 民保(外資系)	22.1	19.2	19.8	16.8	13.0	14.0
■ 簡易保険	50.5	50.1	46.5	48.0	56.5	56.9
◇ JA共済	2.4	5.3	9.8	12.9	29.5	35.8
▲ その他共済	13.0	15.1	14.7	12.8	8.0	13.9
✱ 加入していない	8.7	10.1	9.6	11.7	8.5	7.7
○ 不明	0.0	0.0	0.2	0.6	0.5	0.5

### <世帯主年齢別> (2人以上世帯)

2人以上世帯について世帯主の年齢別にみると、生命保険への加入率(全生保)は、20代が最も低く、70代の世帯が比較的低く、30代、40代、50代が高くなっている。

加入している保険会社については、「民保(外資系)」では30代の、「簡易保険」では60代及び70代の加入率が相対的に高い。

世帯主年齢別 加入している保険会社 <2人以上世帯>



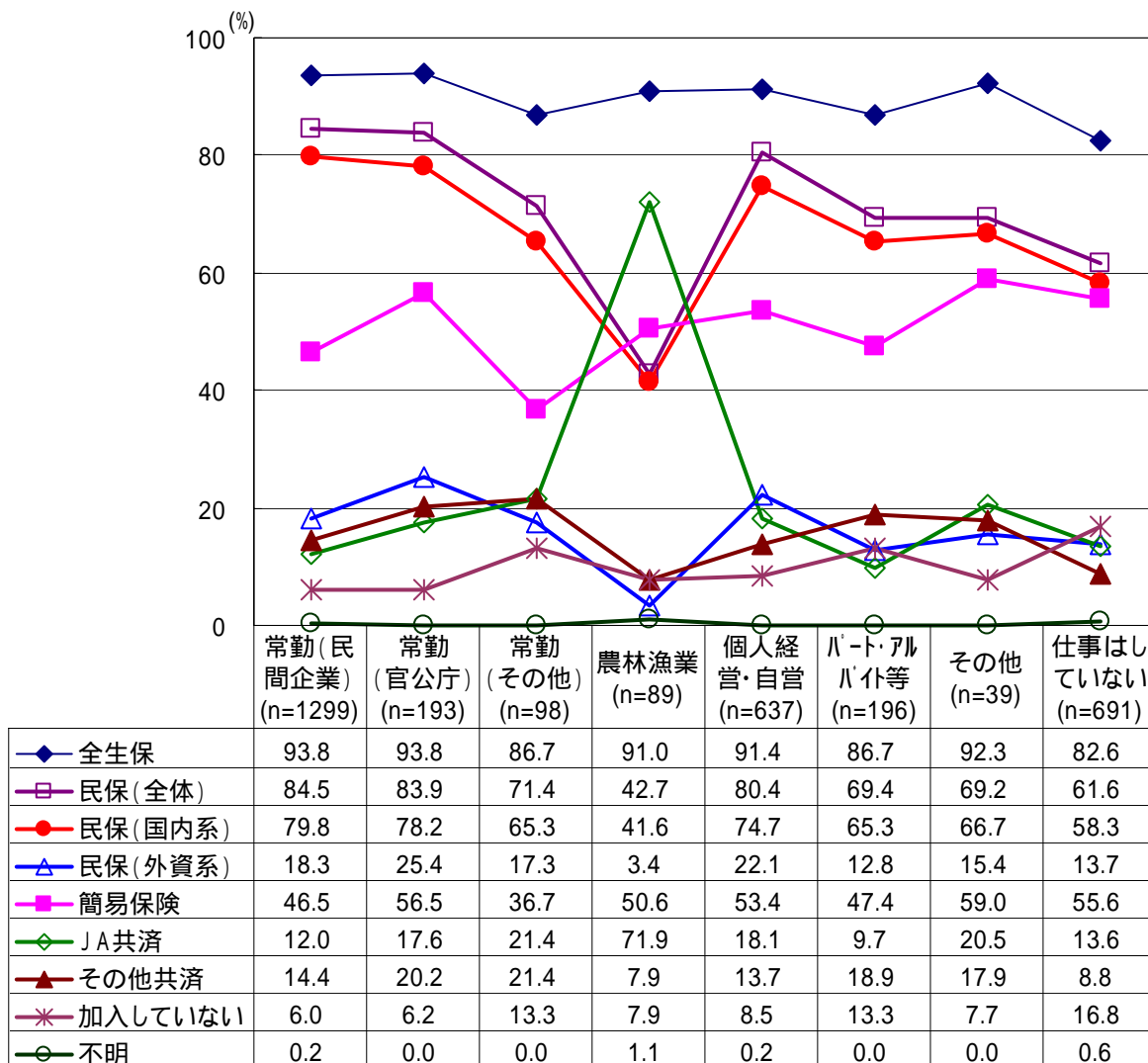
	20代 (n=118)	30代 (n=506)	40代 (n=610)	50代 (n=845)	60代 (n=758)	70代 (n=436)
◆ 全生保	78.0	92.3	91.5	94.4	88.5	83.0
□ 民保(全体)	57.6	82.6	84.3	82.4	71.9	56.7
● 民保(国内系)	51.7	74.7	78.7	78.2	69.4	53.7
△ 民保(外資系)	8.5	22.9	20.5	19.5	13.3	13.5
■ 簡易保険	28.8	40.3	50.3	51.8	56.1	55.3
◇ JA共済	11.9	9.9	16.2	16.0	19.3	16.3
▲ その他共済	13.6	15.4	17.5	15.4	11.5	6.7
* 加入していない	22.0	7.3	8.4	5.4	11.1	16.3
○ 不明	0.0	0.4	0.2	0.1	0.4	0.7

## <世帯主職業別> (2人以上世帯)

2人以上世帯について世帯主職業別にみると、生命保険への加入率(全生保)は、「現在、収入を伴う仕事をしていない」では若干低くなっているが、その他については大きな差はみられない。

加入している保険会社については、「JA共済」では、「農林漁業に従事」における加入率が相対的に高い。

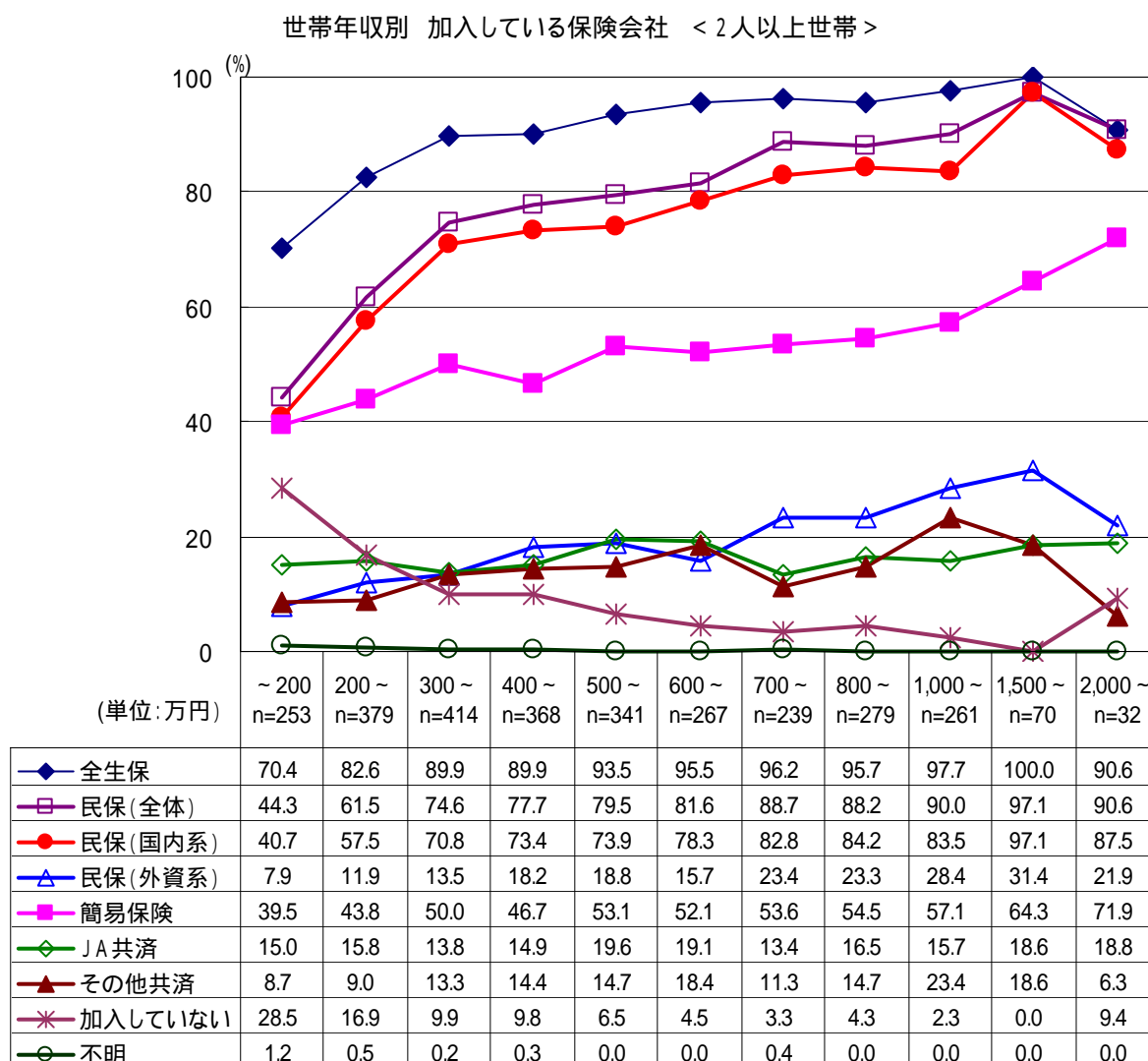
世帯主職業別 加入している保険会社 <2人以上世帯>





### <世帯年収別> (2人以上世帯)

2人以上世帯について世帯年収別にみると、生命保険への加入率(全生保)は、「2,000万円以上」を除き、年収が上がるほど高くなる傾向がみられる。



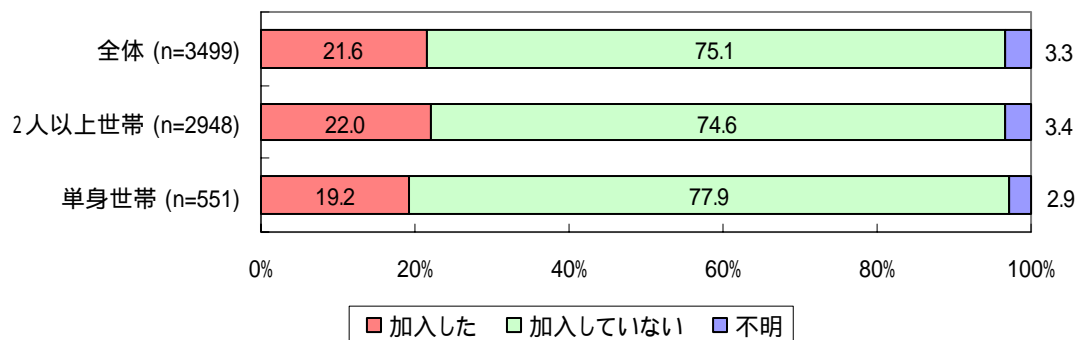
## 2. 1年以内に加入した生命保険（問23 複数回答）

問 23 そのうち、1年以内に加入した生命保険がある場合は、下記の該当する保険会社等に つけてください。（はいくつでも）  
 なお、ここでの「1年以内に加入した」には、既存契約が満期となり、その会社等と再契約した場合を含みます。

### <世帯別>

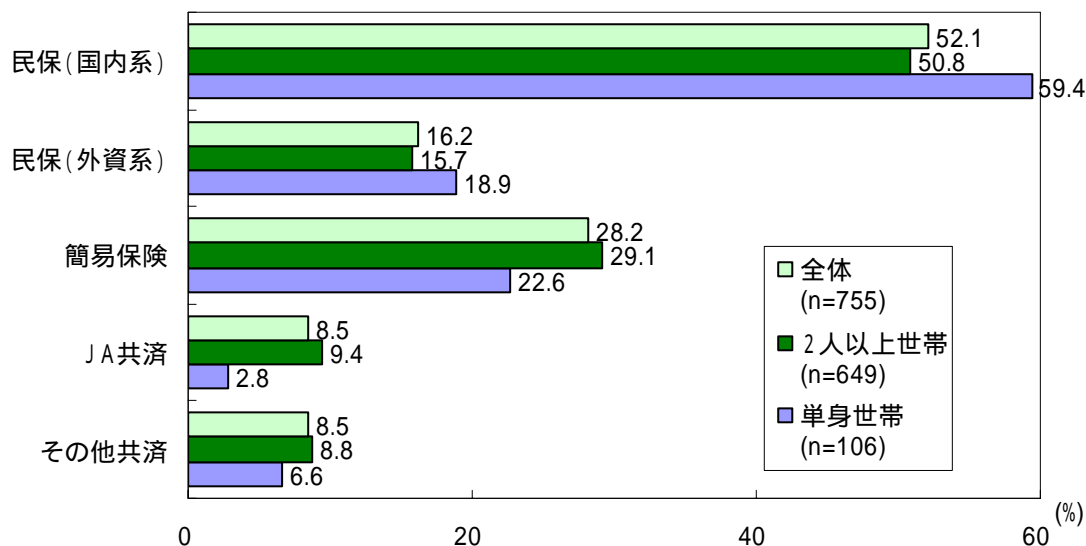
生命保険に現在加入している世帯(n=3,499)のうち、21.6%の世帯(n=755)が1年以内に新たに加入している。

1年以内の生命保険への加入の有無 <現在生命保険に加入している世帯>



その内訳をみると、「民保(国内系)」(52.1%)の割合が最も高く、以下、「簡易保険」(28.2%)、「民保(外資系)」(16.2%)、「JA共済」(8.5%)、「その他共済」(8.5%)の順となっている。

1年以内に加入した保険会社 <現在生命保険に加入している世帯>



### 3. 1年以内に生命保険に加入したきっかけ (問24)

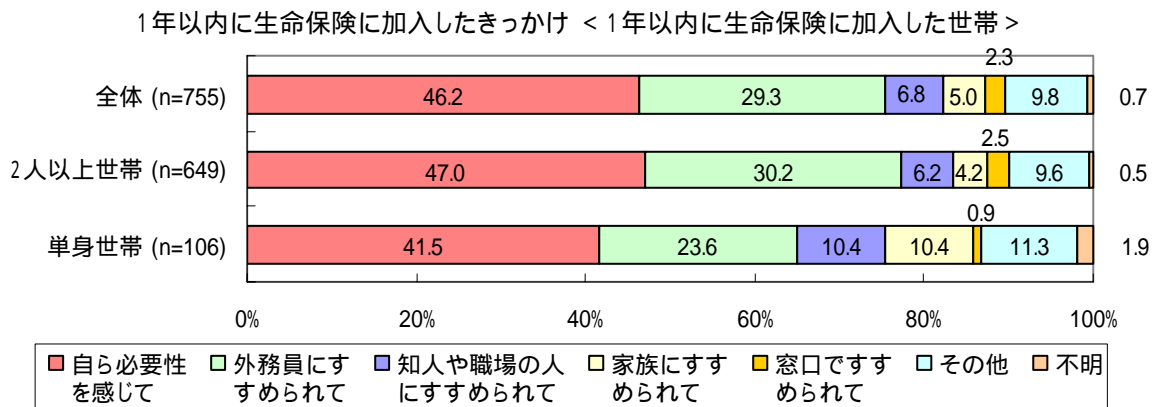
(問24～27については、問23で1～5に つけた世帯にお伺いします。)

問24 今回、生命保険に加入したきっかけとして、最もよくあてはまるものを一つ選んでください。( は1つ)

#### < 世帯別 >

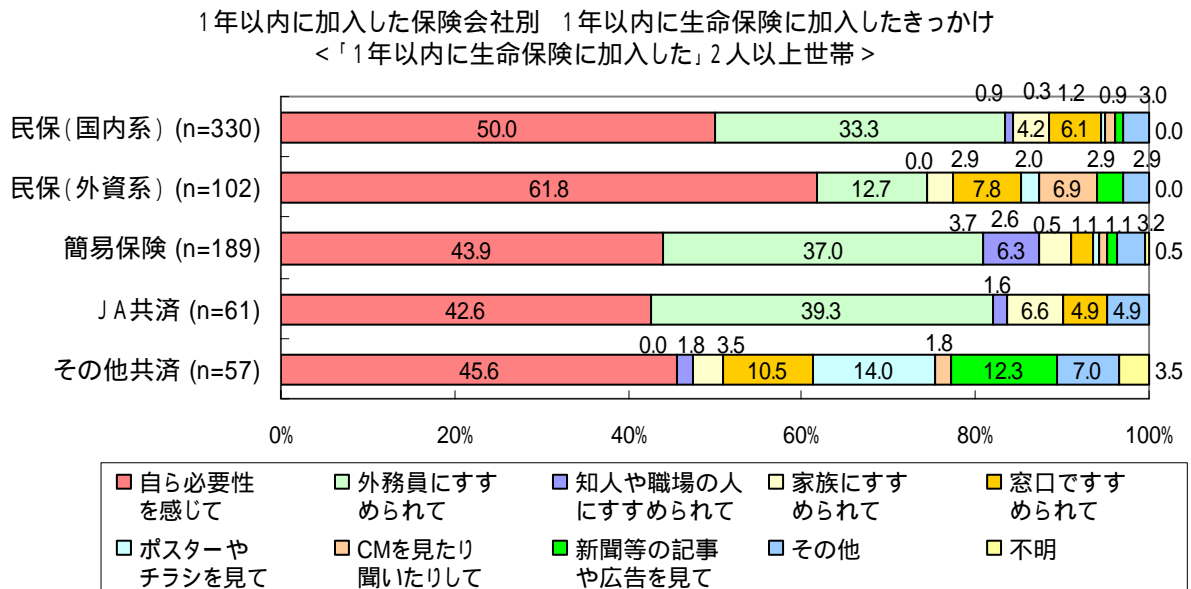
1年以内に生命保険に加入した世帯(n=755)に加入したきっかけ(最もよくあてはまるもの)を聞いたところ、全体では、「自ら生命保険の必要性を感じて」(46.2%)の割合が最も高く、以下、かなり離れて「外務員(営業担当者)にすすめられて」(29.3%)、「知人や職場の人にすすめられて」(6.8%)、「家族にすすめられて」(5.0%)の順となっている。「インターネットのホームページを見て」と答えた世帯はなかった。

単身世帯では、「家族にすすめられて」(10.4%)、「知人や職場の人にすすめられて」(10.4%)の割合が、2人以上世帯と比較して高くなっている。



#### < 1年以内に加入した保険会社別 > (2人以上世帯)

2人以上世帯について、1年以内に加入した保険会社別に比較すると、「民保(国内系)」「簡易保険」「JA共済」では、「外務員(営業担当者)にすすめられて」の割合が相対的に高い。一方、「民保(外資系)」では、「自ら生命保険の必要性を感じて」(61.8%)、「テレビやラジオのコマーシャルを見たり聞いたりして」(6.9%)の割合が、他社と比較して高くなっている。また、「その他共済」では「ポスターやチラシを見て」(14.0%)、「新聞・雑誌等の記事や広告を見て」(12.3%)の割合が高くなっている。



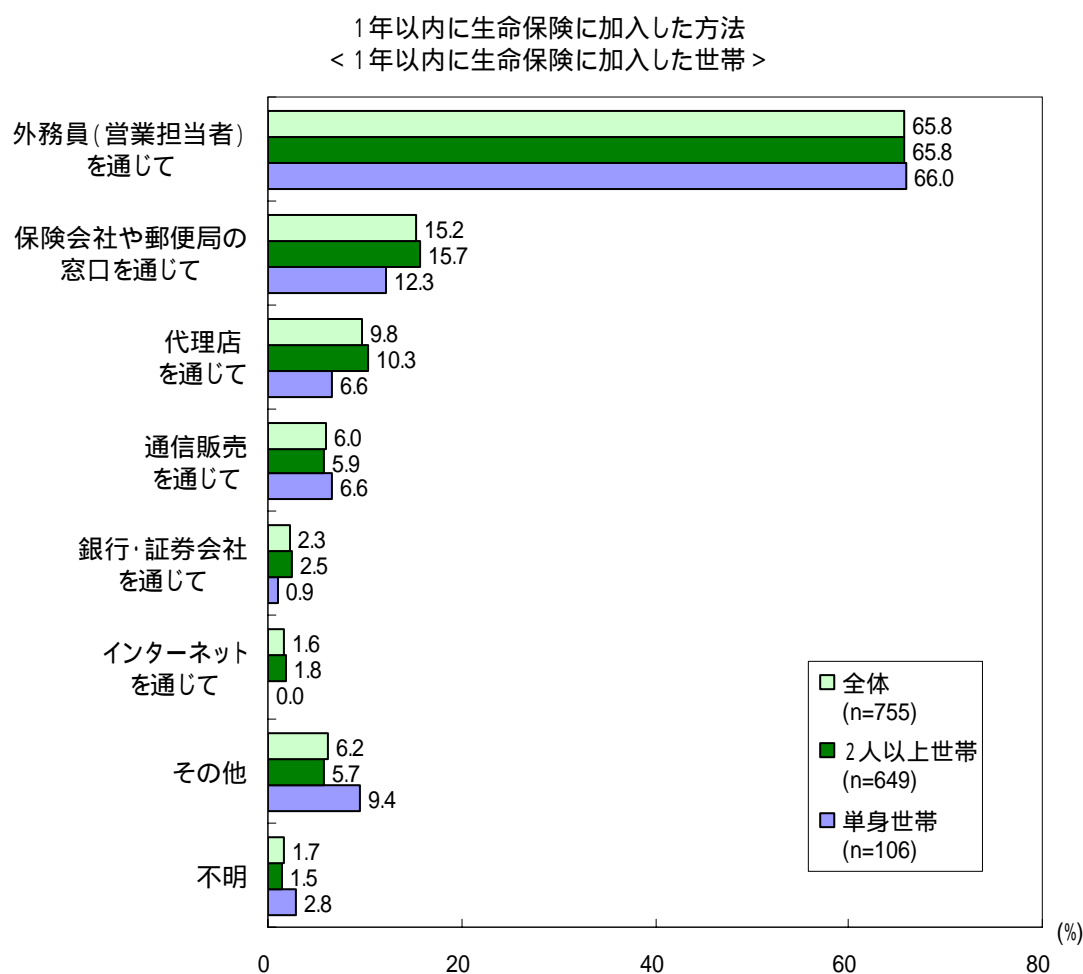
#### 4. 1年以内に生命保険へ加入した方法（問25 複数回答）

問25 今回、生命保険にはどのような方法で加入しましたか。（はいくつでも）

##### <世帯別>

1年以内に生命保険に加入した世帯(n=755)に加入方法を聞いたところ、「外務員(営業担当者)を通じて」(65.8%)の割合が際立って高く、以下、「保険会社や郵便局の窓口を通じて」(15.2%)、「代理店を通じて」(9.8%)、「通信販売を通じて」(6.0%)の順となっている。

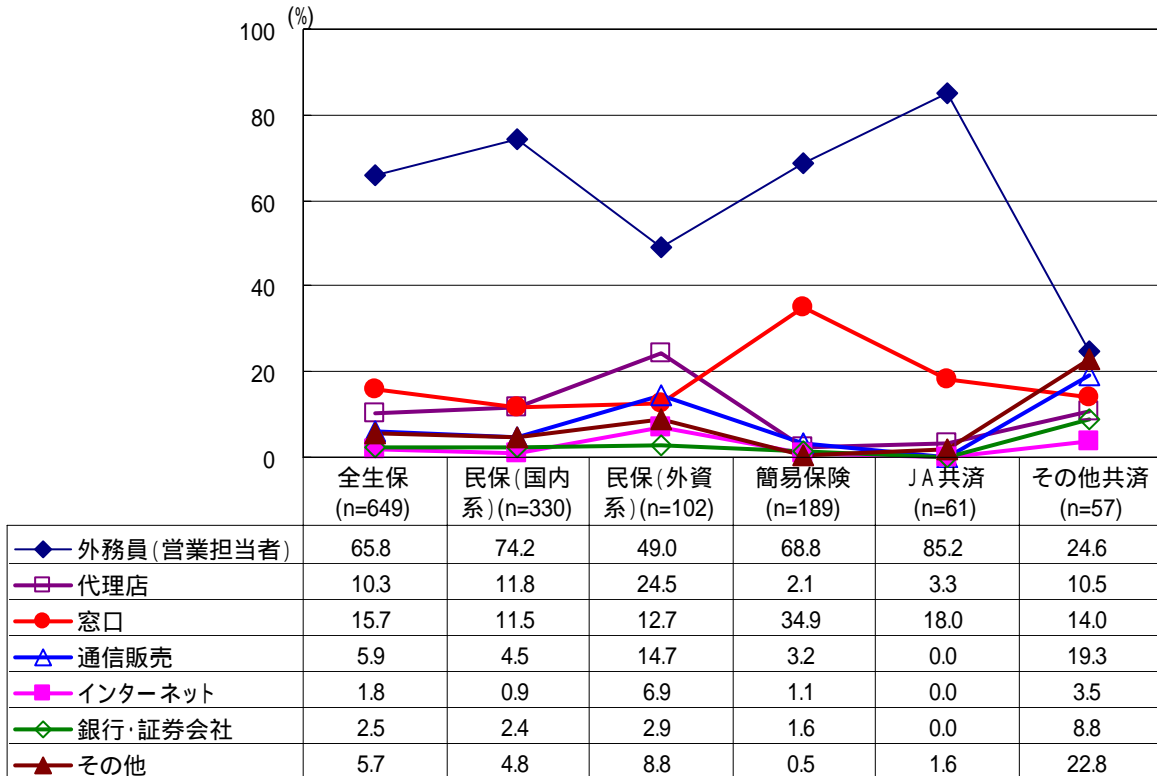
単身世帯では、2人以上世帯と比べて窓口や銀行・証券会社を通じた加入の割合が低く、通信販売の利用率が若干高くなっている。



### <1年以内に加入した保険会社別> (2人以上世帯)

2人以上世帯について、1年以内に加入した保険会社別に比較すると、「民保(国内系)」「JA共済」では「外務員を通じて」の割合が、「民保(外資系)」では「代理店を通じて」「通信販売を通じて」「インターネットを通じて」の割合が、「簡易保険」では「窓口を通じて」の割合が相対的に高くなっている。

1年以内に加入した保険会社別 1年以内に生命保険へ加入した方法  
<「1年以内に生命保険に加入した」2人以上世帯>



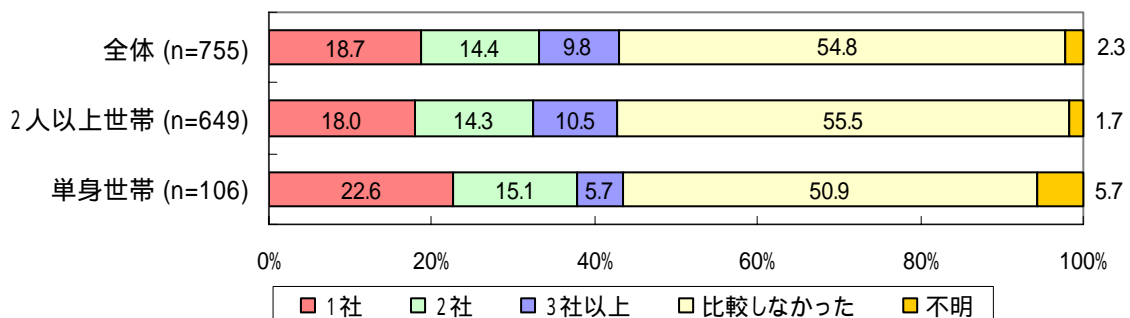
### 5. 1年以内に加入した生命保険で他の検討社数 (問26)

問26 今回加入する保険会社等を選んだ際、他に何社の保険商品を比較検討しましたか。

#### <世帯別>

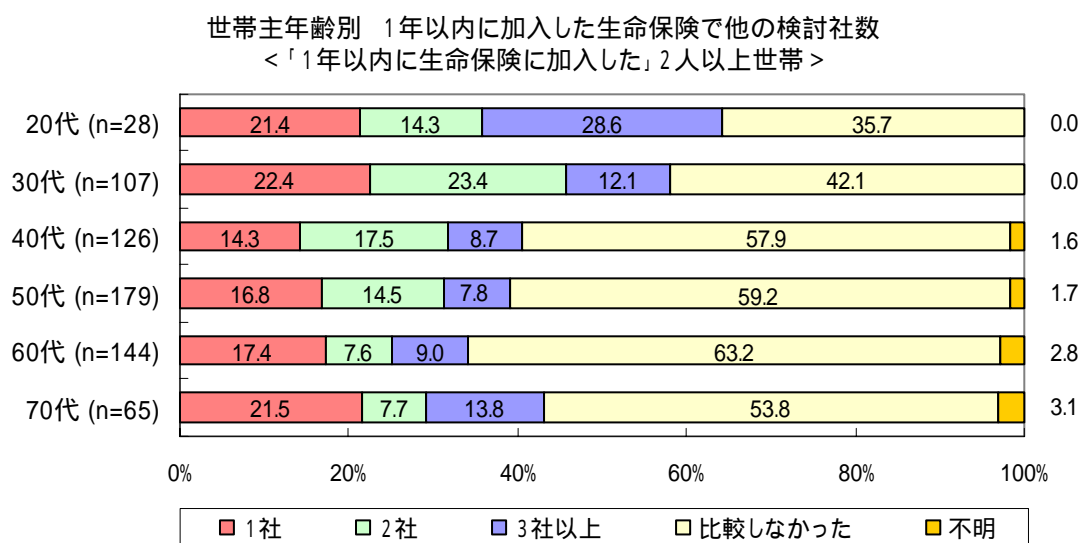
1年以内に生命保険に加入した世帯(n=755)に他に何社の保険商品を比較検討したかを聞いたところ、全体では「比較しなかった」(54.8%)が半数以上を占めている。

1年以内に加入した生命保険で他の検討社数  
<1年以内に生命保険に加入した世帯>



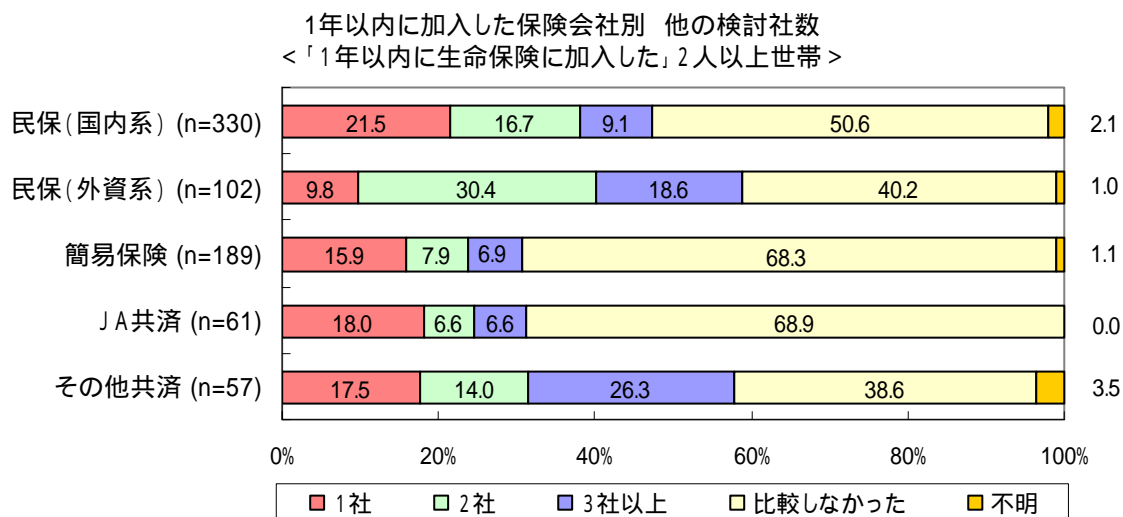
### < 世帯主年齢別 > (2人以上世帯)

2人以上世帯について世帯主の年齢別にみると、70代を除き、若い世代ほど、加入の際に複数の生命保険会社を比較検討していることがわかる。



### < 1年以内に加入した保険会社別 > (2人以上世帯)

2人以上世帯について、1年以内に加入した保険会社別に比較すると、「簡易保険」及び「JA共済」では、他社の商品と比較せずに加入した割合が高く、一方、「民保(外資系)」及び「その他共済」では、複数の会社を比較の上、加入した割合が高くなっている。

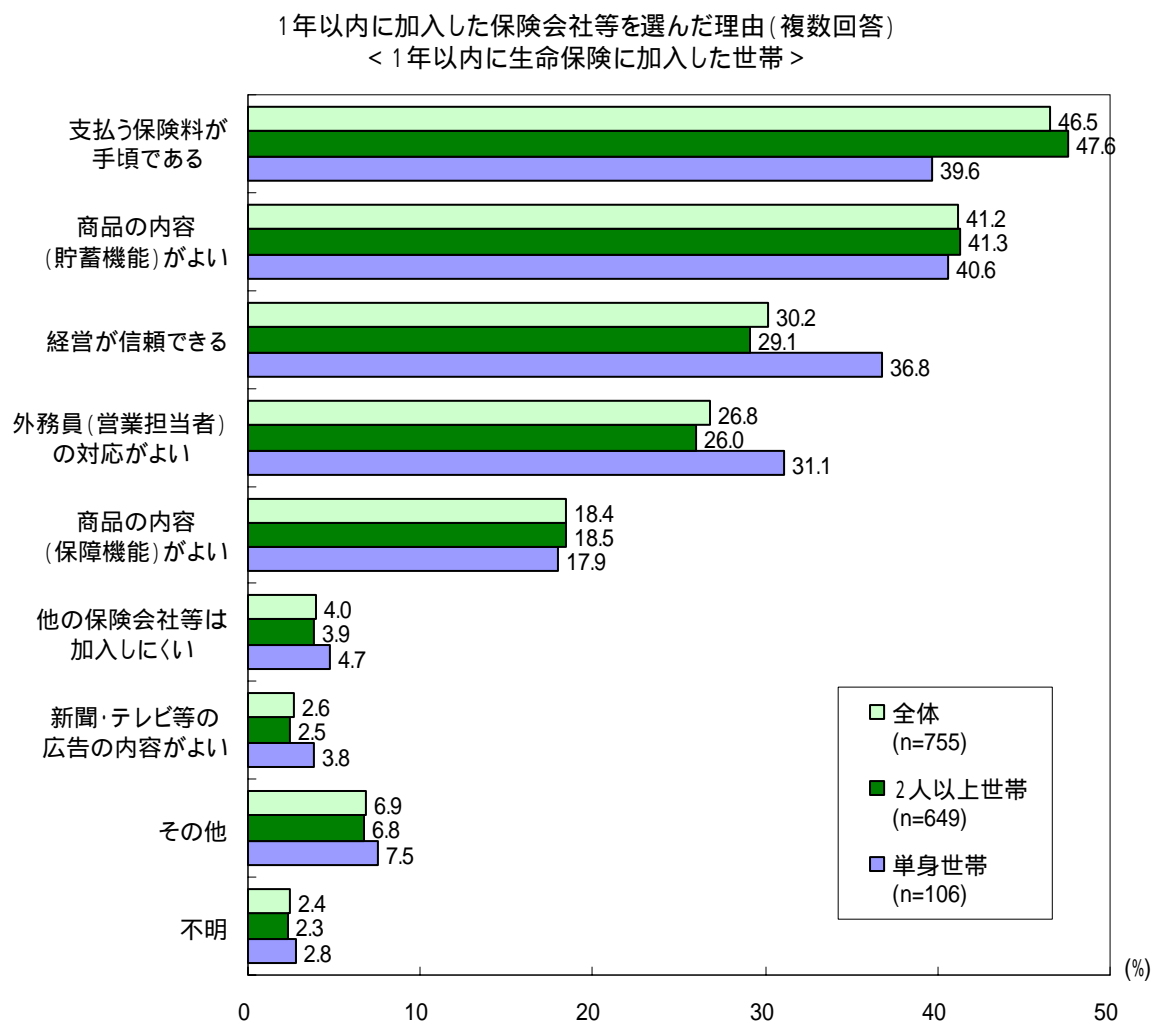


## 6. 1年以内に加入した保険会社等を選んだ理由（問27 複数回答）

問27 今回、加入する保険会社等を選んだ理由について、あてはまるものをすべて選んでください。  
（はいくつでも）

### <世帯別>

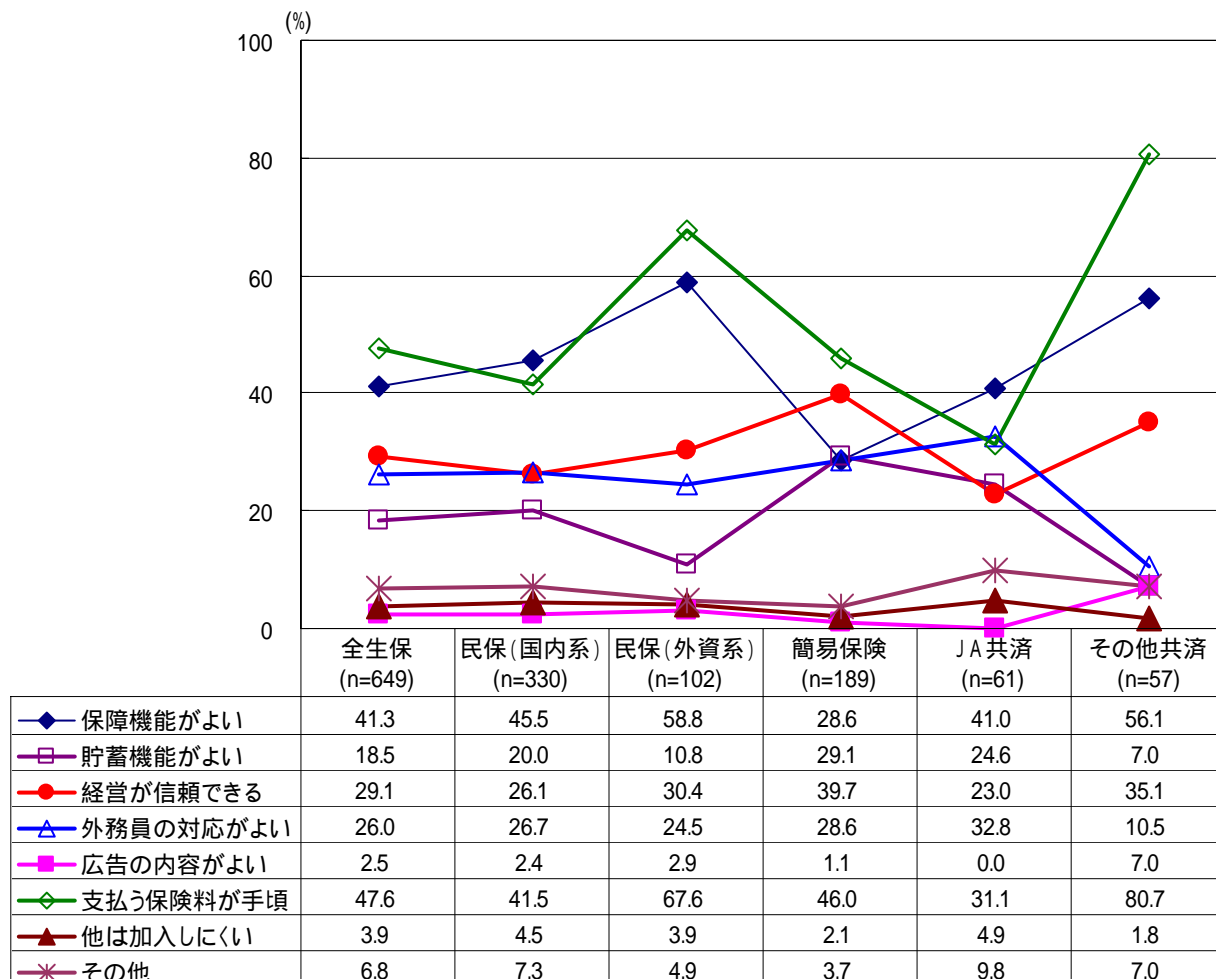
1年以内に生命保険に加入した世帯(n=755)に保険会社等の選択理由を聞いたところ、全体では「支払う保険料が手頃である」(46.5%)の割合が最も高く、次いで、「商品の内容(保障機能)がよい」(41.2%)が続いている。



### <1年以内に加入した保険会社別> (2人以上世帯)

1年以内に生命保険に加入した2人以上世帯(n=649)について、1年以内に加入した保険会社別に比較すると、「民保(外資系)」、「その他共済」では「商品内容(保障機能)がよい」「支払う保険料が手頃である」の割合が、「簡易保険」では「商品内容(貯蓄機能)がよい」「経営が信頼できる」の割合が、「JA共済」では「外務員の対応がよい」の割合が高くなっている。

1年以内に加入した保険会社別 <「1年以内に生命保険に加入した」2人以上世帯>  
1年以内に加入した保険会社等を選んだ理由(複数回答)





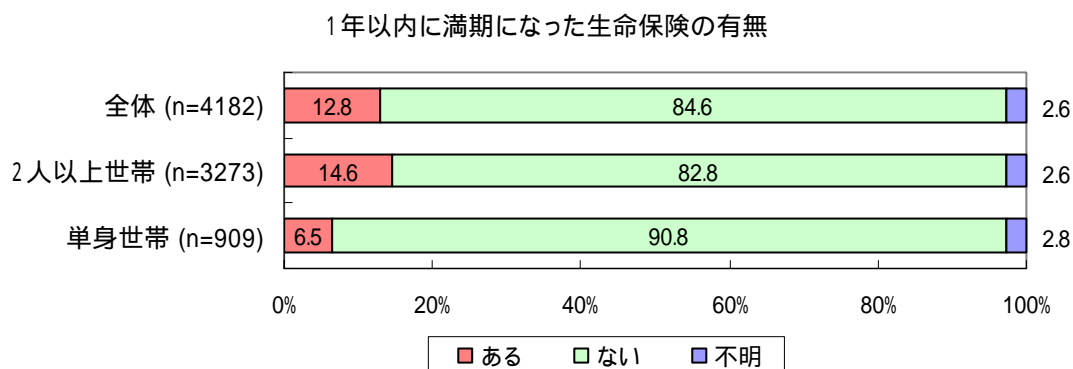
## 7. 1年以内に満期になった生命保険の有無 (問28 複数回答)

(すべての世帯にお伺いします。)

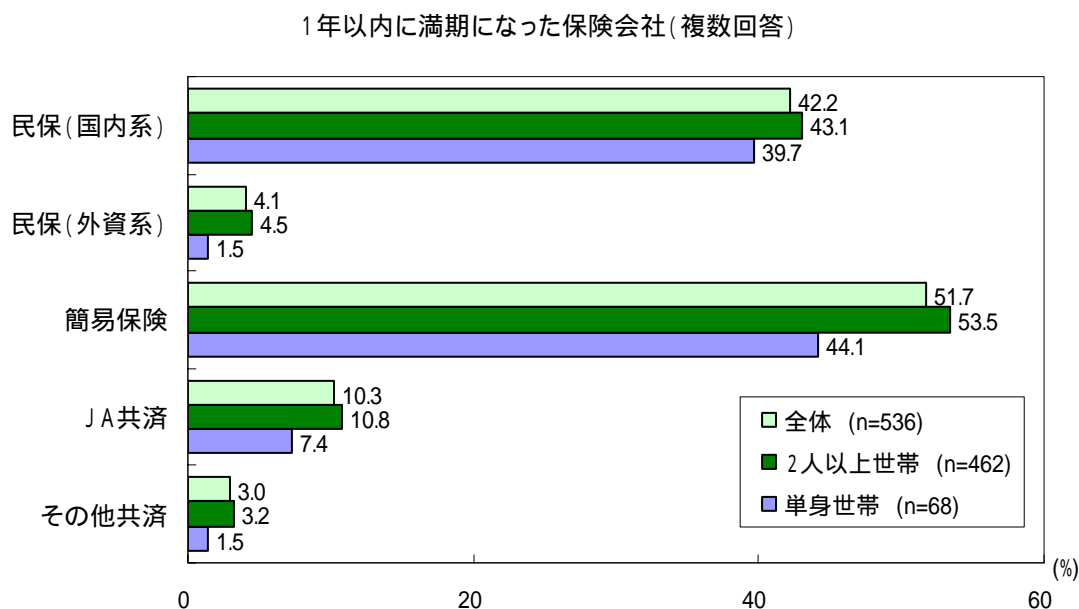
問28 1年以内に満期となった生命保険がある場合は、該当する保険会社等に をつけてください。  
( はいくつでも)

### <世帯別>

1年以内に満期になった生命保険があるか聞いたところ、全体では、「1年以内に満期になった生命保険はない」(84.6%)が多数を占める。世帯別にみると、「ある」と答えた世帯の割合は2人以上世帯(14.6%)が単身世帯(6.5%)に比べて高い。



1年以内に満期になった生命保険があると答えた世帯(n=536)について、その内訳をみると、「簡易保険」(51.7%)の割合が最も高くなっている。

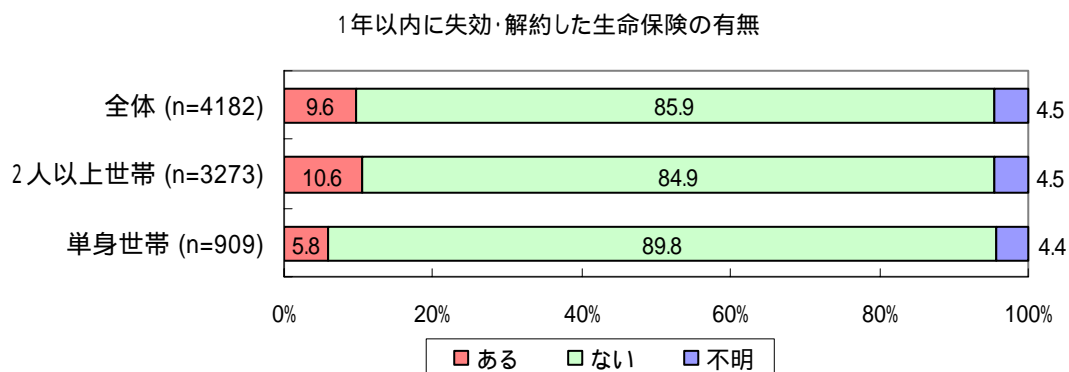


## 8. 1年以内に失効・解約した生命保険の有無 (問29 複数回答)

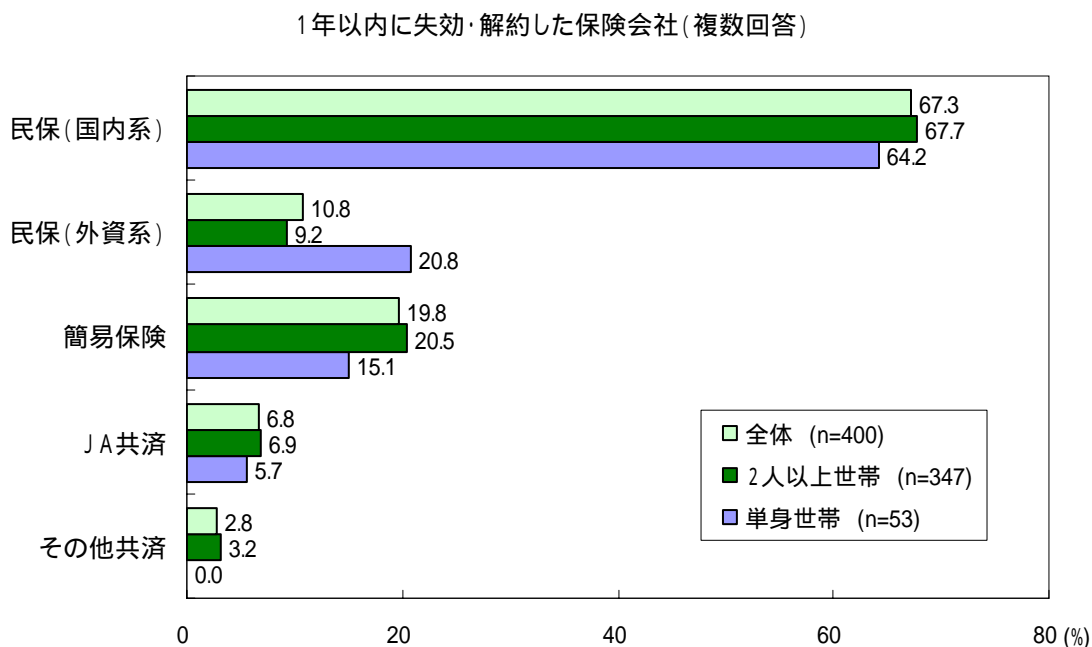
問29 1年以内に失効または解約した生命保険がある場合は、該当する保険会社等に をつけてください。  
( はいくつでも)

### <世帯別>

1年以内に失効・解約した生命保険があるか聞いたところ、「1年以内に失効・解約した生命保険はない」(85.9%)が多数を占める。世帯別にみると、「ある」と答えた世帯の割合は2人以上世帯(10.6%)が単身世帯(5.8%)に比べて高い。



1年以内に失効・解約した生命保険があると答えた世帯(n=400)について、その内訳をみると、「民保(国内系)」(67.3%)の割合が最も高い。



## 9. 毎月の生命保険料として支払ってもよい上限額 (問30)

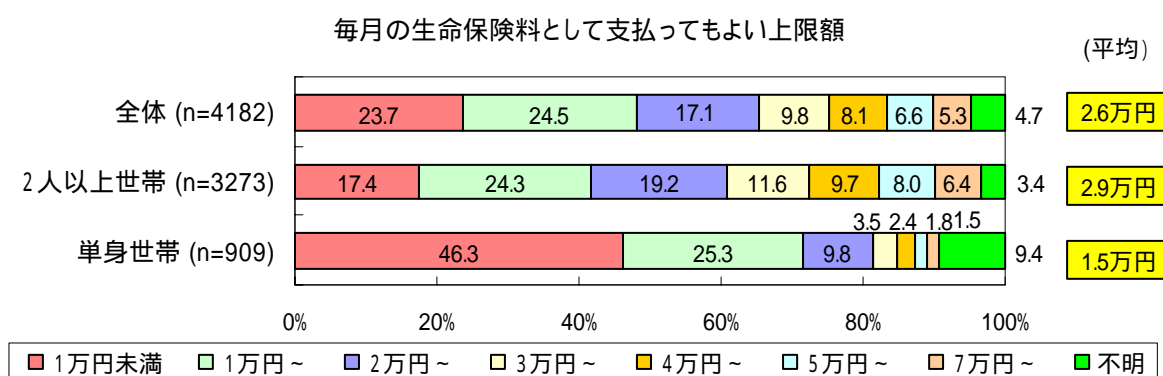
問30 お宅では、毎月の生命保険の保険料として、最高いくらぐらいまで支出してもよいとお考えですか。現在加入している保険の保険料を含めてお答えください。( は1つ)

本設問は実額記入式ではなく、選択式であることから、平均の値については、各階級の中央値を取り、また、「10万円以上」を選択した世帯については「10万円」とみなして算出している。

### <世帯別>

毎月の生命保険料として支払ってもよい上限額を聞いたところ、「1万円以上2万円未満」(24.5%)の割合が最も高く、次いで、「1万円未満」(23.7%)、「2万円以上3万円未満」(17.1%)が続いている。3万円未満の保険料を上限と考える人が6割を超えており(65.4%)、平均では約2.6万円であった。

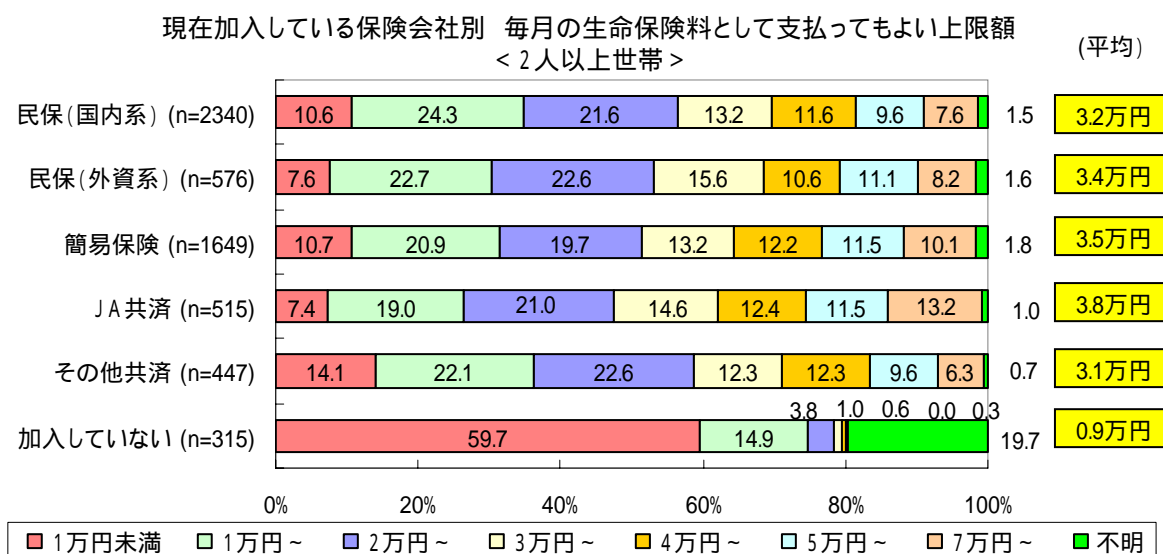
世帯別にみると、2人以上世帯では、平均約2.9万円であり、単身世帯では、1万円未満が半分近く(46.3%)を占め、平均約1.5万円であった。



### <現在加入している保険会社別> (2人以上世帯)

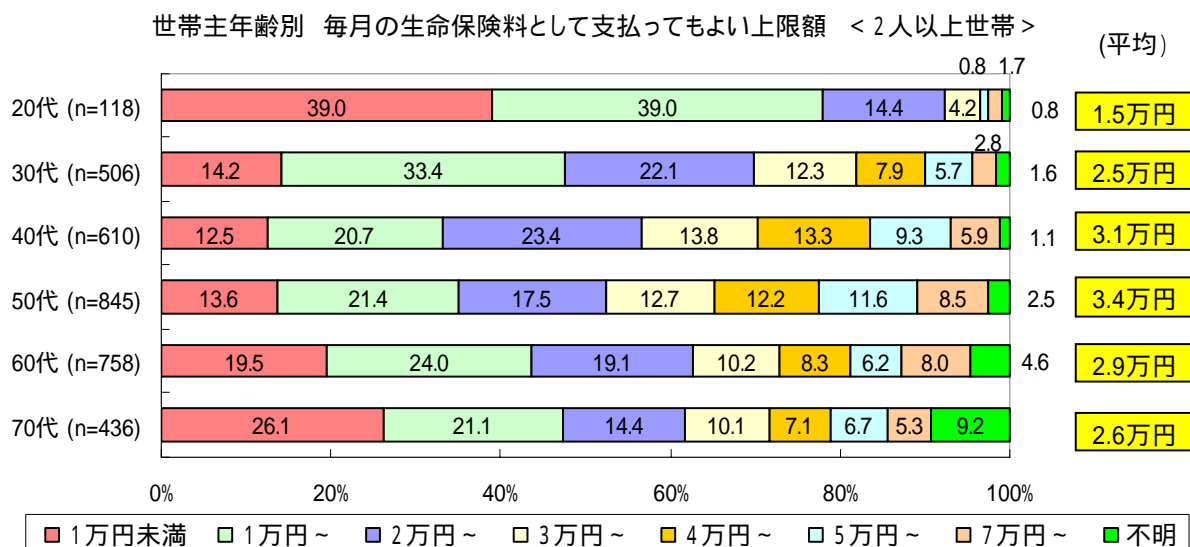
2人以上世帯について、現在加入している保険会社別にみると、生命保険に加入していない世帯では、「1万円未満」が59.7%と過半を占めている。加入している世帯については、いずれの保険会社においても、「1万円以上3万円未満」に4 - 5割が分布している。

平均でみると、「JA共済」が3.8万円と最も高くなっており、次いで「簡易保険」が3.5万円であった。



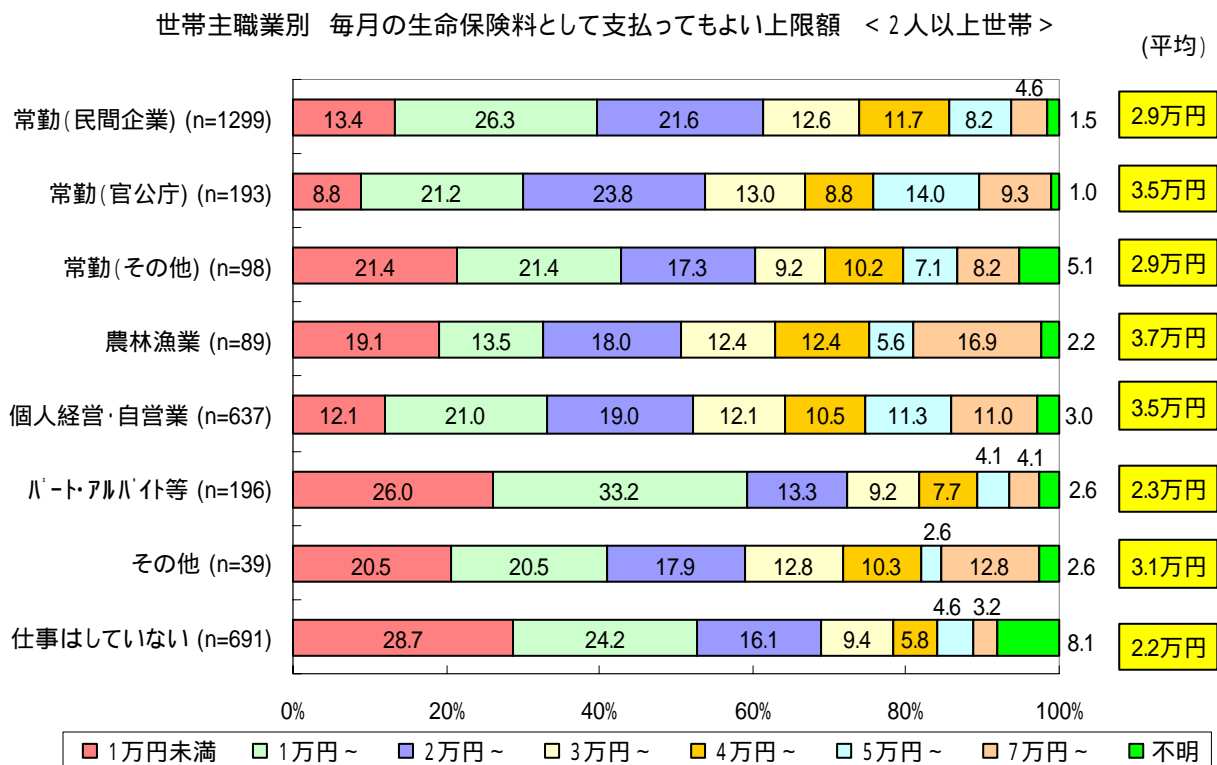
### <世帯主年齢別> (2人以上世帯)

2人以上世帯について、世帯主の年齢別に平均をみると、50代が最も高く3.4万円、20代が最も低く1.5万円となっている。



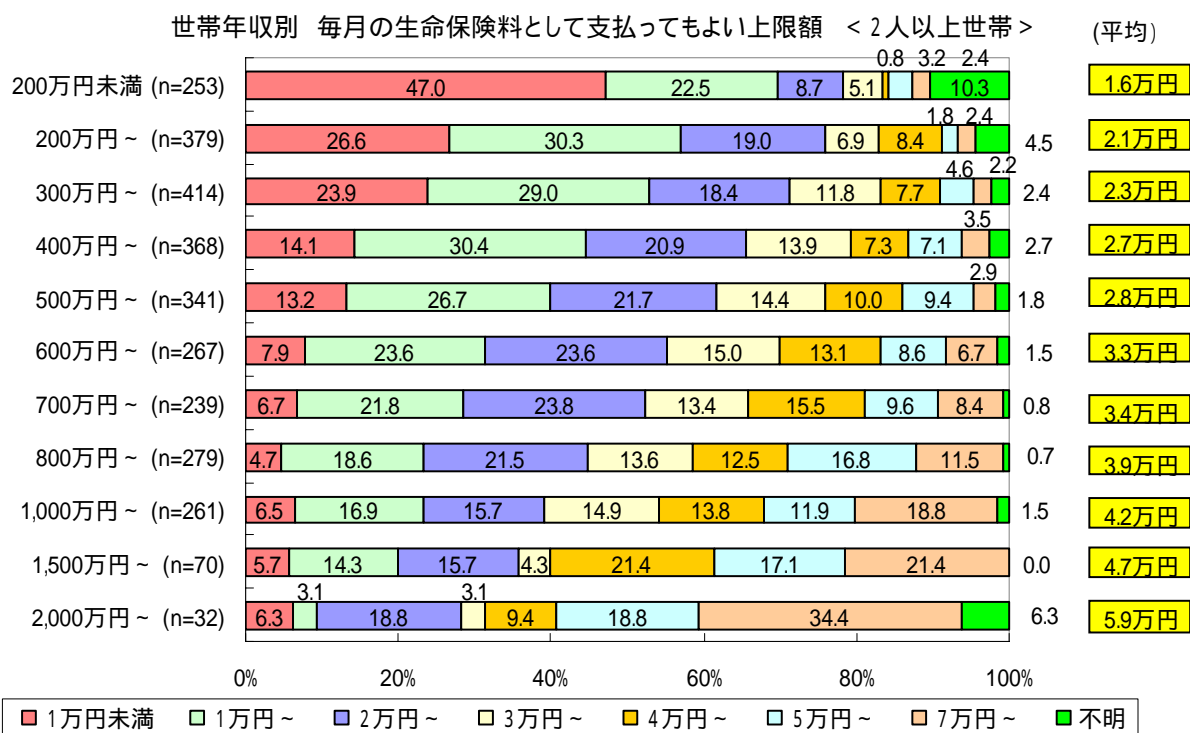
### <世帯主職業別> (2人以上世帯)

2人以上世帯について、世帯主職業別にみると、「農林漁業」が平均3.7万円と最も高くなっており、「パート・アルバイト等」が平均2.3万円と最も低い。



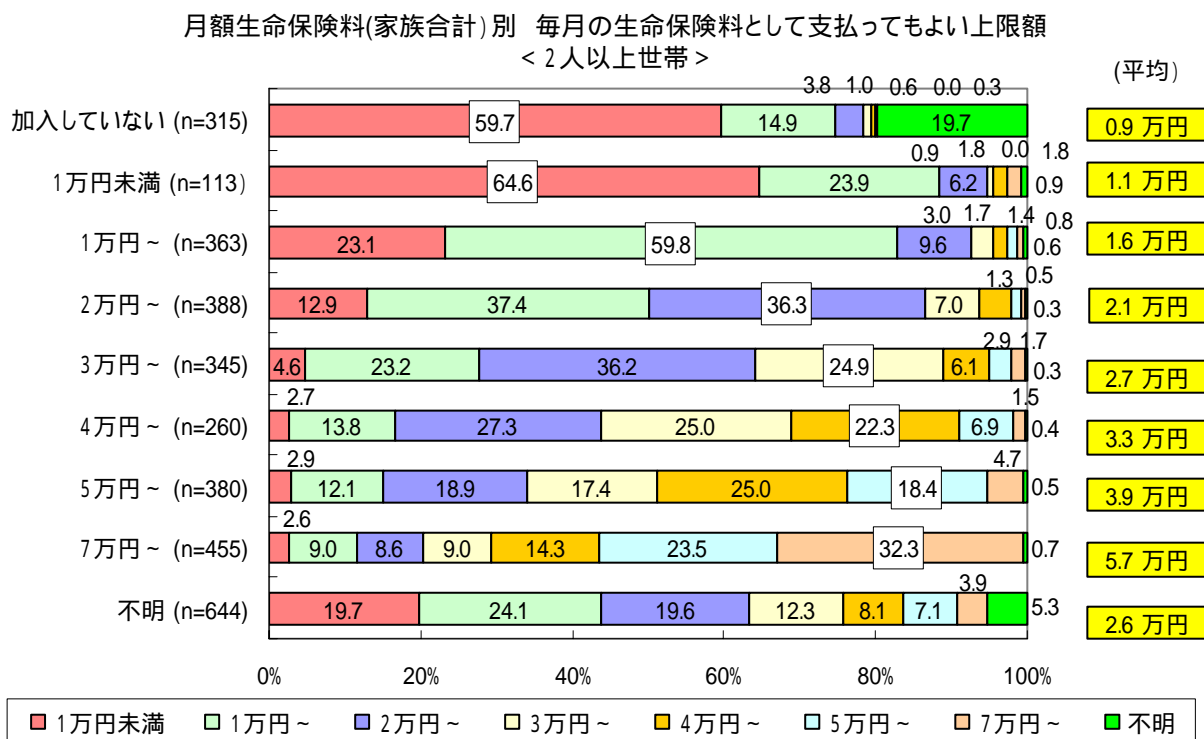
**<世帯年収別> (2人以上世帯)**

2人以上世帯について、世帯年収別にみると、年収が上がるとともに、毎月の生命保険料として支払ってもよいと考える上限額も上がる傾向にある。



**<現在支払っている月額生命保険料(家族合計)別> (2人以上世帯)**

現在支払っている月額生命保険料(家族合計)(問35)別にみると、月額生命保険料が上がるとともに、毎月の生命保険料として支払ってもよいと考える上限額も上がる傾向にある。

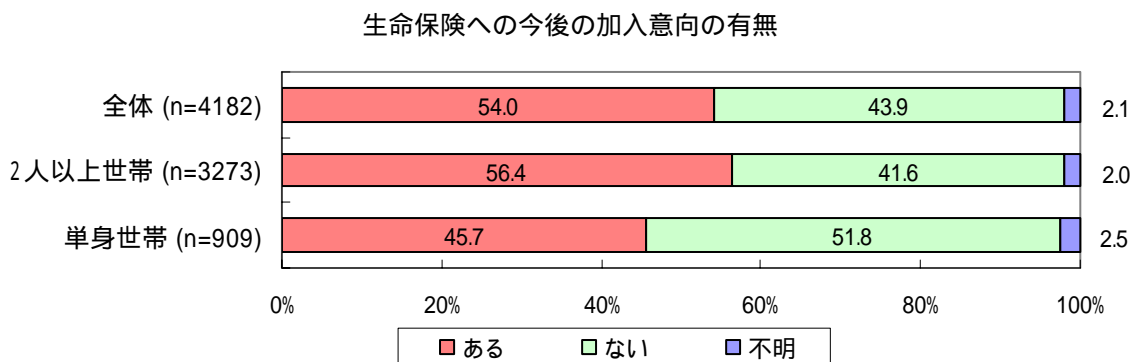


## 10. 今後の生命保険加入意向、加入方法 (問31 複数回答)

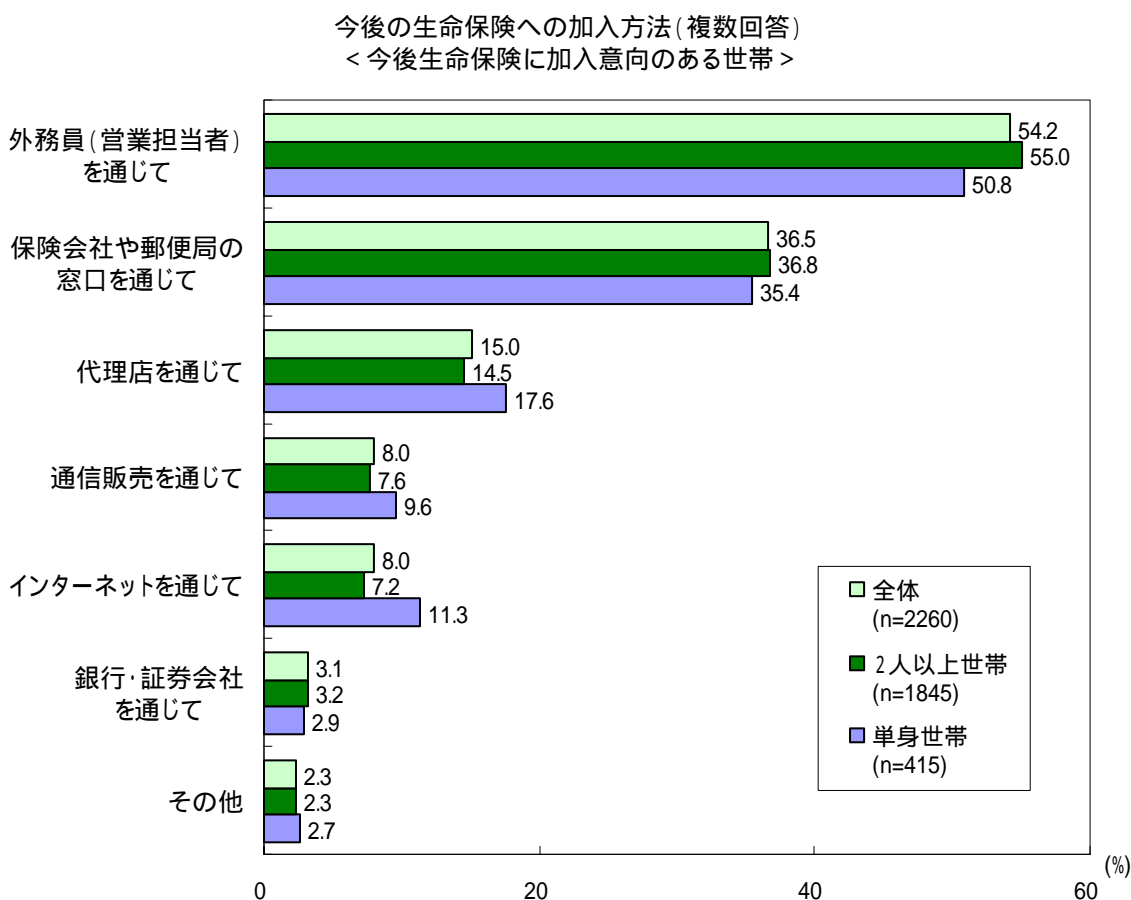
問 31 今後、生命保険に加入する場合、どのような方法を利用したいとお考えですか。( はいくつでも)

### <世帯別>

全体の43.9%が、今後生命保険へ加入するつもりがないとしている。



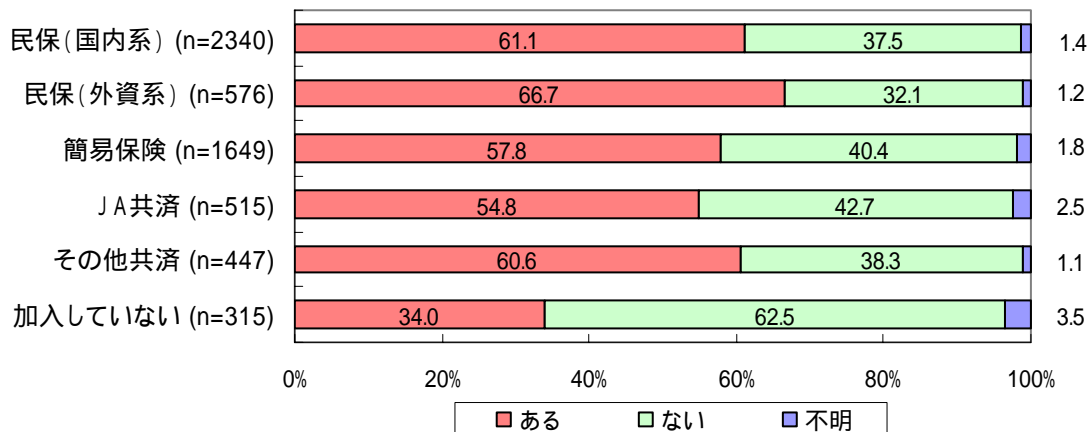
今後生命保険に加入意向のある世帯(n=2,260)については、今後の加入方法として、「外務員(営業担当者)を通じて」(54.2%)と回答した世帯の割合が最も高く、以下、「保険会社や郵便局の窓口を通じて」(36.5%)、「代理店を通じて」(15.0%)、「通信販売を通じて」(8.0%)、「インターネットを通じて」(8.0%)、「銀行・証券会社を通じて」(3.1%)の順となっている。



**<現在加入している保険会社別> (2人以上世帯)**

2人以上世帯について、今後の生命保険加入意向を、現在加入している保険会社別にみると、「民保(外資系)」(66.7%)が最も高かった。

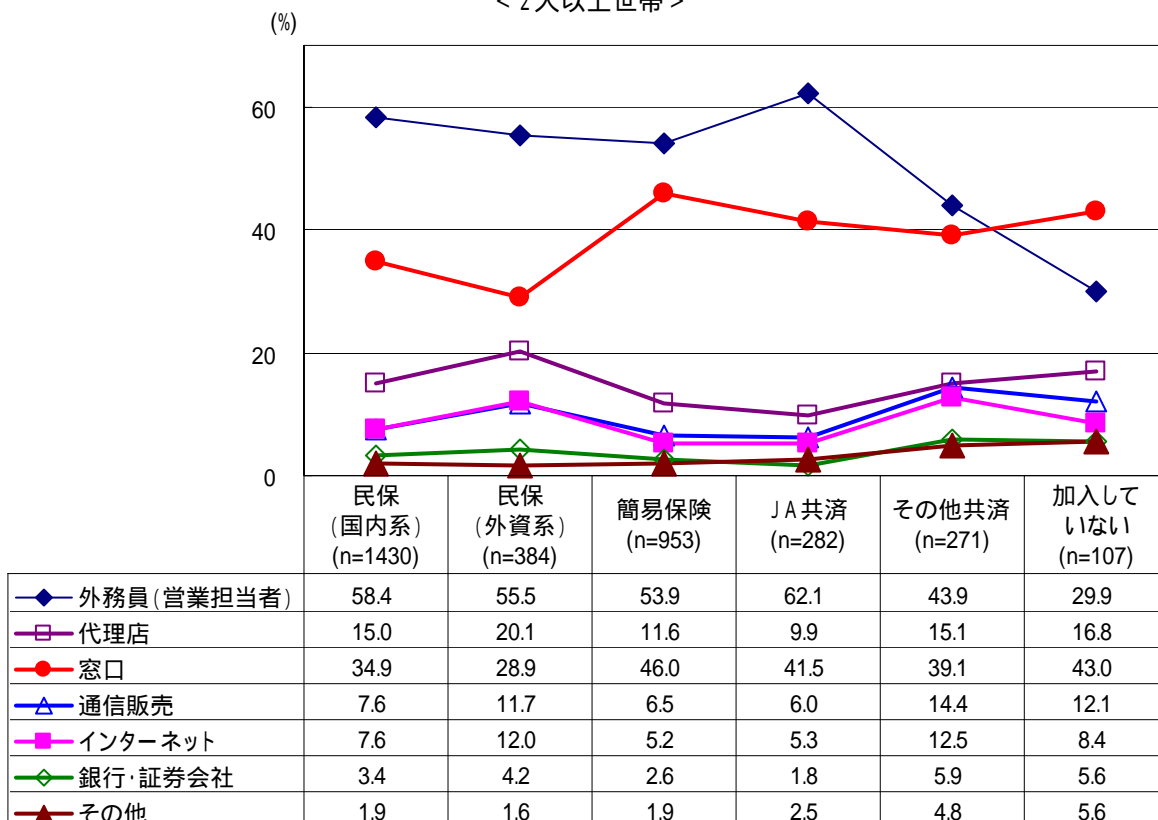
現在加入している保険会社別 生命保険への今後の加入意向の有無  
<2人以上世帯>



今後生命保険に加入意向のある世帯(n=1,845)について、生命保険の加入方法を現在加入している保険会社別にみると、「外務員(営業担当者)を通じて」と答えた割合は、「J A 共済」(62.1%)で最も高く、「加入していない」(29.9%)が最も低かった。

また「インターネットを通じて」と答えた割合は、「民保(外資系)」「その他共済」に現在加入している世帯で高かった。

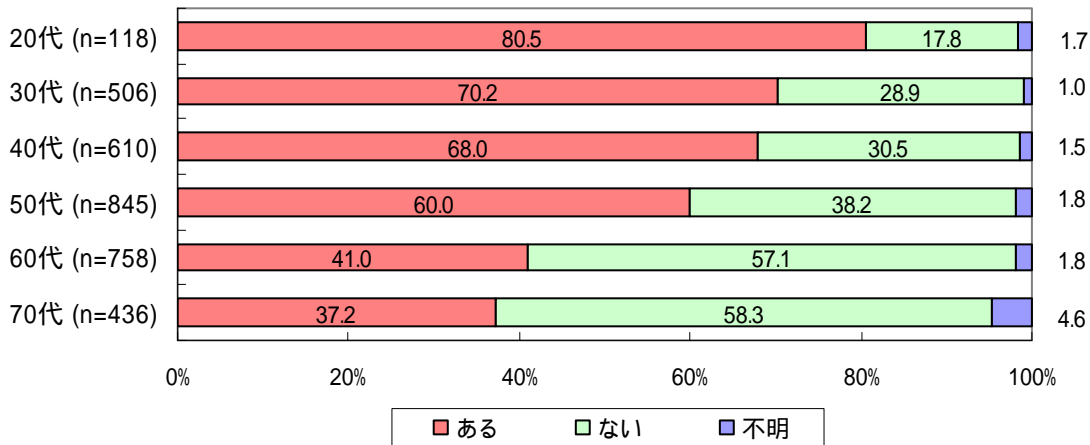
現在加入している保険会社別 生命保険への今後の加入方法 (複数回答)  
<2人以上世帯>



**<世帯主年齢別> (2人以上世帯)**

2人以上世帯について、今後の生命保険加入意向を、世帯主の年齢別にみると、年代が若いほど加入意向が高いことがわかる。

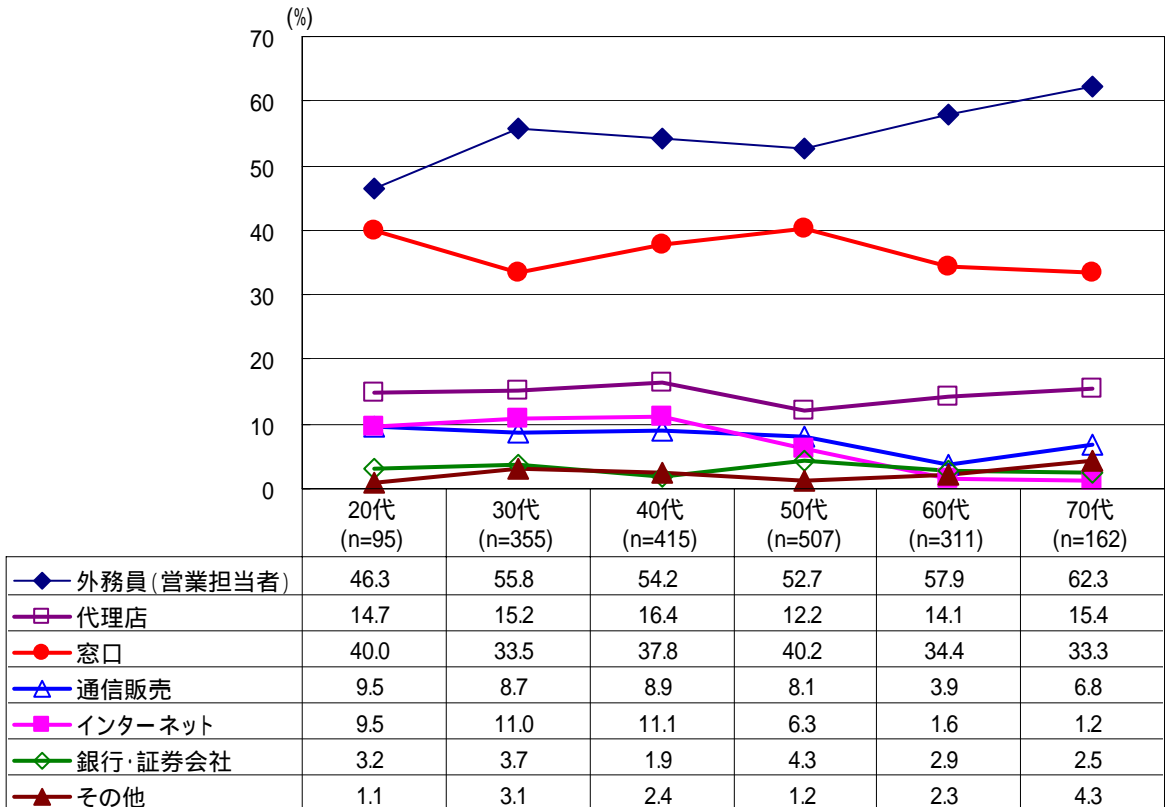
世帯主年齢別 生命保険への今後の加入意向の有無 <2人以上世帯>



今後生命保険に加入意向のある世帯(n=1,845)について、生命保険の加入方法を世帯主年齢別にみると、「外務員(営業担当者)を通じて」と答えた割合は、20代(46.3%)が最も低く、70代(62.3%)が最も高くなっている。

また、「インターネットを通じて」と答えた割合は、50代以上の世代と40代以下の世代で大きな差がみられる。

世帯主年齢別 生命保険への今後の加入方法 (複数回答)  
<「今後生命保険に加入意向のある」2人以上世帯>





## 11. 生命保険に関する考え (問32)

問 32 生命保険に関する次の記述について、どのようにお考えですか。それぞれ現在のお考えに最も近いもの一つ選んで番号に をつけてください。( は各項目1つ)

生命保険に関する次の(a) - (g)の7つの記述についてどのように考えるかを「全くそう思う」「そう思う」「どちらともいえない」「そう思わない」「全くそう思わない」の5段階で聞いた。

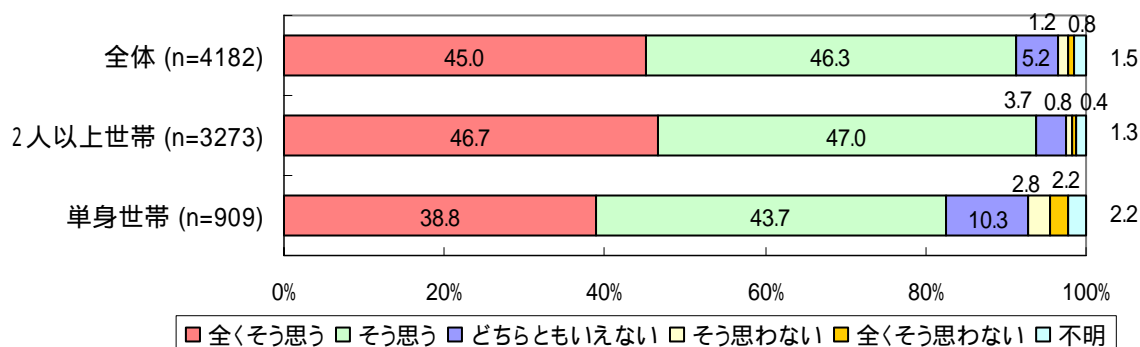
以下、「全くそう思う」「そう思う」と答えた世帯をあわせて肯定層、「そう思わない」「全くそう思わない」と答えた世帯をあわせて否定層として分析を行った。

### (a) 自分や家族が、病気やけがをしたときの経済的な備えが必要である (問32 - a)

#### <世帯別>

「全くそう思う」「そう思う」と肯定層が大半(全体 91.3%、2人以上世帯 93.7%、単身世帯 82.5%)を占めた。単身世帯では2人以上世帯と比較して肯定層が少なくなっている。

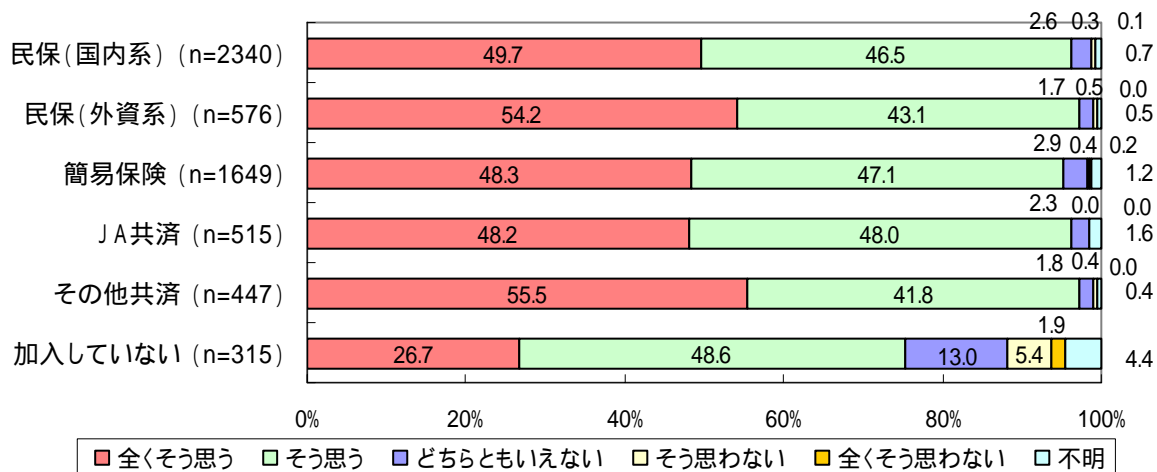
自分や家族が、病気やけがをしたときの経済的な備えが必要である



#### <現在加入している保険会社別> (2人以上世帯)

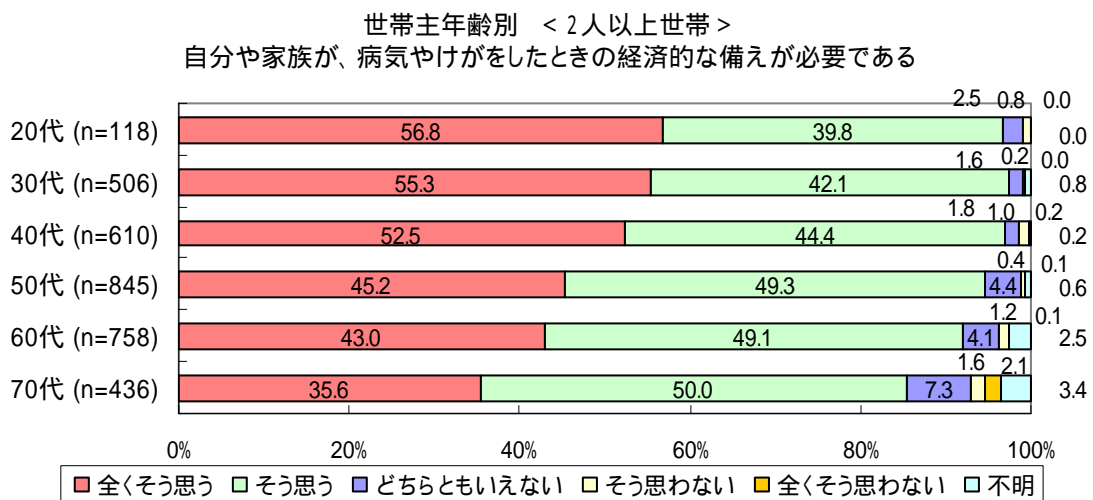
2人以上世帯について、現在加入している保険会社別にみると、肯定層が「生命保険に加入していない」(75.2%)で少なくなっている。また、生命保険に加入している世帯の中では、肯定層が「簡易保険」(95.3%)及び「JA共済」(96.1%)において若干少なくなっている。

現在加入している保険会社別 <2人以上世帯>  
自分や家族が、病気やけがをしたときの経済的な備えが必要である



**<世帯主年齢別> (2人以上世帯)**

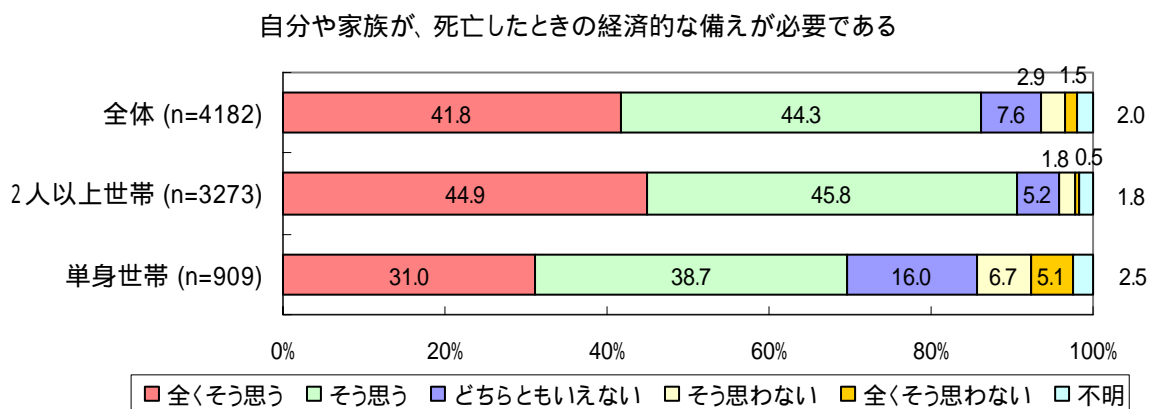
2人以上世帯について、世帯主の年齢別にみると、若い世代ほど「全くそう思う」と答えた割合が高くなっている。



**(b) 自分や家族が、死亡したときの経済的な備えが必要である (問32 - b)**

**<世帯別>**

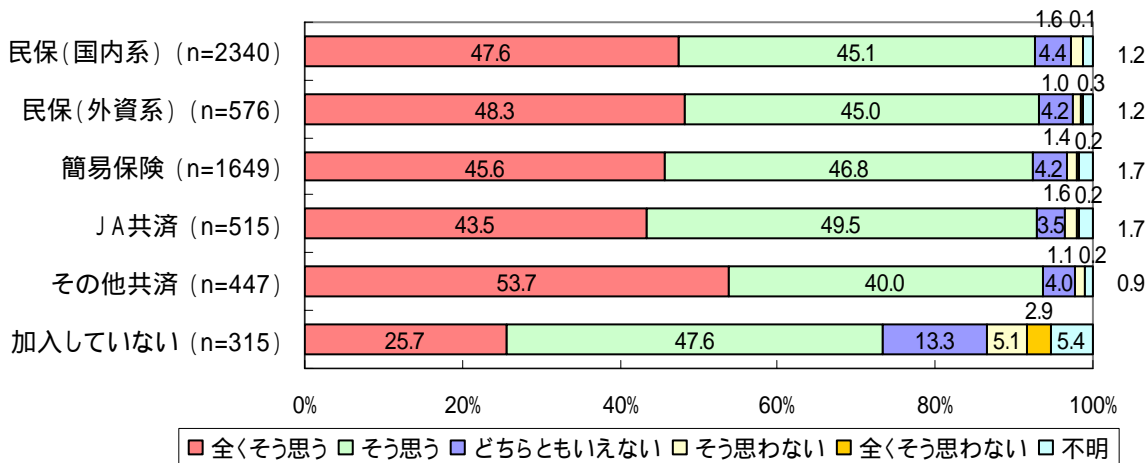
「全くそう思う」、「そう思う」と肯定層が大半(全体 86.1%、2人以上世帯 90.7%、単身世帯 69.7%)を占めた。単身世帯では2人以上世帯と比較して肯定層が少なくなっている。



**< 現在加入している保険会社別 > (2人以上世帯)**

2人以上世帯について、現在加入している保険会社別にみると、肯定層が「生命保険に加入していない」(73.3%)で少なくなっている。生命保険に加入している世帯の中では大きな差はみられない。

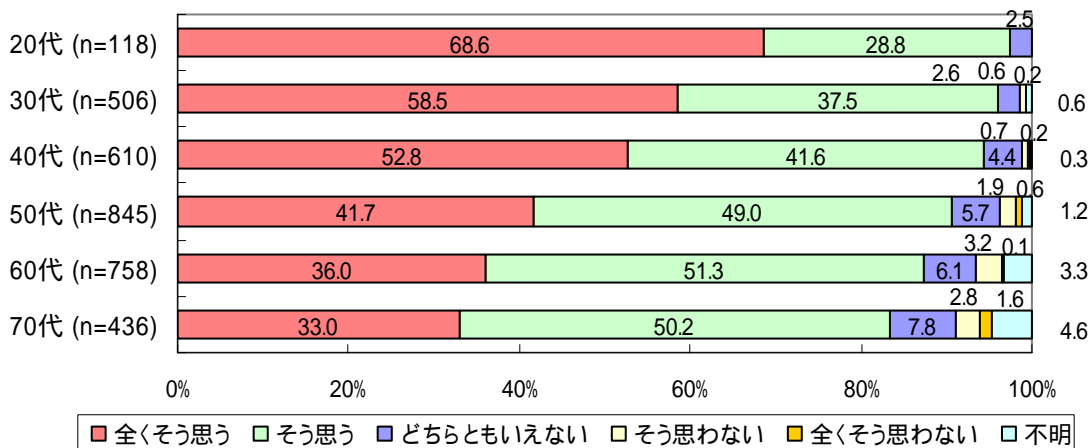
加入している生命保険会社別 < 2人以上世帯 >  
自分や家族が、死亡したときの経済的な備えが必要である



**< 世帯主年齢別 > (2人以上世帯)**

2人以上世帯について、世帯主の年齢別にみると、若い世代ほど「全くそう思う」と答えた割合が高くなっている。

世帯主年齢別 < 2人以上世帯 >  
自分や家族が、死亡したときの経済的な備えが必要である

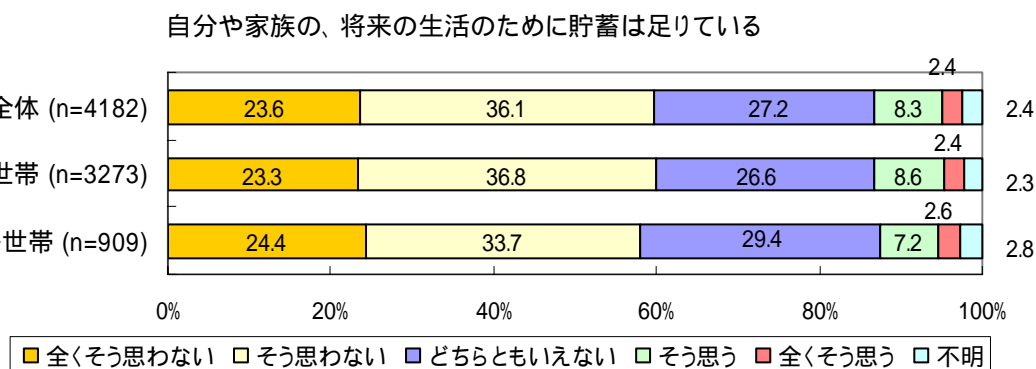


(c) 自分や家族の、将来の生活のために貯蓄は足りている (問32 - c)

本項目については、否定層の方が多いため、グラフにおいては、「全くそう思わない」「そう思わない」「どちらともいえない」「そう思う」「全くそう思う」の順に表示している。

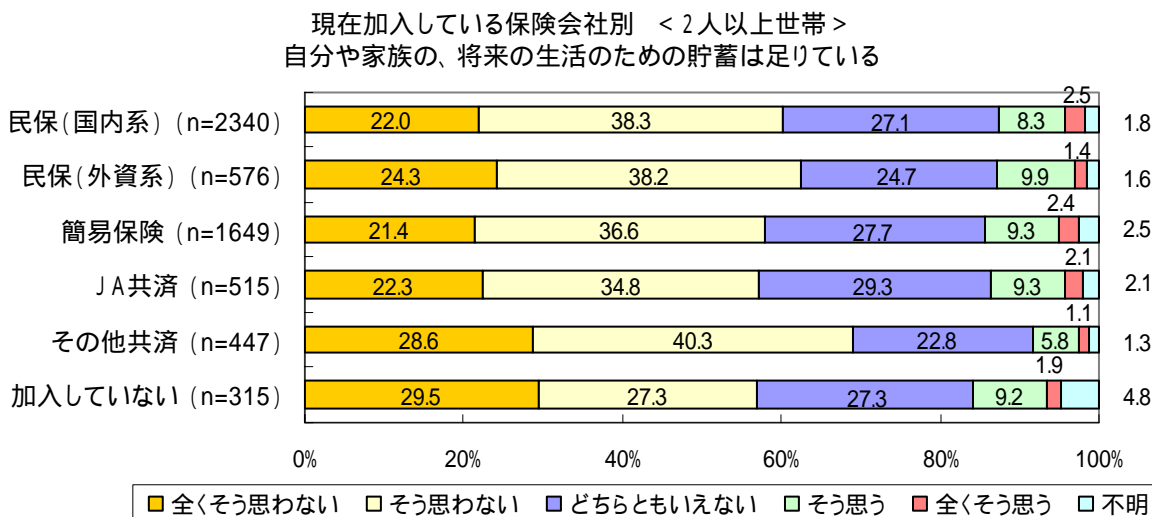
<世帯別>

「全くそう思わない」、「そう思わない」と否定層が約6割(全体 59.6%、2人以上世帯 60.1%、単身世帯 58.1%)を占めた。



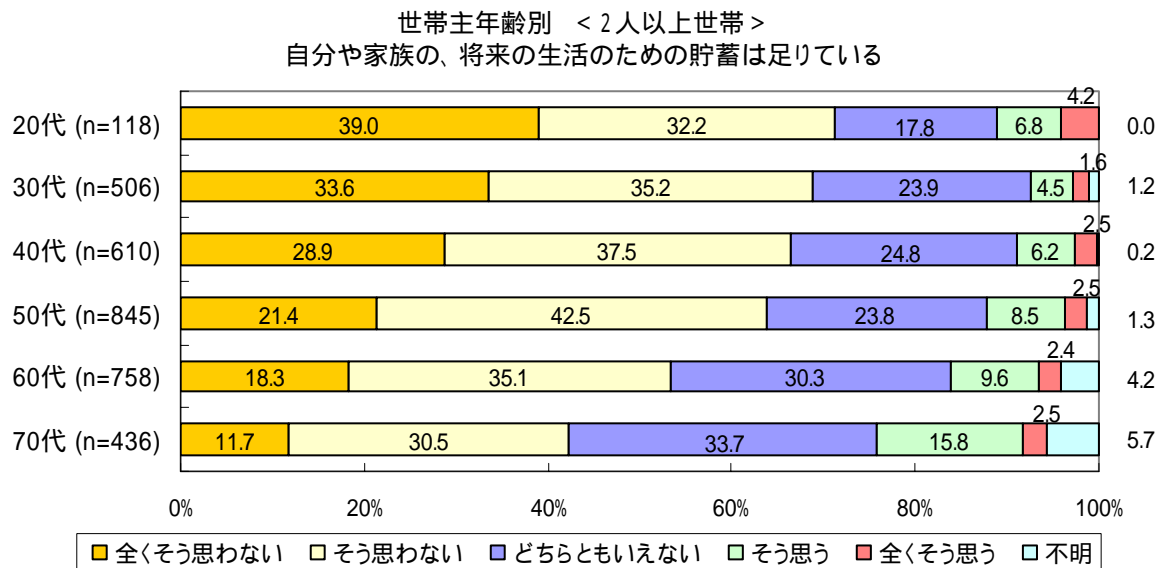
<現在加入している保険会社別> (2人以上世帯)

2人以上世帯について、加入している保険会社別にみると、否定層が「その他共済」(68.9%)で多くなっている。



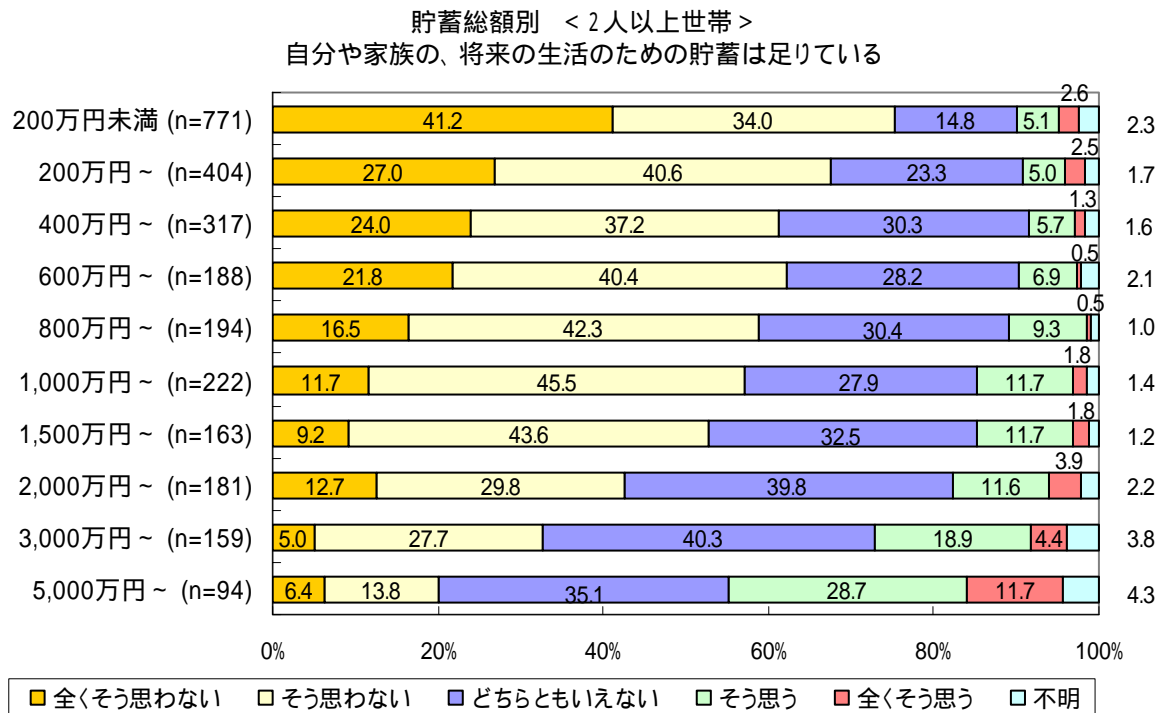
**<世帯主年齢別> (2人以上世帯)**

2人以上世帯について、世帯主の年齢別にみると、若い世代ほど「全くそう思わない」と答えた割合が高くなっている。



**<貯蓄総額別> (2人以上世帯)**

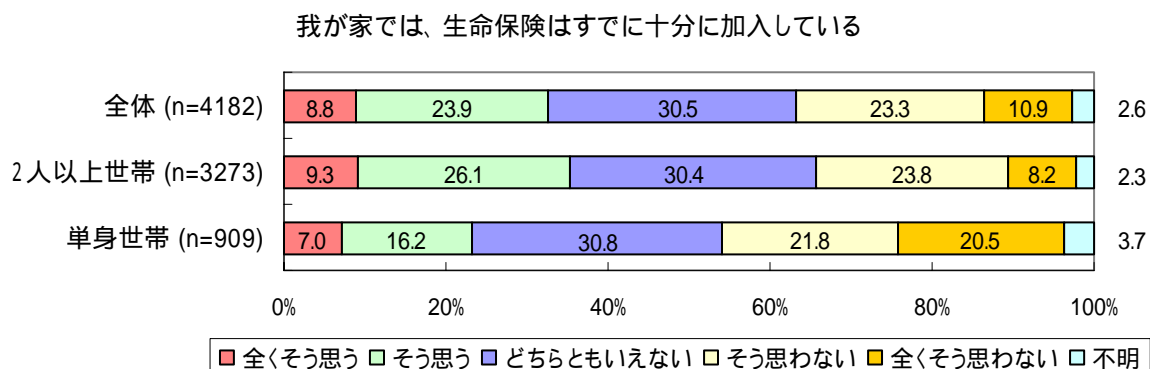
2人以上世帯について、貯蓄総額別にみると、貯蓄総額が少ない世帯ほど「全くそう思わない」と答えた割合が高くなる傾向がみられた。



(d) 我が家では、生命保険はすでに十分に加入している (問32 - d)

<世帯別>

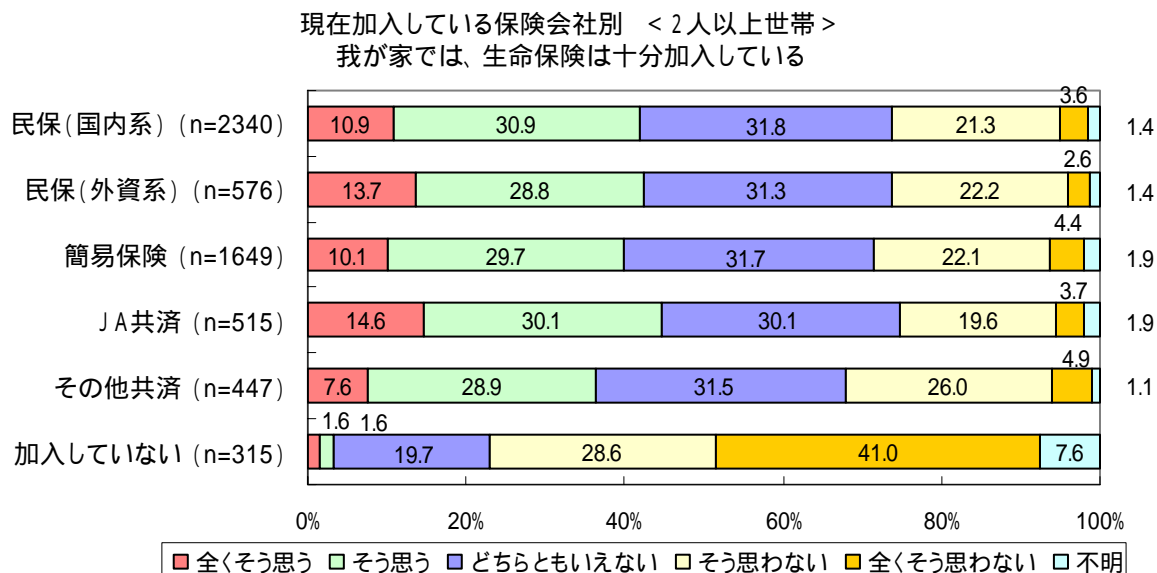
肯定層(全体 32.7%、2人以上世帯 35.3%、単身世帯 23.2%)、否定層(全体 34.2%、2人以上世帯 32.0%、単身世帯 42.2%)、「どちらともいえない」層(全体 30.5%、2人以上世帯 30.4%、単身世帯 30.8%)であり、2人以上世帯では各層がほぼ同水準となっており、単身世帯では否定層が上回っている。



<現在加入している保険会社別> (2人以上世帯)

2人以上世帯について、現在加入している保険会社別にみると、当然、加入していない世帯では否定層が多い。

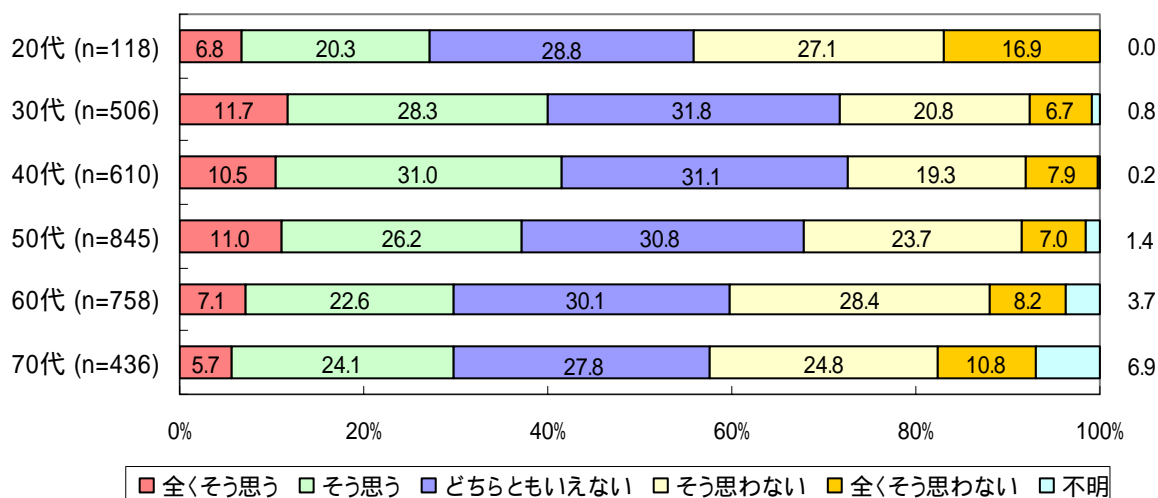
生命保険に加入している世帯では、肯定層が否定層を上回っている。なお、保険会社別に大きな差はみられなかった。



### <世帯主年齢別> (2人以上世帯)

2人以上世帯について、世帯主の年齢別にみると、30代、40代で肯定層が多くなっている。

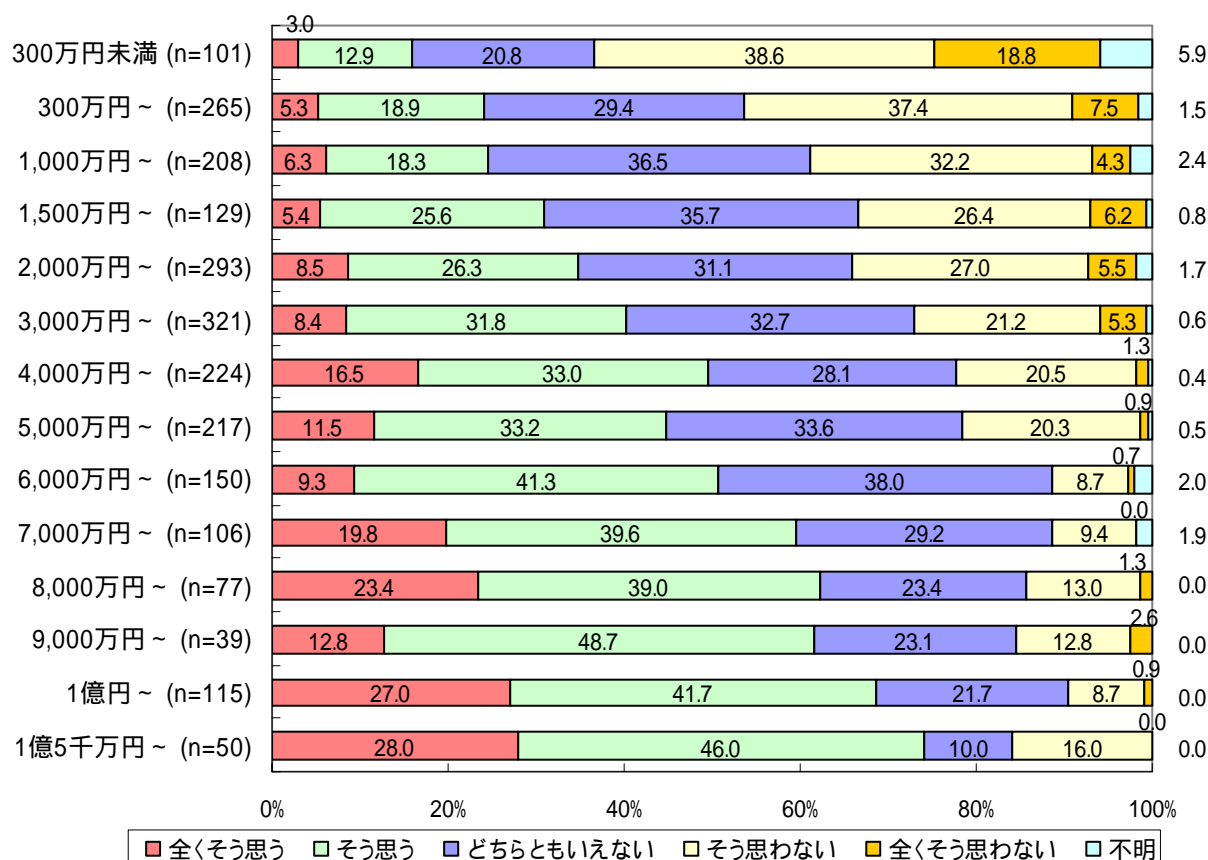
世帯主年齢別 <2人以上世帯>  
我が家では、生命保険は十分加入している



### <現在加入している生命保険金額(家族合計)別> (2人以上世帯)

2人以上世帯について、現在加入している生命保険金額(家族合計)別にみると、金額が多いほど肯定層が多くなる傾向にあり、「1,500万円以上」で、肯定層と否定層がほぼ同じになっている。

現在加入している生命保険金額(家族合計)別 <2人以上世帯>  
我が家では、生命保険は十分加入している

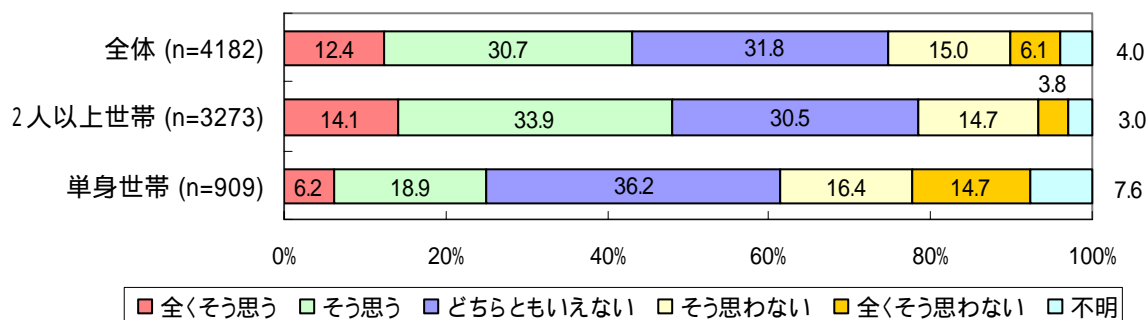


(e) 現在、支払っている生命保険料は、家計の中で大きな負担である (問32 - e)

<世帯別>

2人以上世帯については、肯定層(48.0%)が否定層(18.4%)を上回っているが、単身世帯では、否定層(31.1%)が肯定層(25.1%)を上回っている。

現在、支払っている生命保険料は、家計の中で大きな負担である

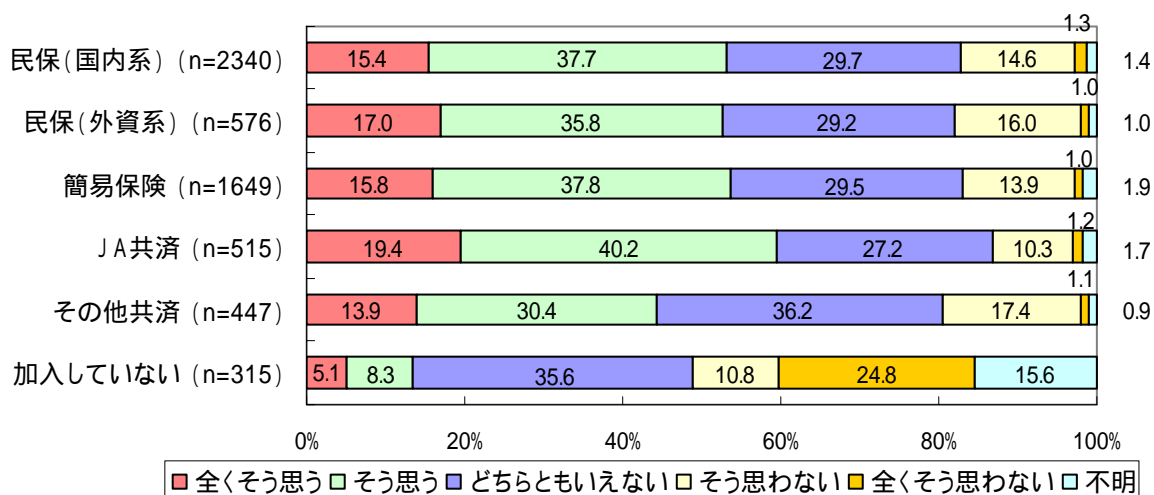


<現在加入している保険会社別> (2人以上世帯)

2人以上世帯について、加入している保険会社別にみると、当然、加入していない世帯では否定層が多い。

生命保険に加入している世帯では、「その他共済」において他社と比較して否定層が多かった。

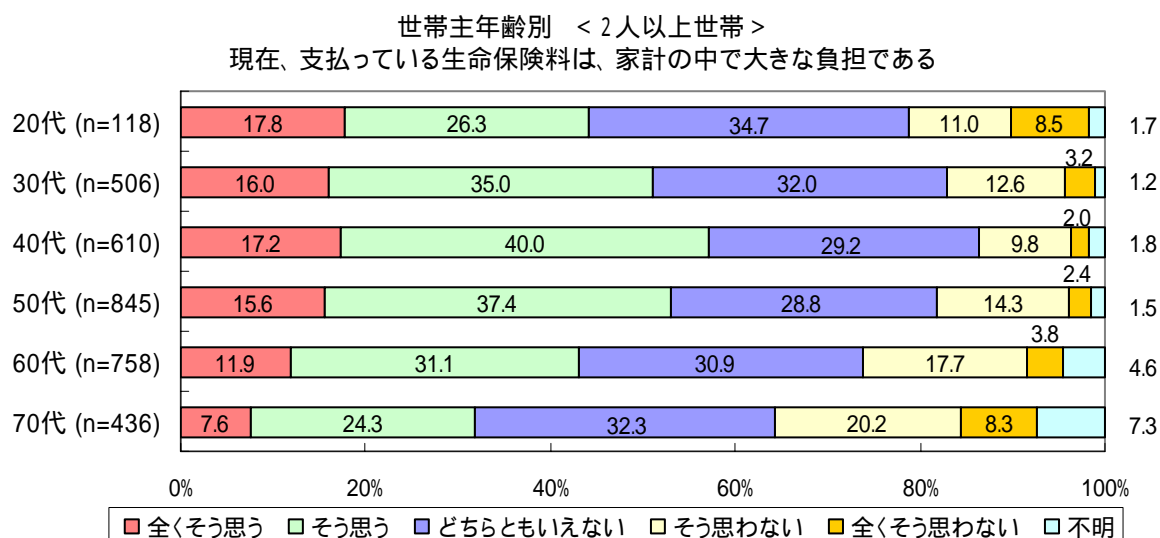
現在加入している保険会社別 <2人以上世帯>  
現在、支払っている生命保険料は、家計の中で大きな負担である





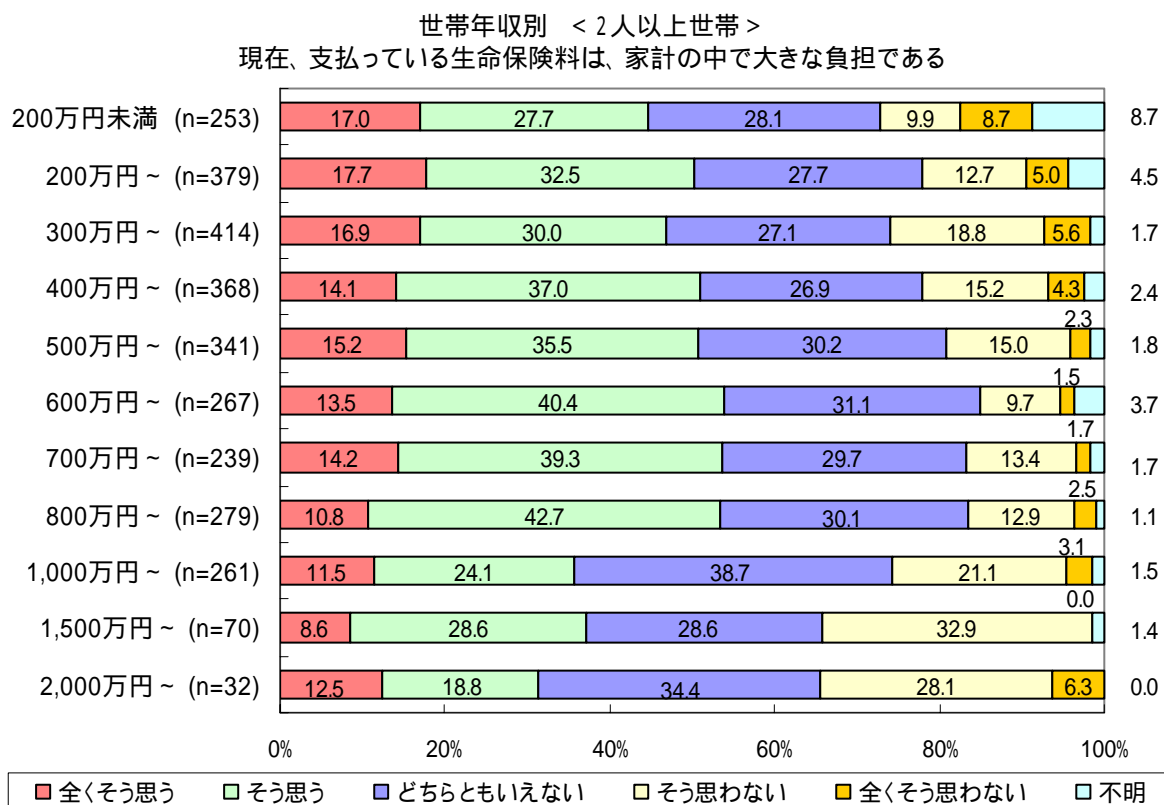
### <世帯主年齢別> (2人以上世帯)

2人以上世帯について、世帯主の年齢別にみると、肯定層は40代でピークとなっている。



### <世帯年収別> (2人以上世帯)

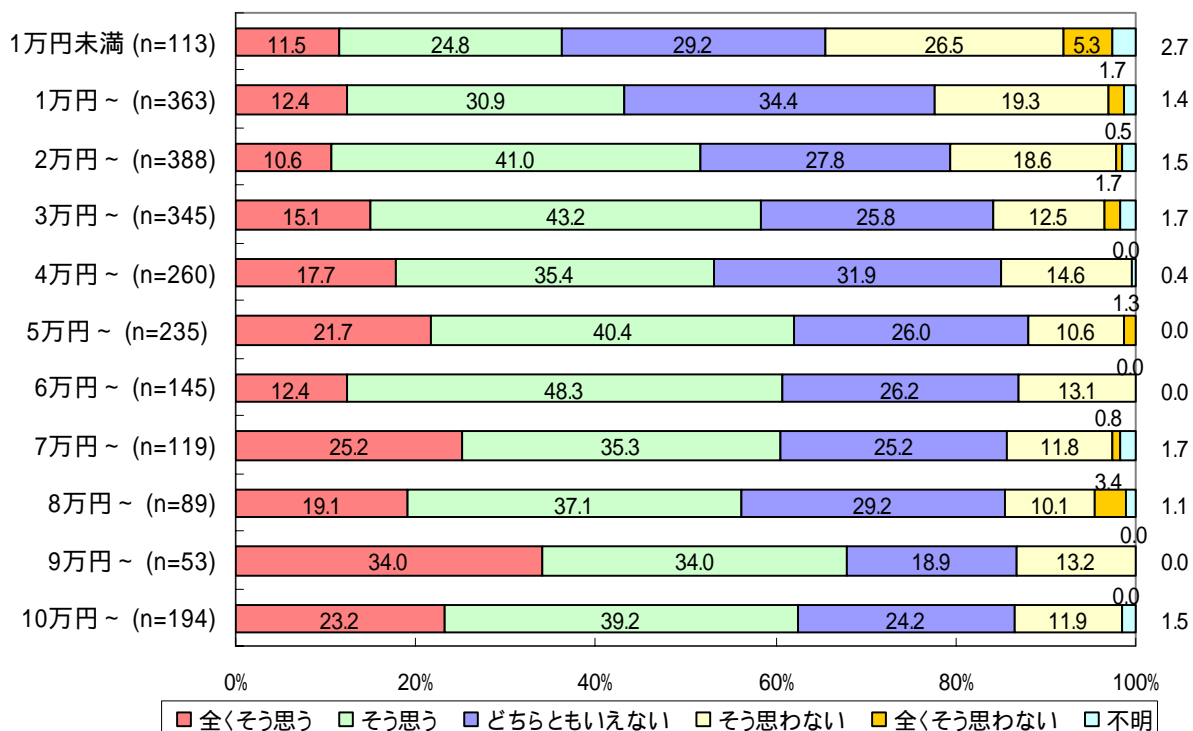
2人以上世帯について、世帯年収別にみると、1,000万円以上の世帯では、負担感が少なくなっている。



### < 現在支払っている月額生命保険料 (家族合計) 別 > (2人以上世帯)

2人以上世帯について、現在支払っている月額生命保険料(家族合計)別にみると、「3万円以上」までは、月額生命保険料が増えると、肯定層が増える傾向があるが、「4万円以上」になると横ばいになっている。

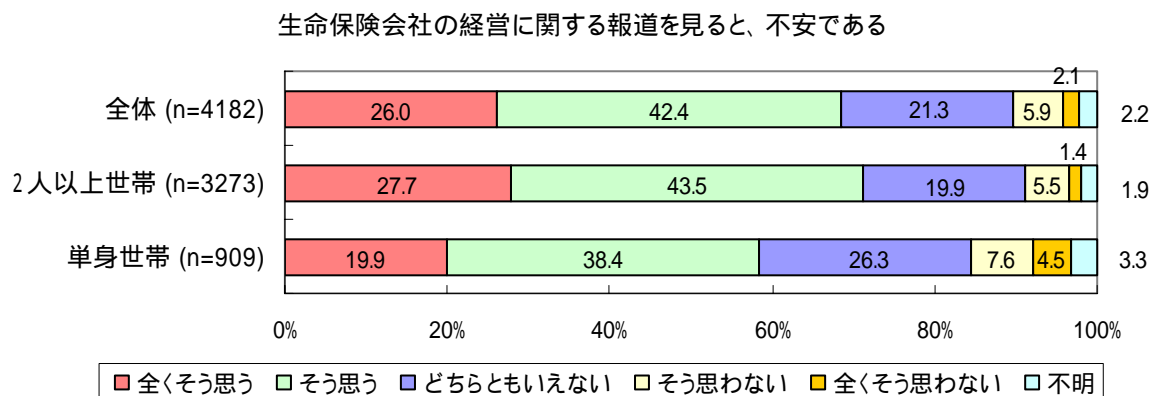
現在支払っている月額生命保険料(家族合計)別 < 2人以上世帯 >  
現在、支払っている生命保険料は、家計の中で大きな負担である



(f) 生命保険会社の経営に関する報道を見ると、不安である (問32 - f)

<世帯別>

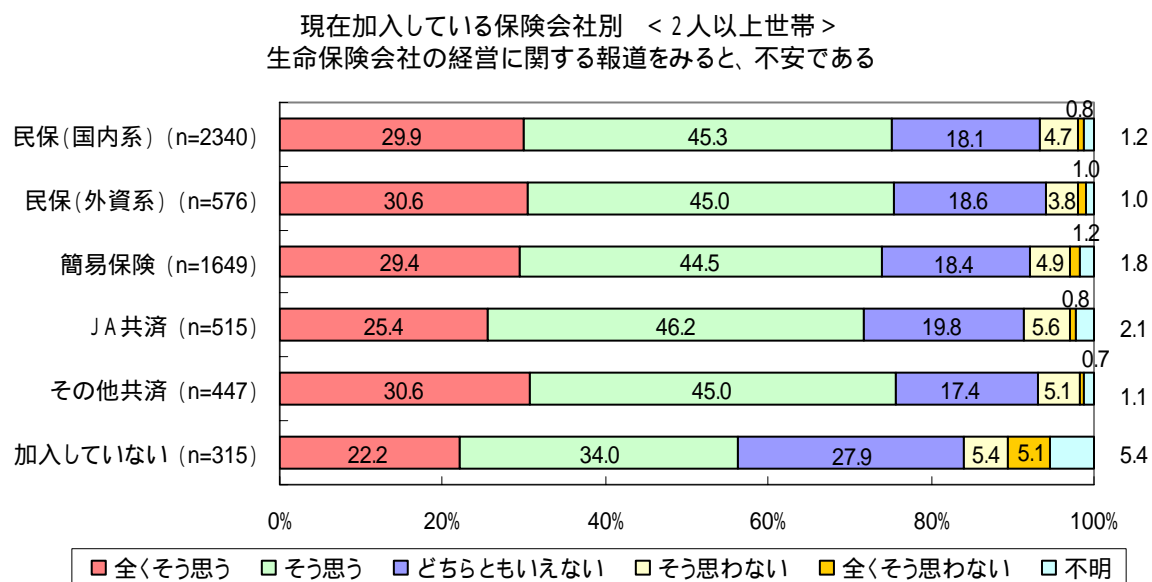
「全くそう思う」、「そう思う」と肯定層が、2人以上世帯では約7割(71.3%)、単身世帯では約6割(58.3%)を占めた。



<現在加入している保険会社別> (2人以上世帯)

2人以上世帯について、加入している保険会社別にみると、加入していない世帯では不安を感じる割合が低くなっている。

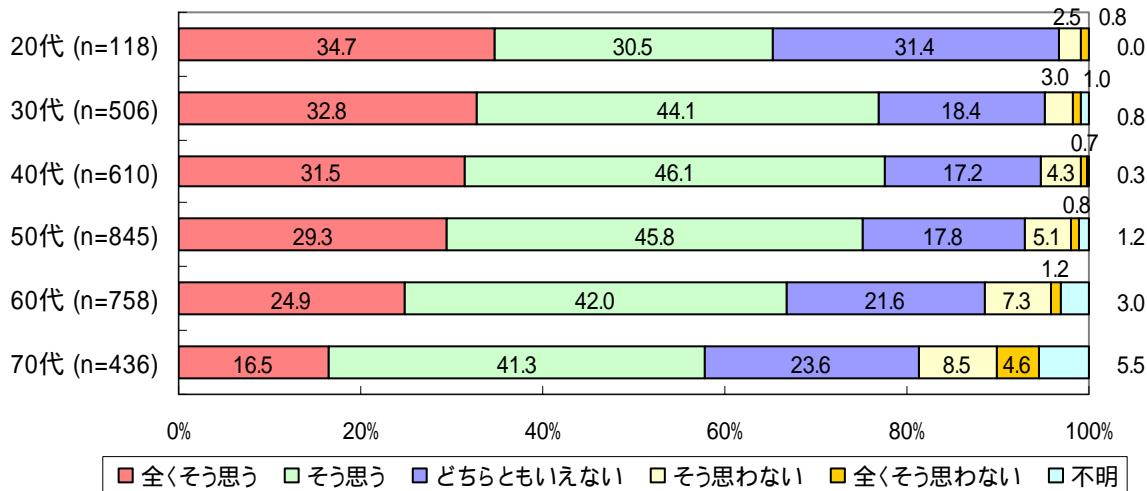
生命保険に加入している世帯では、「JA共済」の加入世帯において、若干不安を感じる割合が少なくなっている。



**<世帯主年齢別> (2人以上世帯)**

2人以上世帯について、世帯主の年齢別にみると、「全くそう思う」と回答した世帯は、若い世代ほど多くなっており、70代では不安感が相対的に少ない。

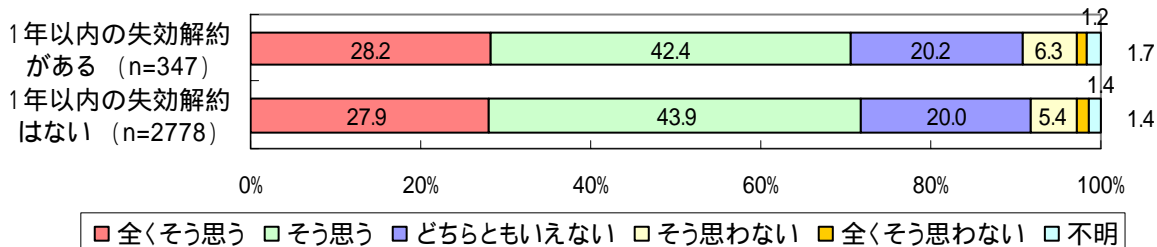
世帯主年齢別 <2人以上世帯>  
生命保険会社の経営に関する報道をみると、不安である



**<1年以内の失効・解約の有無別> (2人以上世帯)**

2人以上世帯について、1年以内の失効・解約の有無別(問29)にみると、生命保険会社の経営に関する報道をみて不安に感じたかどうかということと、1年以内の失効・解約とは相関関係がみられない。

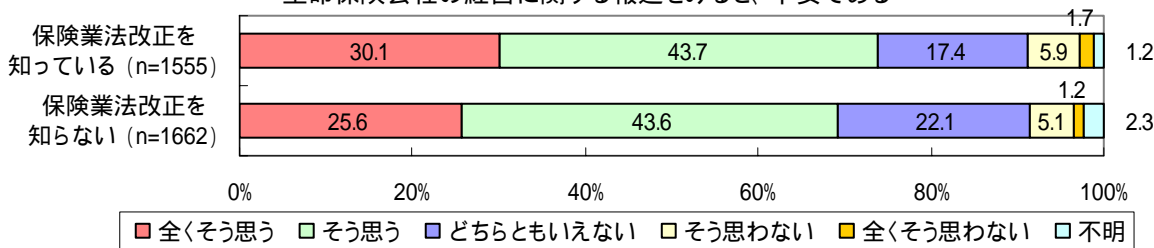
1年以内の失効・解約の有無別 <2人以上世帯>  
生命保険会社の経営に関する報道をみると、不安である



**<保険業法の改正(経営破綻前の予定利率引下げ)の認知別> (2人以上世帯)**

2人以上世帯について、保険業法改正の認知別(問38)にみると、保険業法改正を知っている世帯では、「どちらともいえない」と答えた割合が低くなっている。

保険業法の改正(経営破綻前の予定利率の引下げ)の認知別 <2人以上世帯>  
生命保険会社の経営に関する報道をみると、不安である

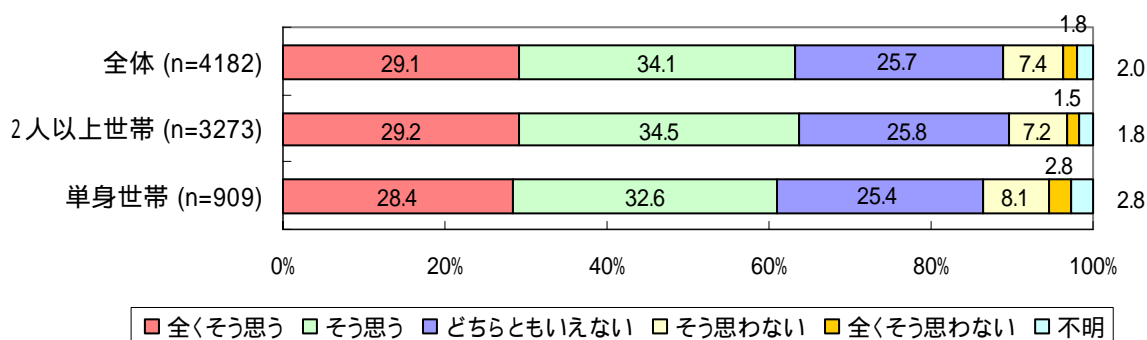


(g) 生命保険の外務員(営業担当者)に訪問されるのは好きではない (問32-g)

<世帯別>

「全くそう思う」、「そう思う」と肯定層が、約6割(全体 63.1%、2人以上世帯 63.7%、単身世帯 60.9%)を占めた。

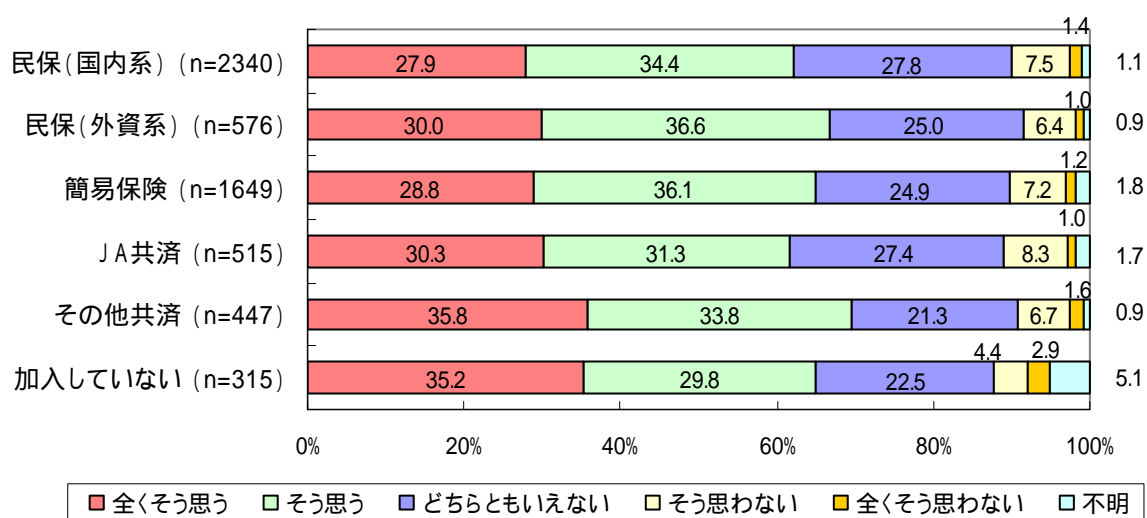
生命保険の外務員(営業担当者)に訪問されるのは好きではない



<現在加入している保険会社別> (2人以上世帯)

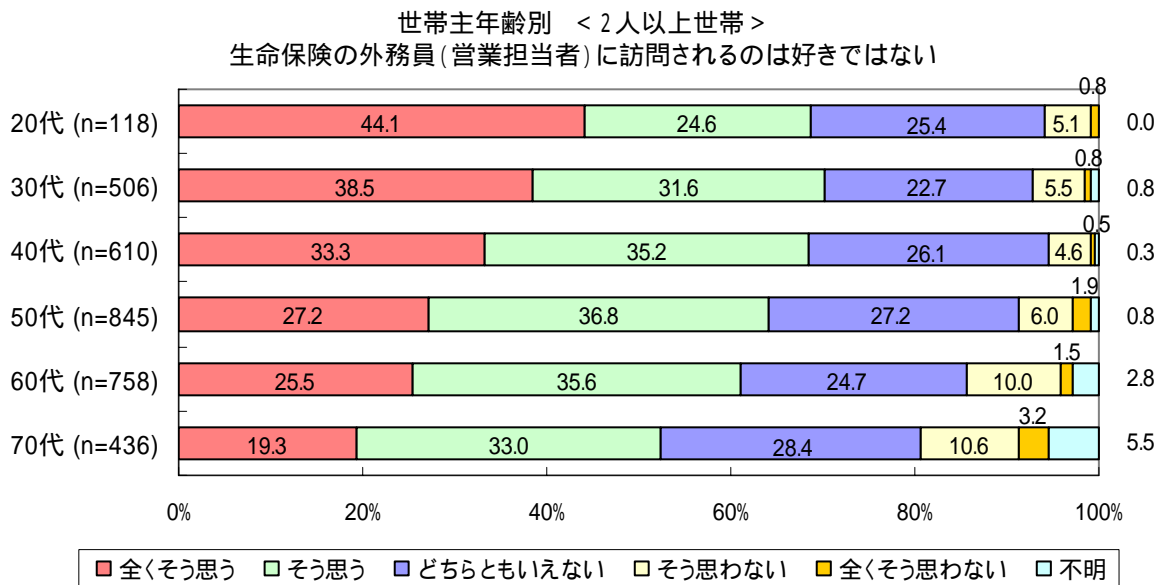
2人以上世帯について、加入している保険会社別にみると、「その他生命共済」及び「民保(外資系)」の加入世帯において、肯定層が多くなっている。

現在加入している保険会社別 <2人以上世帯>  
生命保険の外務員(営業担当者)に訪問されるのは好きではない



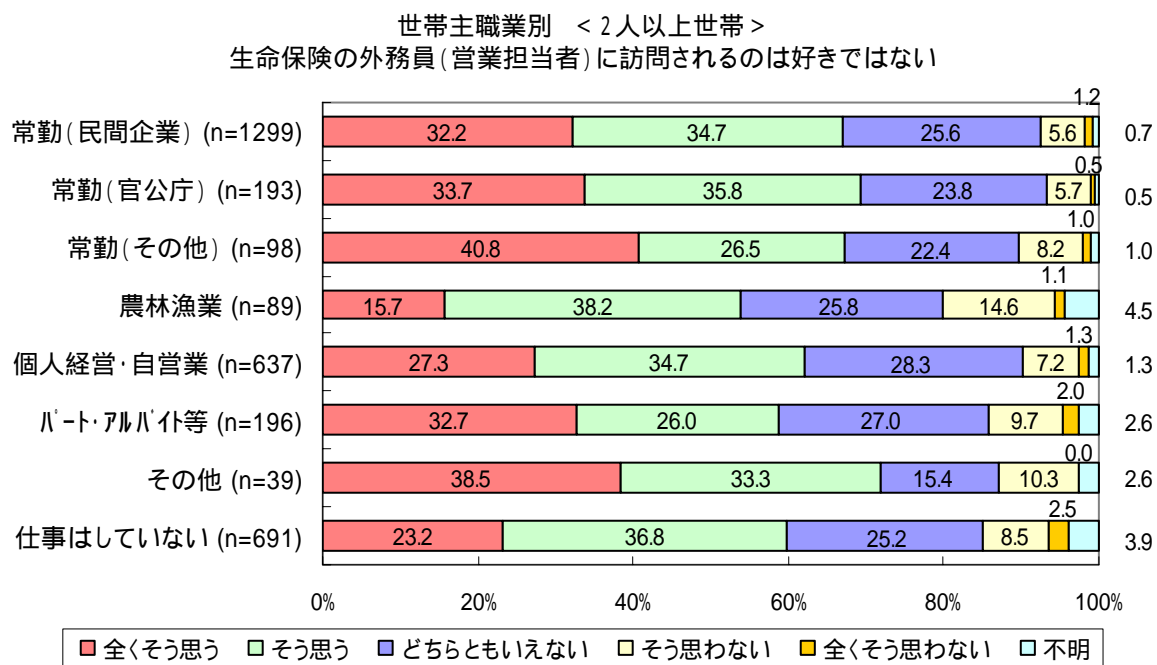
**<世帯主年齢別> (2人以上世帯)**

2人以上世帯について、世帯主の年齢別にみると、若い世代ほど「全くそう思う」と答えた割合が高くなっている。



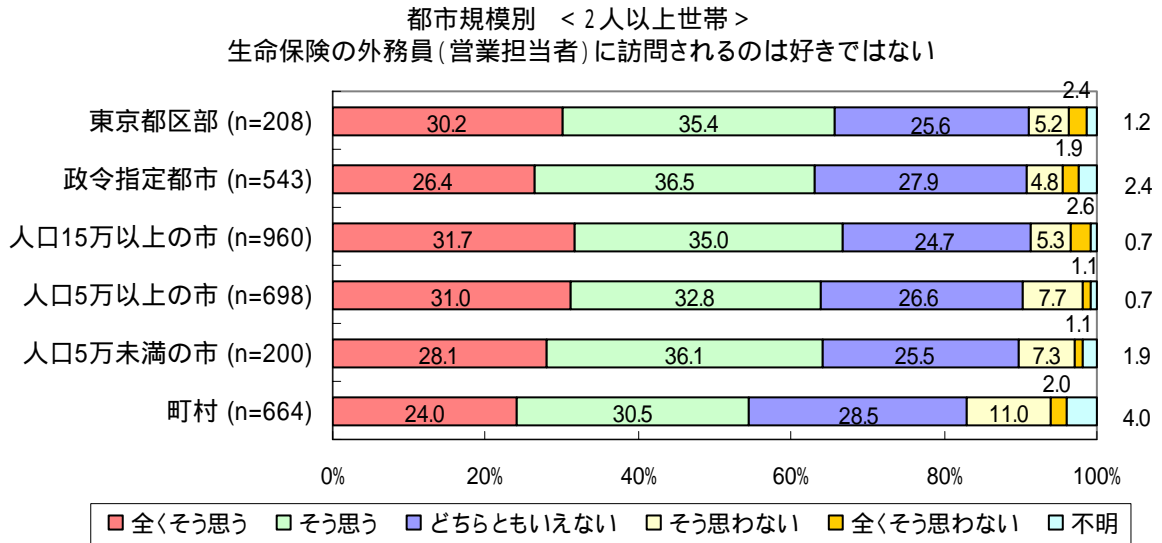
**<世帯主職業別> (2人以上世帯)**

2人以上世帯について、世帯主の職業別にみると、「農林漁業」及び「収入を伴う仕事はしていない」世帯では、「全くそう思う」と答えた割合が低かった。一方、「常勤」の世帯で肯定層が多くなっている。



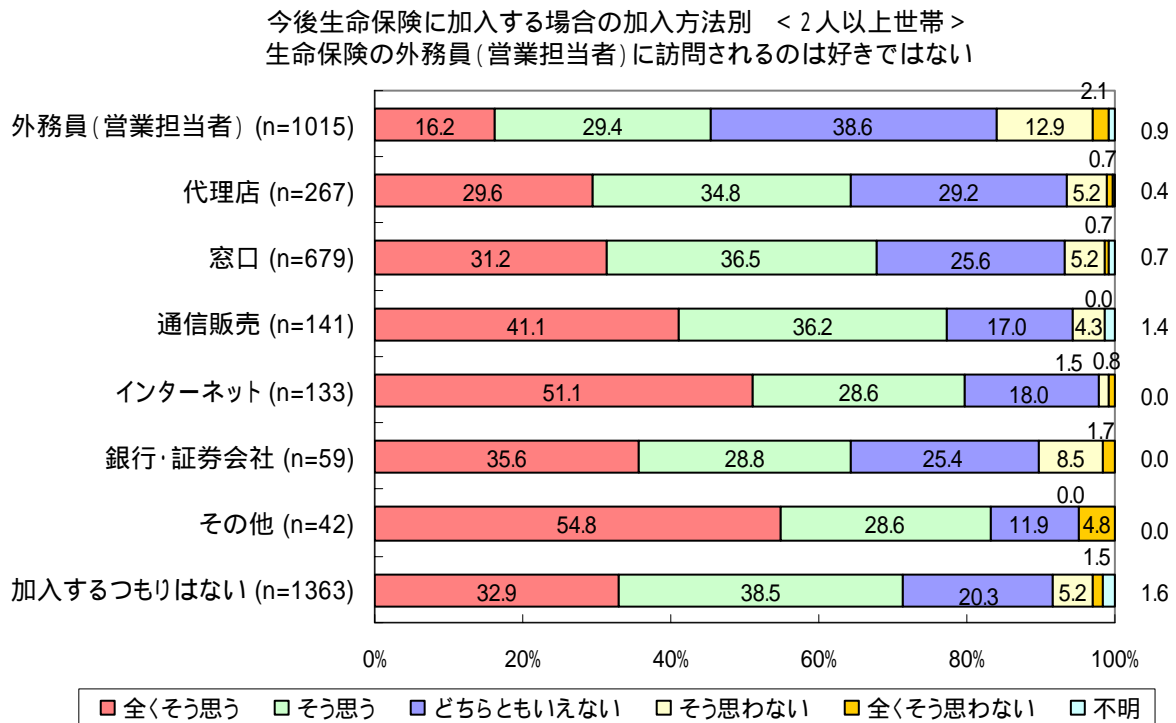
**<都市規模別> (2人以上世帯)**

2人以上世帯について、都市規模別にみると、「町村」では肯定層が、相対的に少なくなっている。



**<今後生命保険に加入する場合の加入方法別> (2人以上世帯)**

2人以上世帯について、今後の生命保険への加入方法別(問31)にみると、「外務員を通じて」と答えた世帯では肯定層が少なく、「通信販売を通じて」、「インターネットを通じて」と答えた世帯では、肯定層が多くなっている。



## 12. 生命保険を取り扱う保険会社等について（問33 あてはまる順に2つ選択）

問33 生命保険を取り扱う次の保険会社等の中で、以下のそれぞれの記述にあてはまると思うものを、そう思う順に2つ、番号でご記入ください。なお、民間生保会社など複数の会社があるものは、加入している会社など、身近な例でお考えください。

「企業イメージがよい」「親しみやすい」「商品内容がよい」「会社や外務員の対応がよい」「安心感・信頼感がある」の5点について、それぞれあてはまる順に2つ選択してもらった。

### <世帯別>

各保険会社等について、1番目に選択された割合で見ると、「民保(国内系)」については、「会社や外務員の対応がよい」(2人以上世帯 44.8%、単身世帯 46.3%)が最も高く、次いで「企業イメージがよい」(2人以上世帯 34.2%、単身世帯 32.9%)であった。

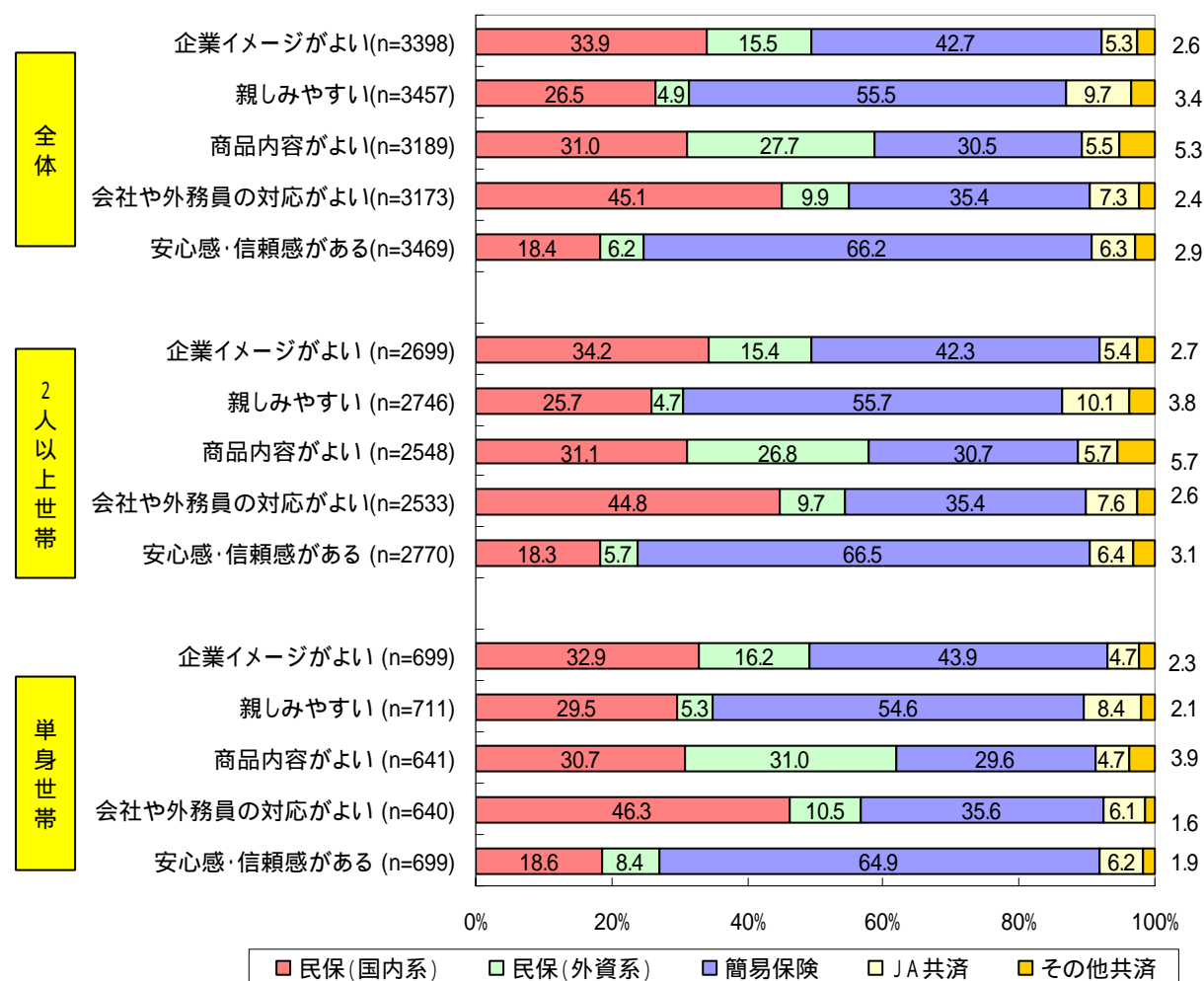
「民保(外資系)」については、「商品内容がよい」(2人以上世帯 26.8%、単身世帯 31.0%)が最も高く、次いで「企業イメージがよい」(2人以上世帯 15.4%、単身世帯 16.2%)であった。

「簡易保険」については、「安心感・信頼感がある」(2人以上世帯 66.5%、単身世帯 64.9%)が最も高く、次いで「親しみやすい」(2人以上世帯 55.7%、単身世帯 54.6%)であった。

「JA共済」については、「親しみやすい」(2人以上世帯 10.1%、単身世帯 8.4%)が最も高く、次いで「会社や外務員の対応がよい」(2人以上世帯 7.6%)、「安心感・信頼感がある」(単身世帯 6.2%)であった。

「その他共済」については、「商品内容がよい」(2人以上世帯 5.7%、単身世帯 3.9%)が最も高く、次いで「親しみやすい」(2人以上世帯 3.8%)、「企業イメージがよい」(単身世帯 2.3%)であった。

1番目に選択された割合（不明を除く）





次に、1番目に選択された場合に2点、2番目に選択された場合に1点として、総点数に対する各保険会社の獲得点数の割合で分析する。

「民保(国内系)」については、「会社や外務員の対応がよい」(2人以上世帯 40.2%、単身世帯 41.3%)が最も高く、次いで「企業イメージがよい」(2人以上世帯 33.2%)、「商品内容がよい」(単身世帯 33.3%)であった。

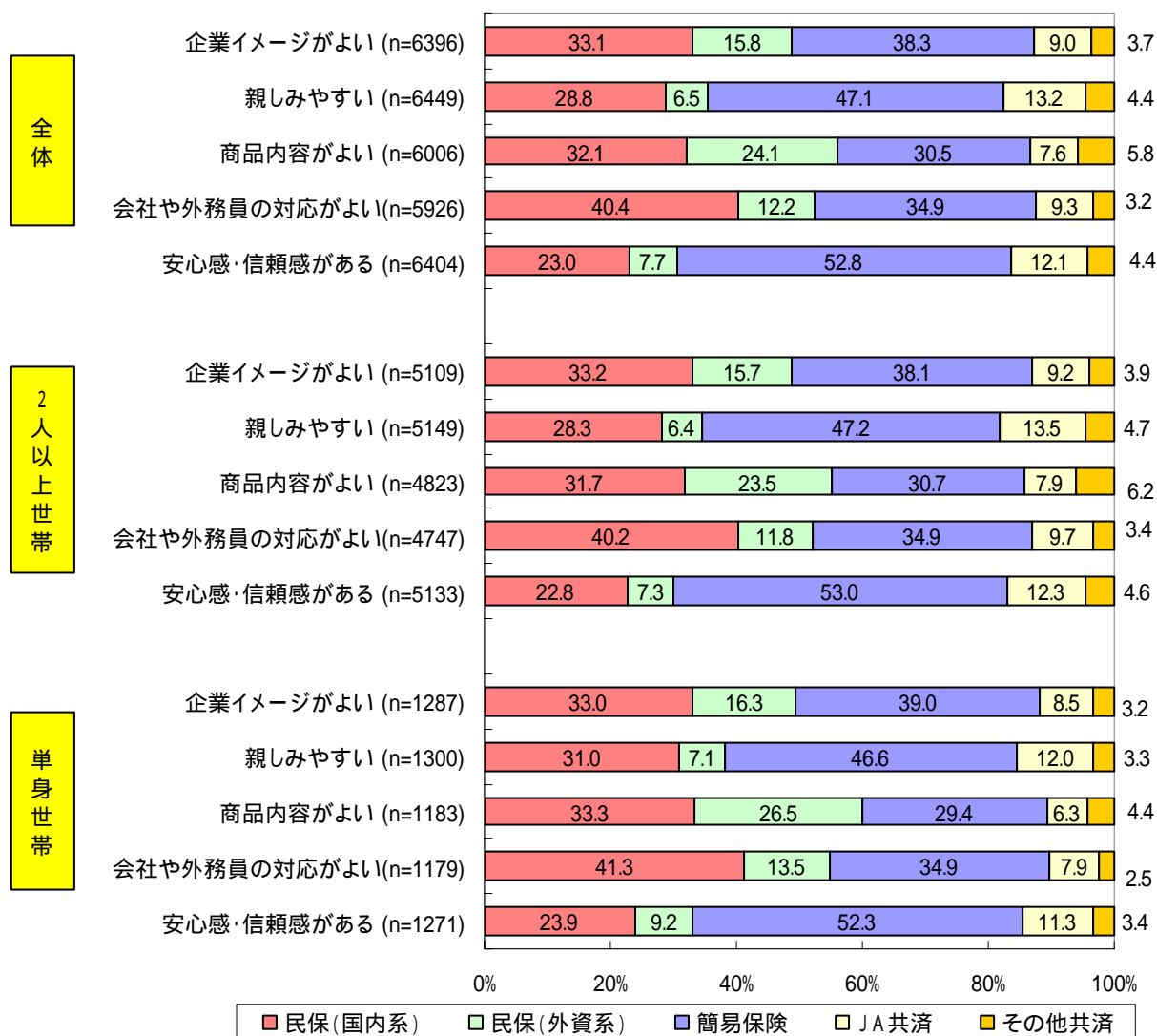
「民保(外資系)」については、「商品内容がよい」(2人以上世帯 23.5%、単身世帯 26.5%)が最も高く、次いで「企業イメージがよい」(2人以上世帯 15.7%、単身世帯 16.3%)であった。

「簡易保険」については、「安心感・信頼感がある」(2人以上世帯 53.0%、単身世帯 52.3%)が最も高く、次いで「親しみやすい」(2人以上世帯 47.2%、単身世帯 46.6%)であった。

「JA共済」については、「親しみやすい」(2人以上世帯 13.5%、単身世帯 12.0%)が最も高く、次いで「安心感・信頼感がある」(2人以上世帯 12.3%、単身世帯 11.3%)であった。

「その他共済」については、「商品内容がよい」(2人以上世帯 6.2%、単身世帯 4.4%)が最も高く、次いで「親しみやすい」(2人以上世帯 4.7%)、「安心感・信頼感がある」(単身世帯 3.4%)であった。

1番目(2点)、2番目(1点)とした場合の獲得点数



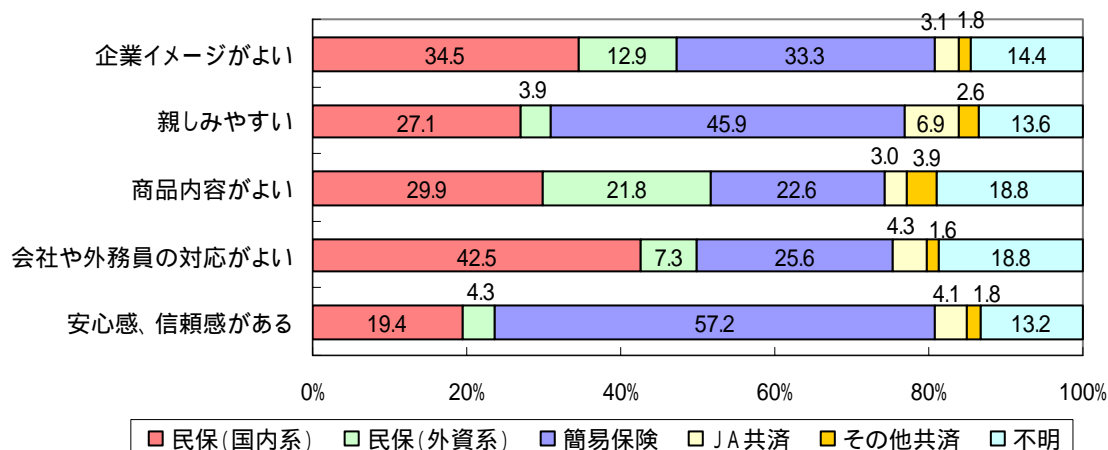
## < 現在加入している生命保険会社別 > (2人以上世帯)

2人以上世帯について、現在加入している保険会社別に、1番目に選択された割合を分析する。

### (1) 民間生命保険会社(国内系)

民間生命保険会社(国内系)に現在加入している2人以上世帯(n=2,340)についてみると、民保(国内系)のイメージとして、1番目に選択した割合は、「会社や外務員の対応がよい」(42.5%)が最も高く、次いで「企業イメージがよい」(34.5%)であった。

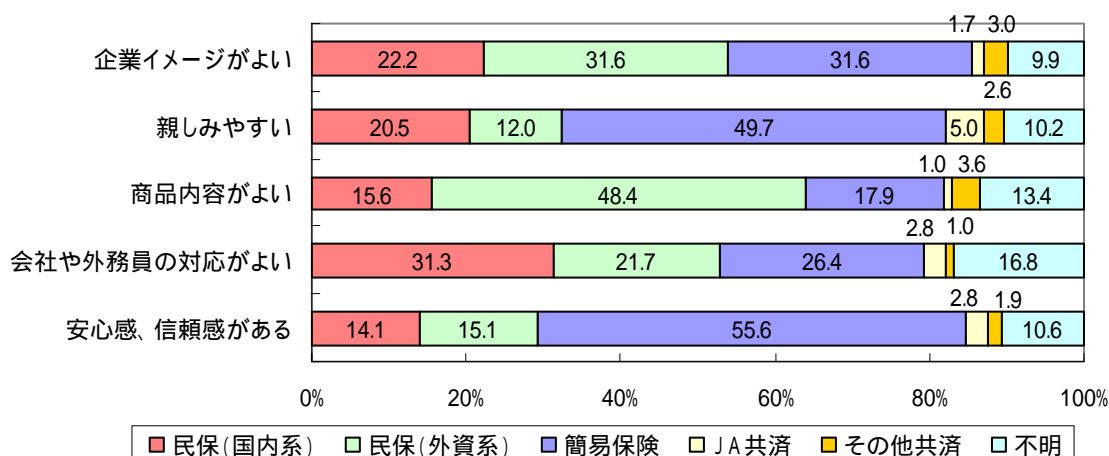
1番目に選択 < 民保(国内系)に加入している2人以上世帯 (n=2,340) >



### (2) 民間生命保険会社(外資系)

民間生命保険会社(外資系)に現在加入している2人以上世帯(n=576)についてみると、民保(外資系)のイメージとして、1番目に選択した割合は、「商品内容がよい」(48.4%)が最も高く、次いで「企業イメージがよい」(31.6%)であった。

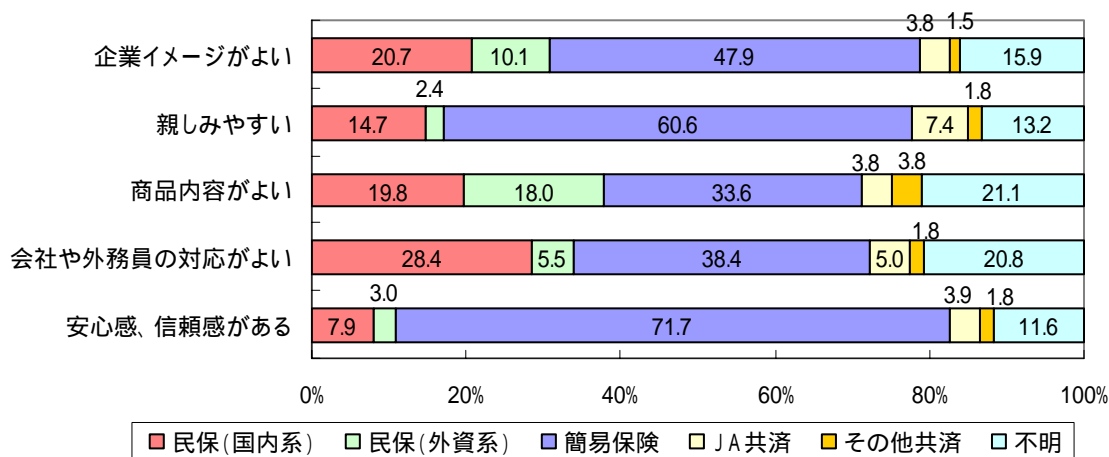
1番目に選択 < 民保(外資系)に加入している2人以上世帯 (n=576) >



### (3) 郵便局の簡易保険

郵便局の簡易保険に現在加入している2人以上世帯(n=1,649)についてみると、簡易保険のイメージとして、1番目に選択した割合は、「安心感、信頼感がある」(71.7%)が最も高く、次いで「親しみやすい」(60.6%)であった。

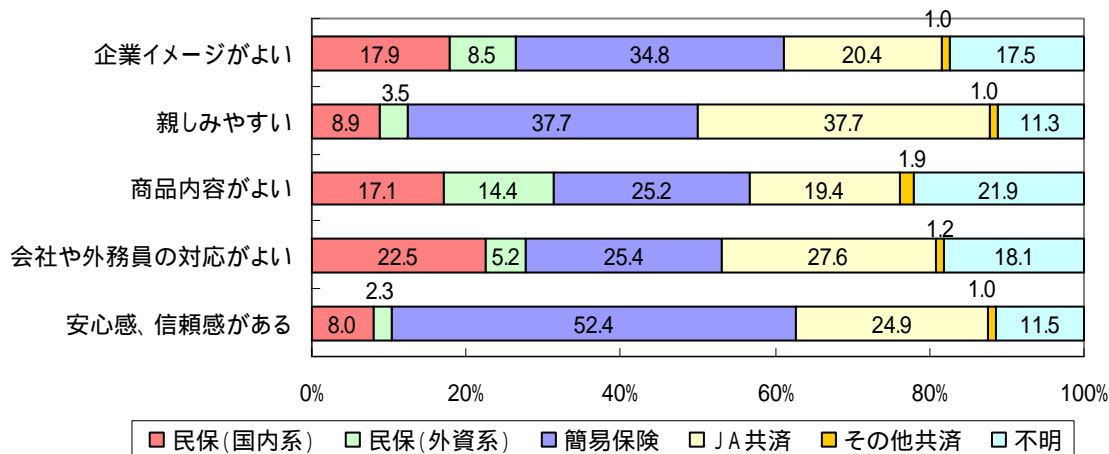
1番目に選択 <簡易保険に加入している2人以上世帯 (n=1,649)>



### (4) 農協(JA)の生命共済

農協(JA)の生命共済に現在加入している2人以上世帯(n=515)についてみると、JA共済のイメージとして、1番目に選択した割合は、「親しみやすい」(37.7%)が最も高く、次いで「会社や外務員の対応がよい」(27.6%)であった。

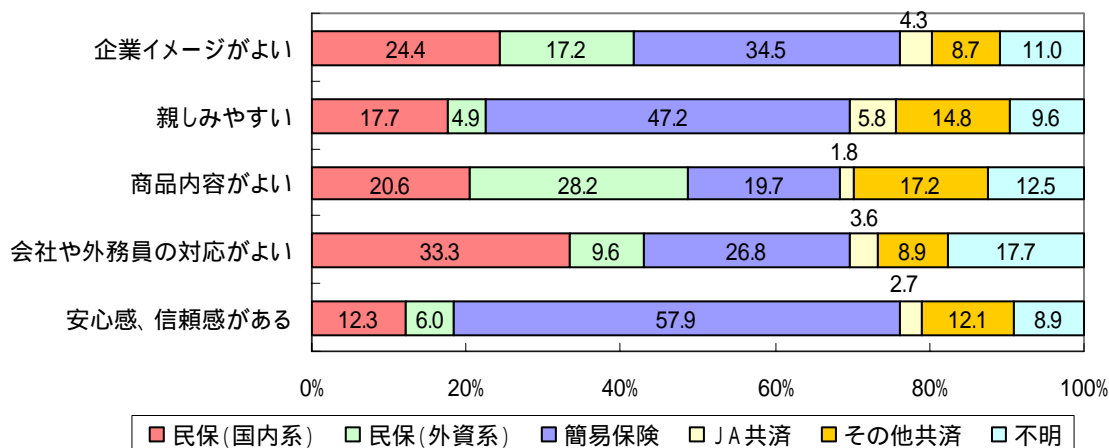
1番目に選択 <JA共済に加入している2人以上世帯 (n=515)>



### (5) その他の生命共済

その他の生命共済に現在加入している2人以上世帯(n=447)についてみると、その他共済のイメージとして、1番目に選択した割合は、「商品内容がよい」(17.2%)が最も高く、次いで「親しみやすい」(14.8%)であった。

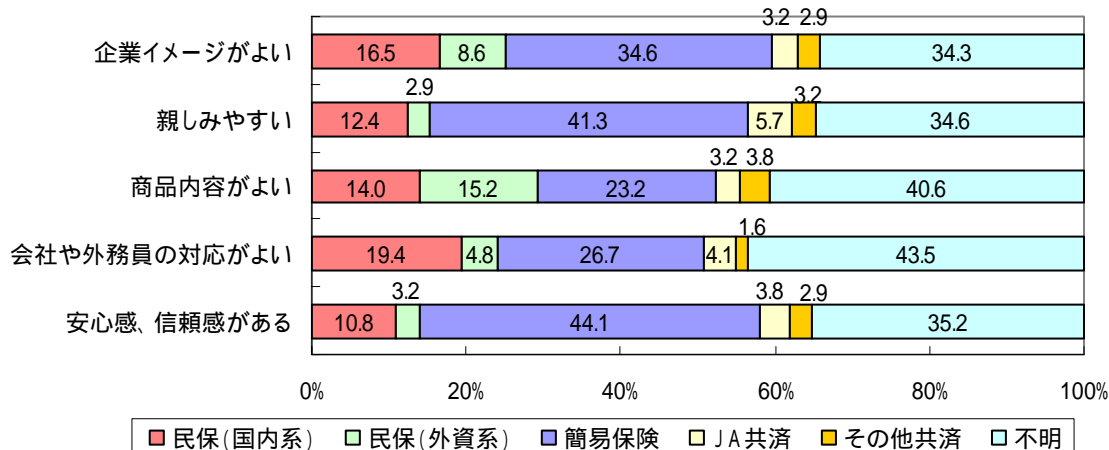
1番目に選択 <その他共済に加入している2人以上世帯 (n=447)>



### (6) 生命保険に加入していない

生命保険に加入していない2人以上世帯(n=315)についてみると、「不明」が非常に多くなっているが、生命保険会社等のイメージについて、全項目について「簡易保険」を1番目に選択した割合が最も高くなっている。

1番目に選択 <生命保険に加入していない2人以上世帯 (n=315)>



### 13. 家族に必要な生活資金（問34）

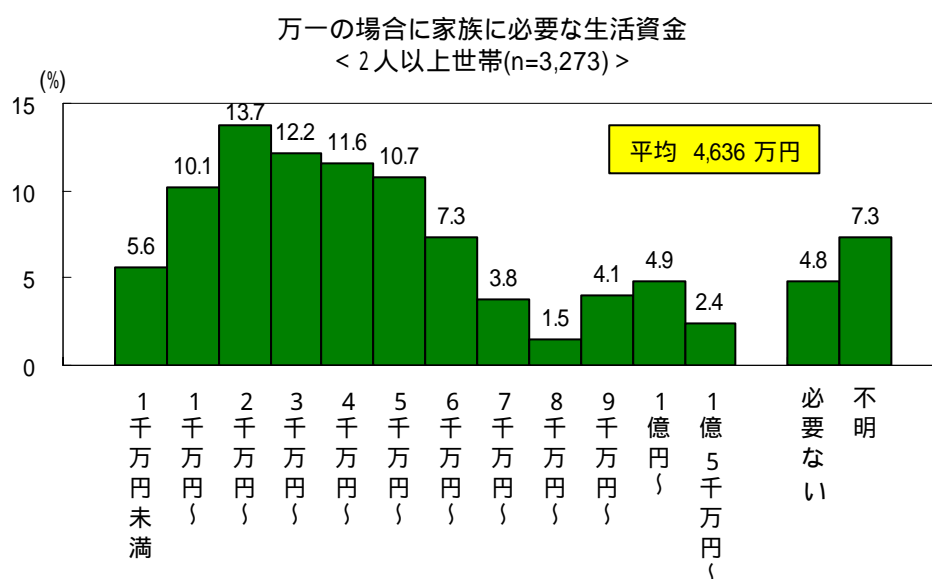
問 34 今、主として家計を支える方に万一のことがあった場合、お宅では残されたご家族の生活資金として、およそどのくらいの金額が必要だとお考えですか。（ は1つ）

本設問は実額記入式ではなく、選択式であることから、平均の値については、各階級の中央値を取り、また、「1億5,000万円以上」を選択した世帯については「1億5,000万円」とみなして算出している。

#### < 2人以上世帯 >

主として家計を支える方に万一のことがあった場合、残された家族に必要な生活資金についておよその金額を聞いたところ、2人以上世帯では平均4,636万円であった。

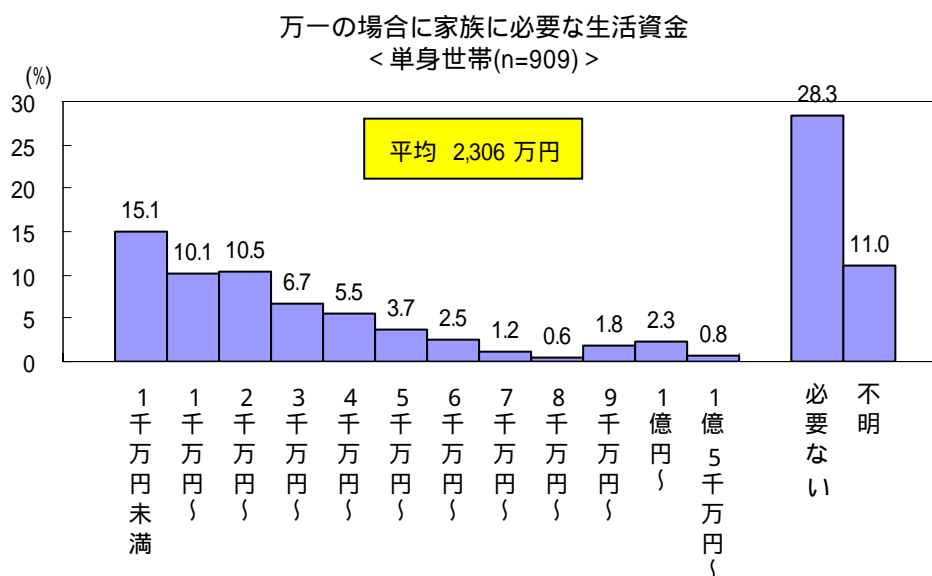
金額の分布をみると、「2,000万円以上 3,000万円未満」（13.7%）の割合が最も高くなっている。



#### < 単身世帯 >

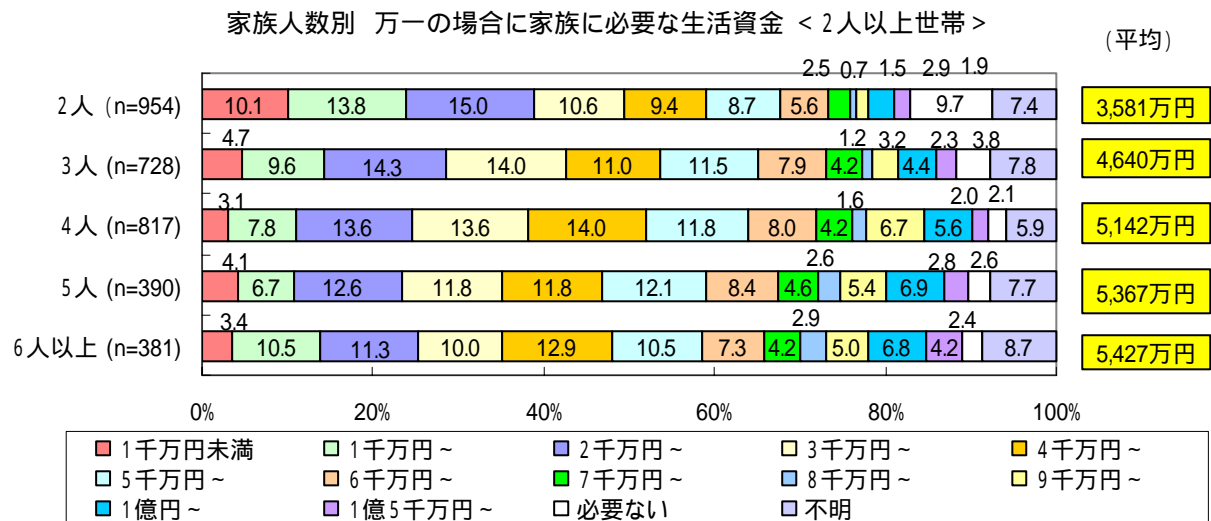
主として家計を支える方に万一のことがあった場合、残された家族に必要な生活資金についておよその金額を聞いたところ、単身世帯では平均2,306万円であった。

金額の分布をみると、単身世帯では、「必要ない」（28.3%）が最も高く、次いで「1,000万円未満」（15.1%）が続いている。



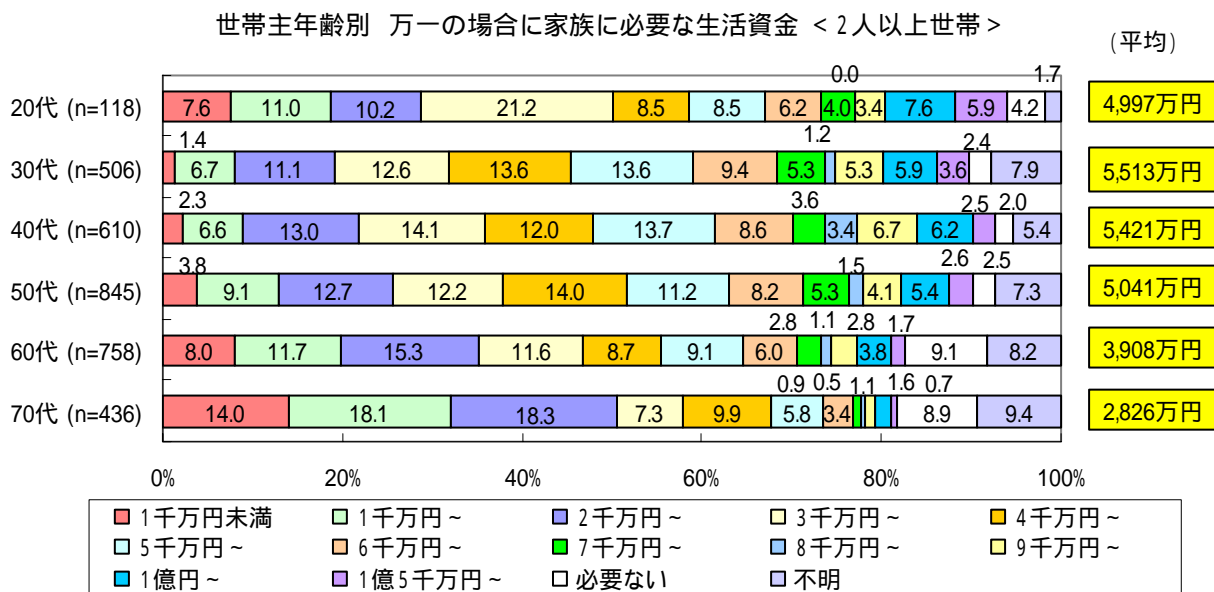
< 家族人数別 > (2人以上世帯)

2人以上世帯について家族人数別にみると、2人家族では、「必要ない」(9.7%)、「1,000万円未満」(10.1%)の割合が高くなっている。



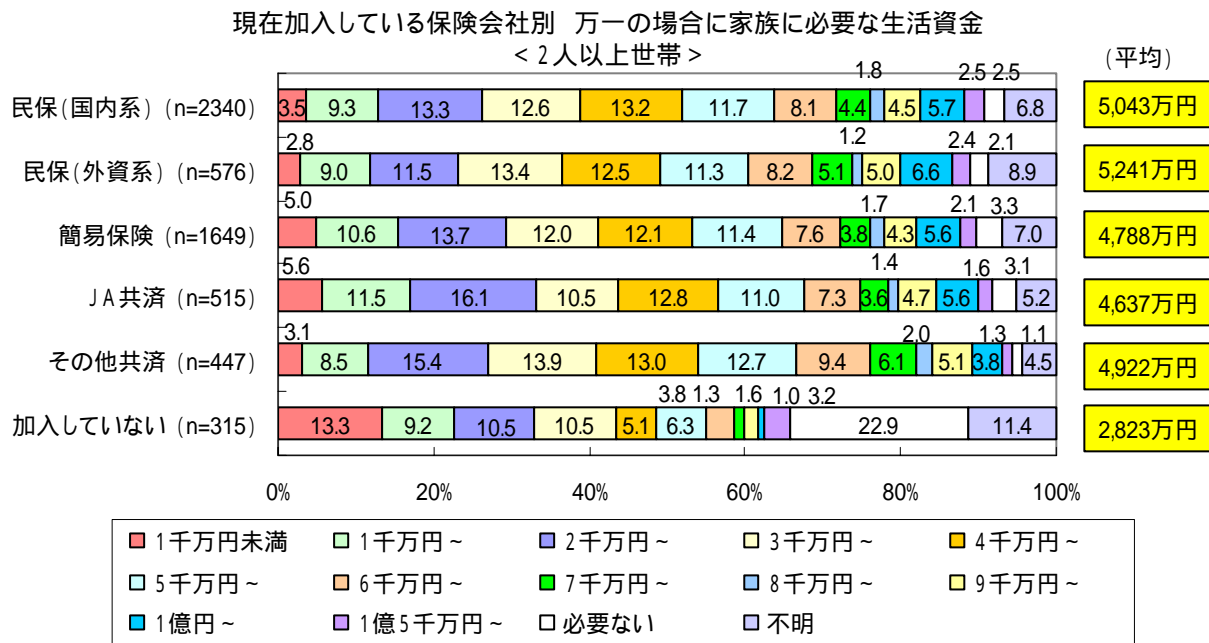
< 世帯主年齢別 > (2人以上世帯)

2人以上世帯について世帯主年齢別にみると、必要な生活資金の平均額は30代で最も高く、年代が上がるにつれ低くなっている。



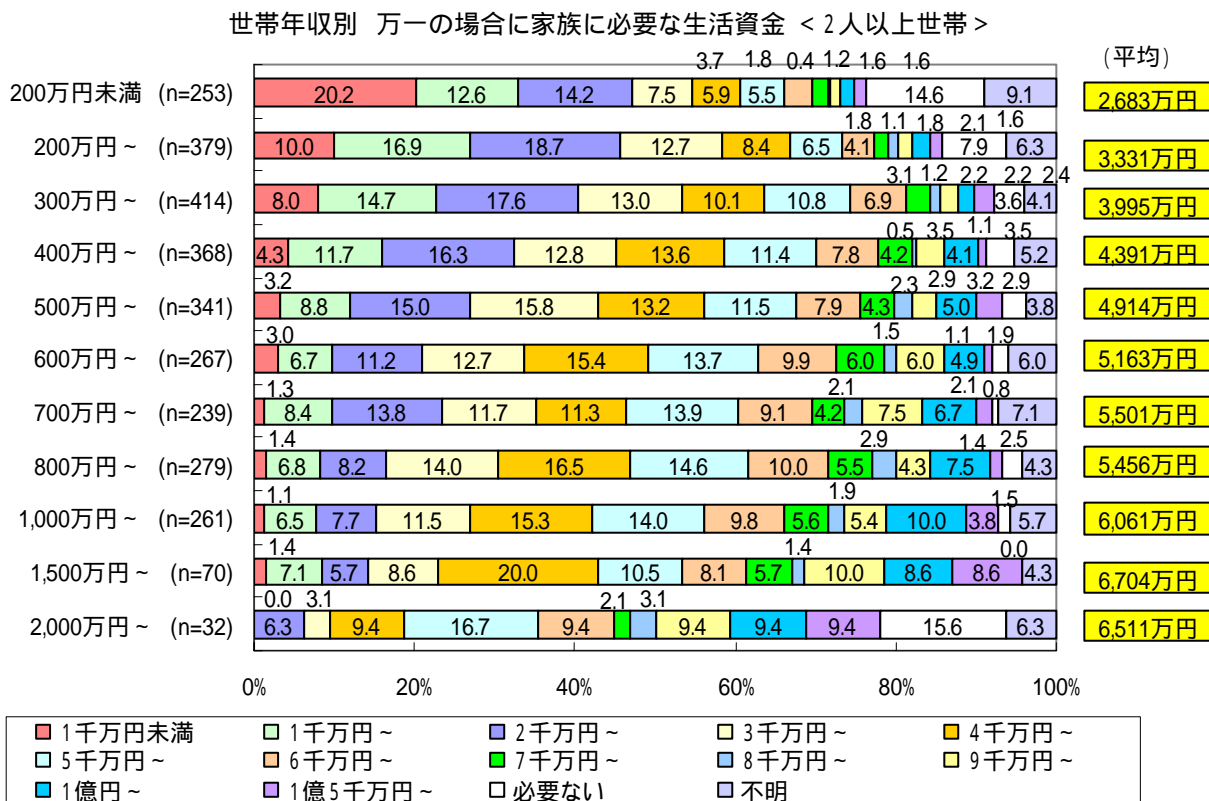
< 現在加入している保険会社別 > (2人以上世帯)

2人以上世帯について加入している保険会社別にみると、必要な生活資金の平均額は、「生命保険に加入していない」世帯では大幅に低くなっている。



< 世帯年収別 > (2人以上世帯)

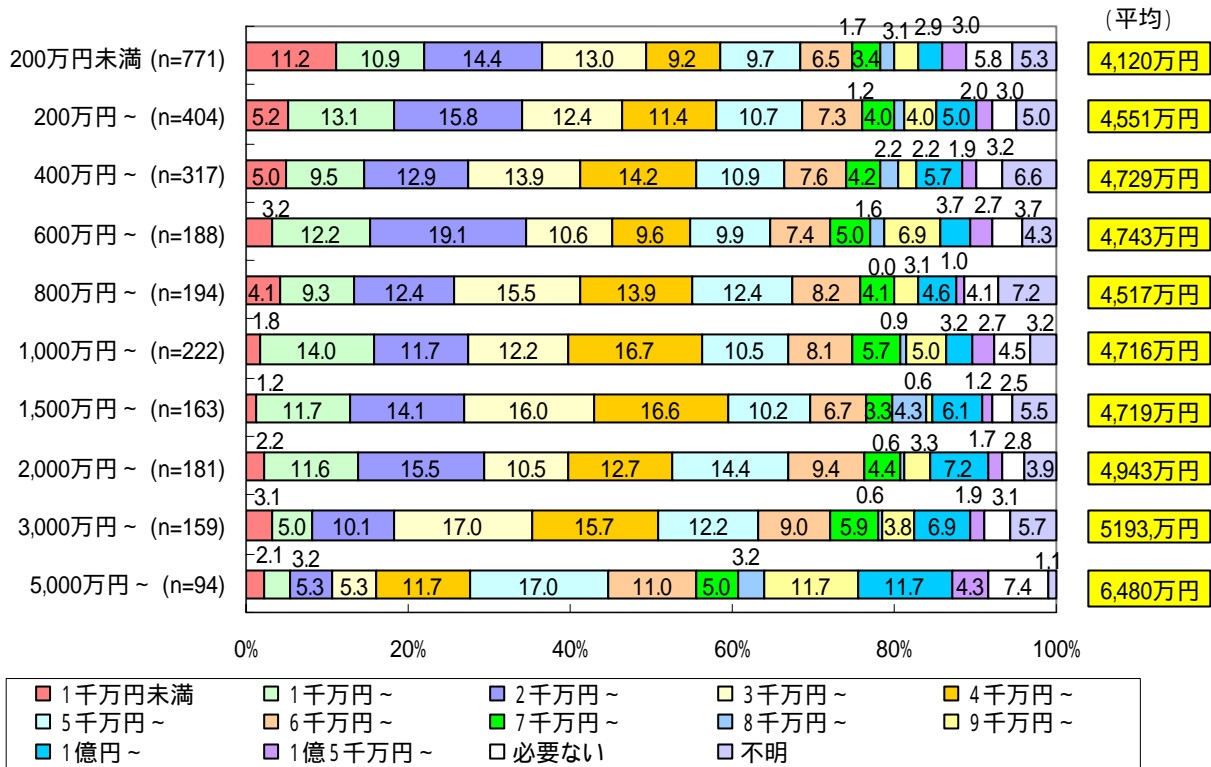
2人以上世帯について世帯年収別にみると、必要な生活資金の平均額は、「2,000 万円以上」では「必要ない」が多く、「1,500 万円以上」と比べて若干減っているが、世帯年収が上がるにつれて高くなっている。



<貯蓄総額別> (2人以上世帯)

2人以上世帯について貯蓄総額別にみると、必要な生活資金の平均額は、「5,000万円以上」の世帯では大幅に高く、「3,000万円以上」の世帯で若干高く、「200万円未満」の世帯では低くなっているが、「200万円以上 3,000万円未満」の世帯では、4,500万円から 4,900万円の間であり、貯蓄総額によって大きな差はみられない。

貯蓄総額別 万一の場合に家族に必要な生活資金 < 2人以上世帯 >



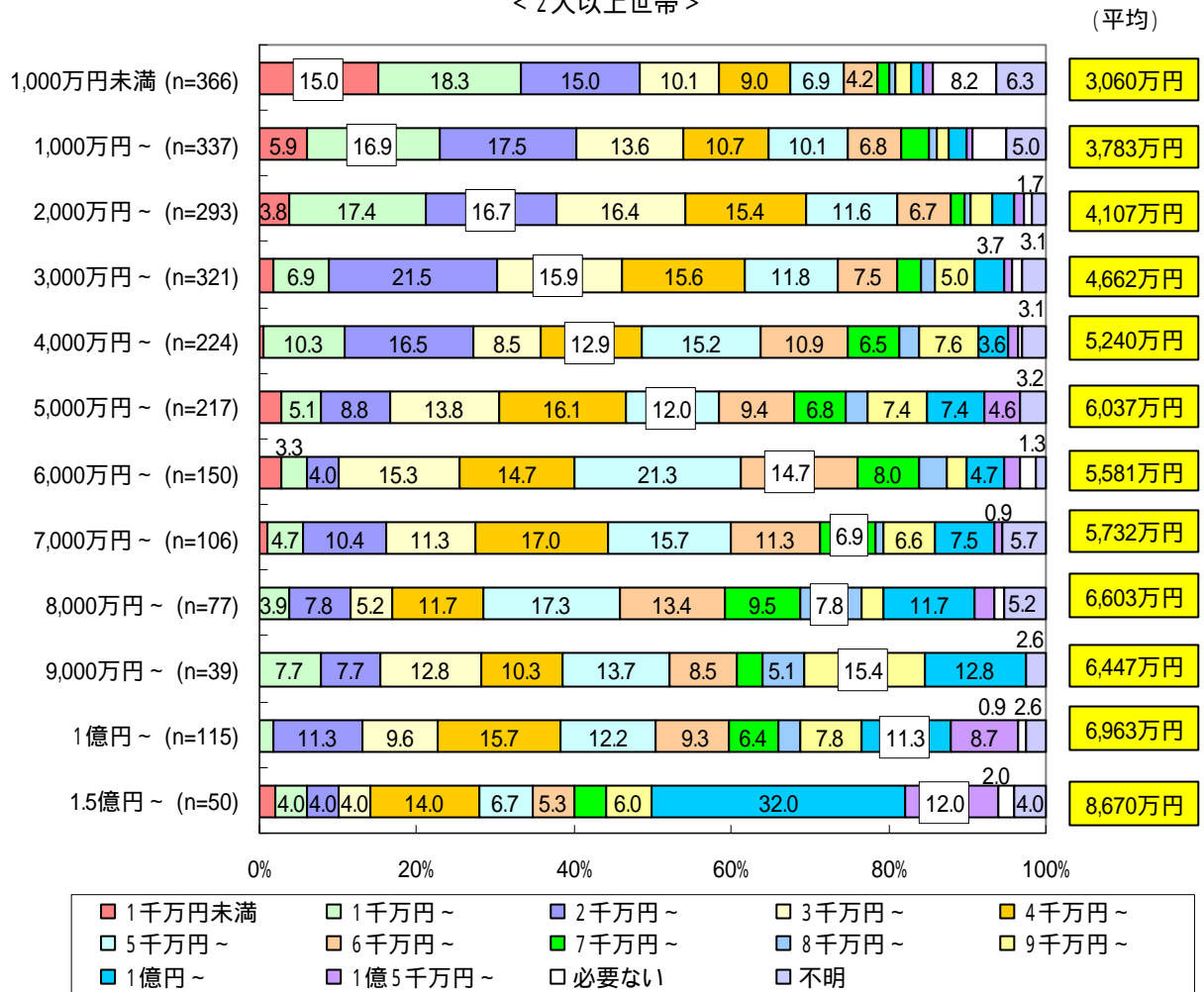


<加入している生命保険金額(家族合計)別> (2人以上世帯)

2人以上世帯について加入している生命保険金額(家族合計)別にみると、必要な生活資金の平均額は、現在加入している生命保険金額(家族合計)が上がるにつれて高くなる傾向がある。

また、現在加入している生命保険金額(家族合計)が「6,000万円以上」の世帯では、平均でみると万ーの場合に必要なと考える生活資金について、すでに生命保険でカバーされている。

加入している生命保険金額(家族合計)別 万ーの場合に家族に必要な生活資金 <2人以上世帯>



## 14. 生命保険であてにしている金額 (問34 - 1)

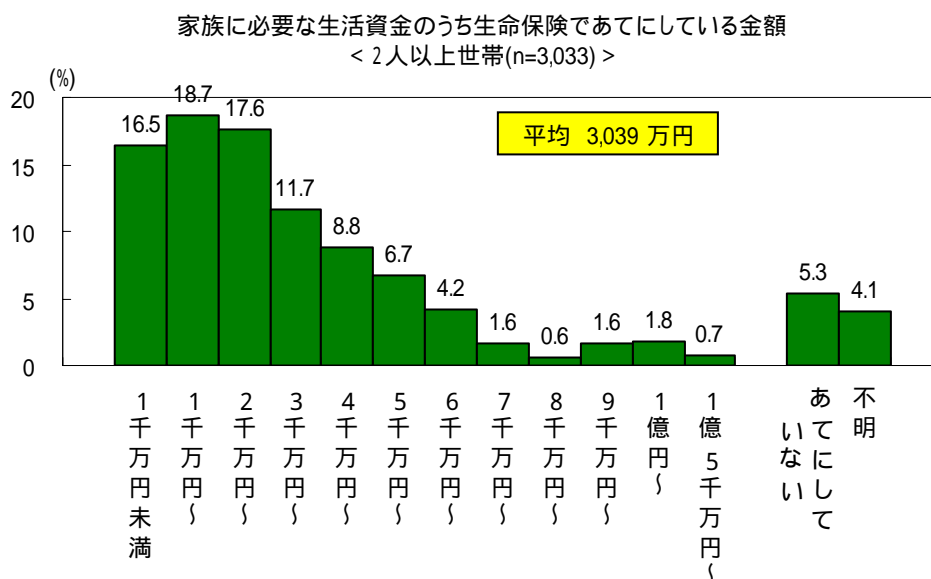
問 34-1 また、そのうち生命保険であてにしている金額について、に番号を記入してください。保険料のことをお考えにならずこれだけ生命保険に入っていれば安心だと思ふ金額をお答えください。

本設問は実額記入式ではなく、選択式であることから、平均の値については、各階級の中央値を取り、また、「1億5,000万円以上」を選択した世帯については「1億5,000万円」とみなして算出している。

### < 2人以上世帯 >

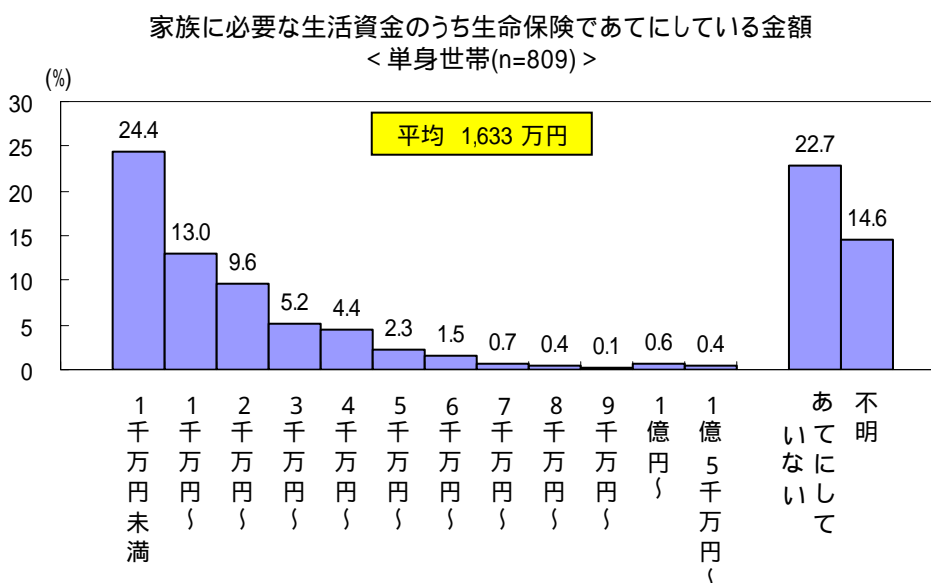
主として家計を支える方に万一のことがあった場合、残された家族に必要な生活資金のうち、生命保険であてにしている金額(これだけ生命保険に入っていれば安心だと思ふ金額)を聞いたところ、2人以上世帯(n=3,033)では平均 3,039 万円で、必要な生活資金(平均 4,636 万円)の 65.5%であった。

金額の分布を見ると、「1,000万円以上 2,000万円未満」(18.7%)の割合が最も高かった。



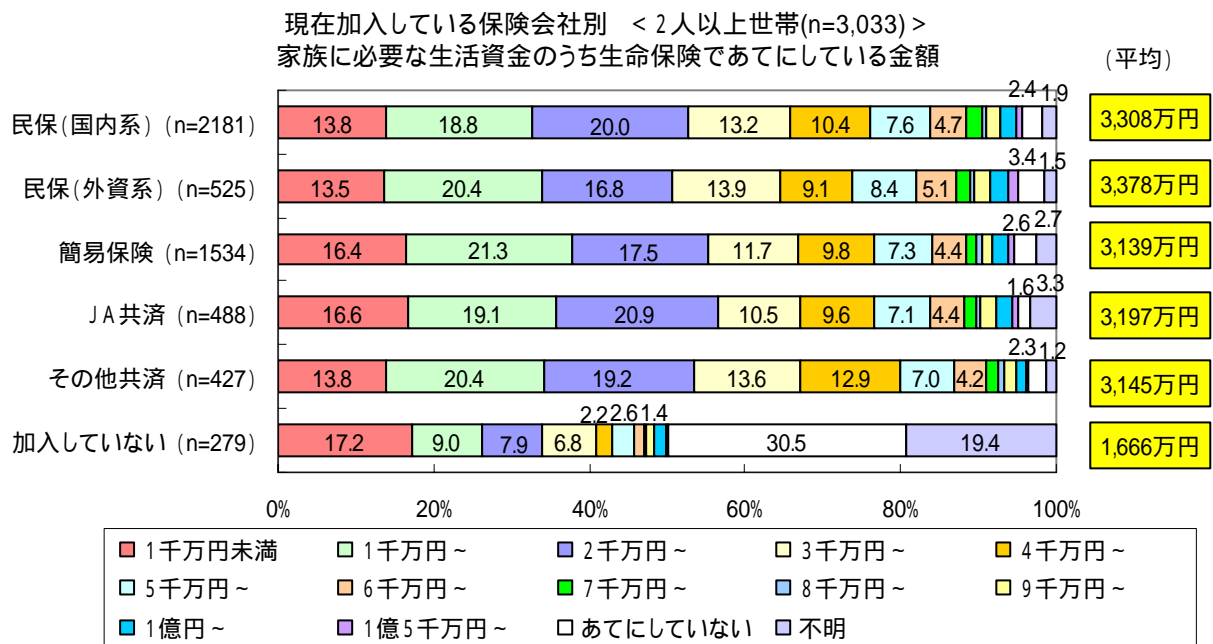
### < 単身世帯 >

単身世帯(n=809)では平均 1,633 万円で、必要な生活資金(平均 2,306 万円)の 70.8%であった。金額の分布をみると、「1,000万円未満」(24.4%)が最も高く、「あてにしている」(22.7%)が続いている。



< 現在加入している保険会社別 > (2人以上世帯)

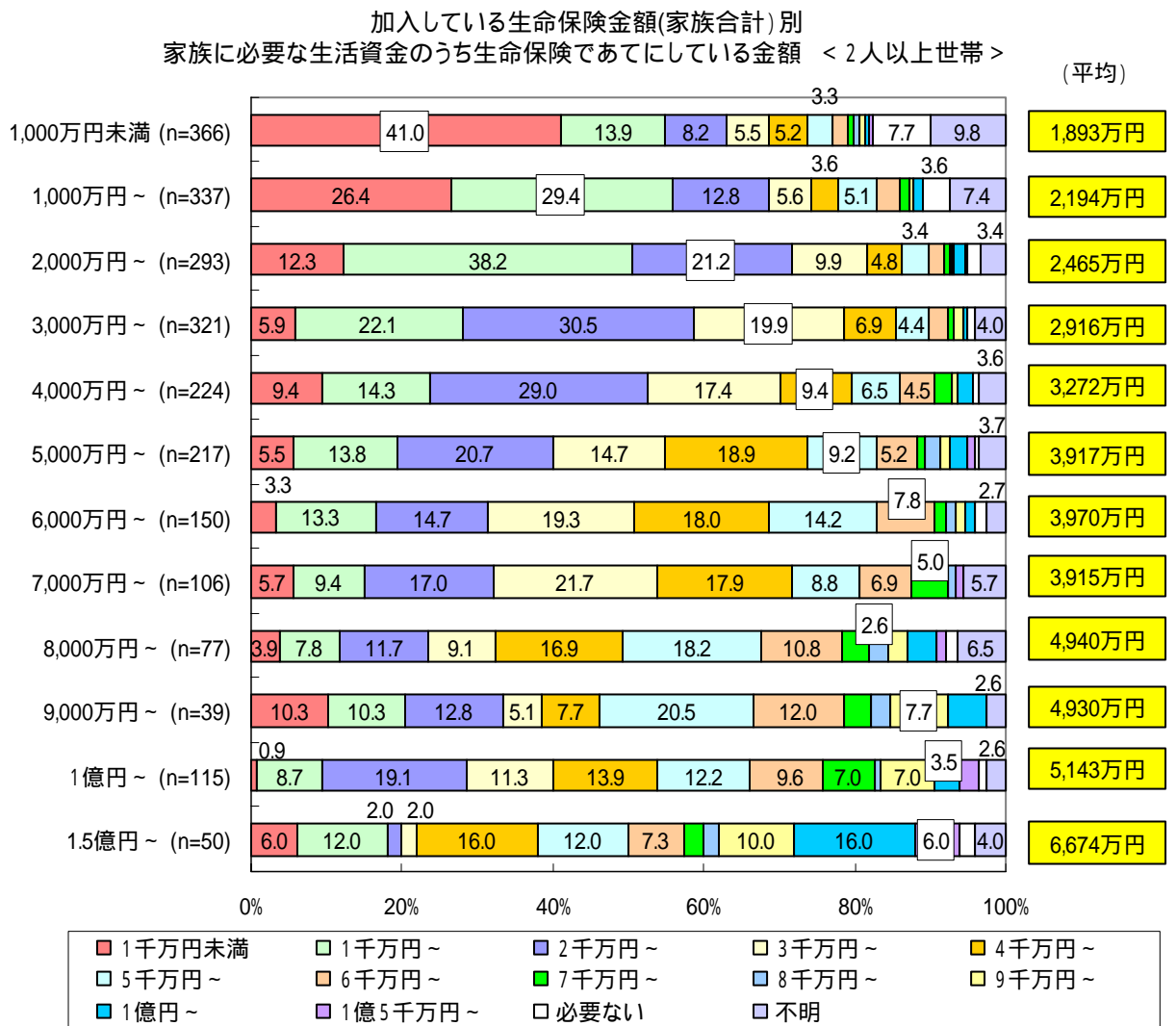
2人以上世帯について加入している保険会社別にみると、必要な生活資金のうち生命保険であてにしている平均額は、「生命保険に加入していない」世帯では大幅に低くなっている。



<加入している生命保険金額(家族合計)別> (2人以上世帯)

2人以上世帯について加入している生命保険金額(家族合計)別にみると、必要な生活資金のうち生命保険であてにしている平均額は、現在加入している生命保険金額(家族合計)が上がるにつれて高くなる傾向がみられる。

また、現在加入している生命保険金額(家族合計)が「3,000万円以上」の世帯では、平均でみると万ーの場合に必要なと考える生活資金のうち生命保険であてにしている金額について、すでに生命保険に加入している。



**参 考**

**問34における「6,000万円以上～7,000万円未満」の階級欠落ミスの補正方法**

問34においては、調査票の選択肢において、「6,000万円以上～7,000万円未満」の階級が欠落するというミスがあった。

そこで、分析に際しては、欠落した階級の前後より、1/3ずつ配分することで補正している。

**家族に必要な生活資金(問34)**

		総数	5,000万円以上～6,000万円未満	6,000万円以上～7,000万円未満	7,000万円以上～8,000万円未満	平均(万円)
補正前	2人以上世帯	3273	527	-	185	4597.9
		%	16.1%	-	5.7%	-
	単身世帯	909	51	-	17	2289.9
		%	5.6%	-	1.9%	-

**<補正方法>**

前後の階級より、1/3ずつ 配分



2人以上世帯	$527 \div 3 = 176$	$176 + 62 = 238$	$185 \div 3 = 62$
単身世帯	$51 \div 3 = 17$	$17 + 6 = 23$	$17 \div 3 = 6$

		総数	5,000万円以上～6,000万円未満	6,000万円以上～7,000万円未満	7,000万円以上～8,000万円未満	平均(万円)
補正後	2人以上世帯	3273	351	238	123	4635.9
		%	10.7%	7.3%	3.8%	-
	単身世帯	909	34	23	11	2305.6
		%	3.7%	2.5%	1.2%	-

クロス集計の際にも、同様の方法にて補正を行っている。

**生命保険であてにしている金額 (問34 - 1)**

問34と同様の方法にて補正を行っている。

		総数	5,000万円以上～6,000万円未満	6,000万円以上～7,000万円未満	7,000万円以上～8,000万円未満	平均(万円)
補正前	2人以上世帯	3033	307	-	73	3012.5
		%	10.1%	-	2.4%	-
	単身世帯	809	28	-	9	1626.6
		%	3.5%	-	1.1%	-
補正後	2人以上世帯	3033	205	126	49	3038.6
		%	6.7%	4.2%	1.6%	-
	単身世帯	809	19	12	6	1633.4
		%	2.3%	1.5%	0.7%	-

## 15. 加入している生命保険について (問35)

(生命保険に加入している世帯にお伺いします。)

問35(1) 生命保険に加入している方(被保険者)はどなたですか。加入している保険会社等別に、(1)加入者の欄の該当する番号にをつけてください。(はいくつでも)

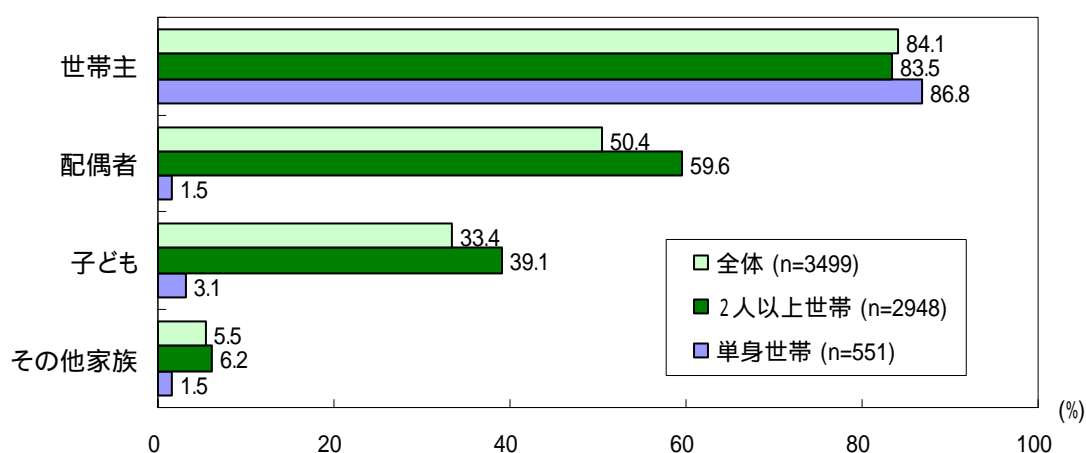
(1)加入者については、例えば、夫が単身赴任で妻が専業主婦の場合は、妻が「世帯主」で、夫は「配偶者」としてご記入ください。

### (1) 加入者 (問35 - 1 複数回答)

#### <世帯別>

生命保険に加入している世帯(n=3,499)について、加入者の内訳をみると、全体では、「世帯主」が84.1%、「配偶者」が50.4%、「子ども」が33.4%、「その他家族」が5.5%となっている。

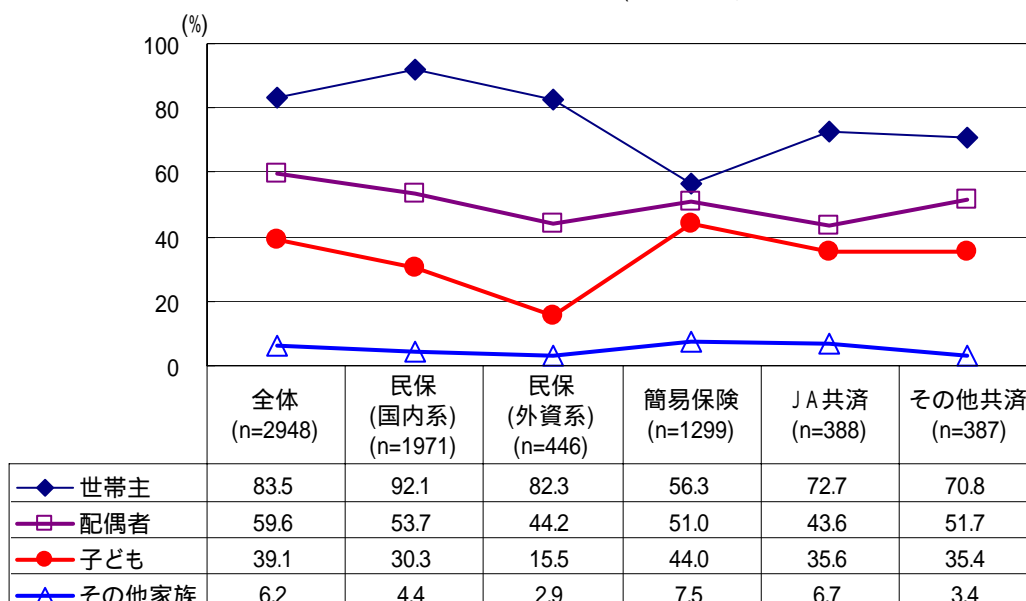
生命保険の加入者 (複数回答)



#### <現在加入している保険会社別> (2人以上世帯)

生命保険に加入している2人以上世帯(n=2,948)について、現在加入している保険会社別に加入者の内訳(不明を除く)をみると、「民保(国内系)」では「世帯主」(92.1%)が、「簡易保険」では「子ども」(44.0%)が他と比較して高くなっている。

現在加入している保険会社別 生命保険の加入者(複数回答) <2人以上世帯>

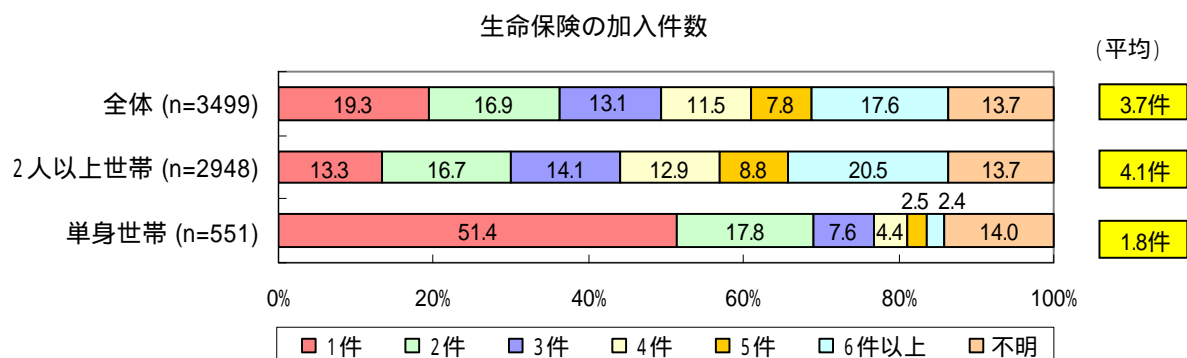


## (2) 加入件数 (問35 - 2)

(2) 加入件数については、複数の会社の保険や同一会社であっても複数の種類の保険に加入している場合などに契約件数の合計でお答えください。加入口数をいうものではありません。

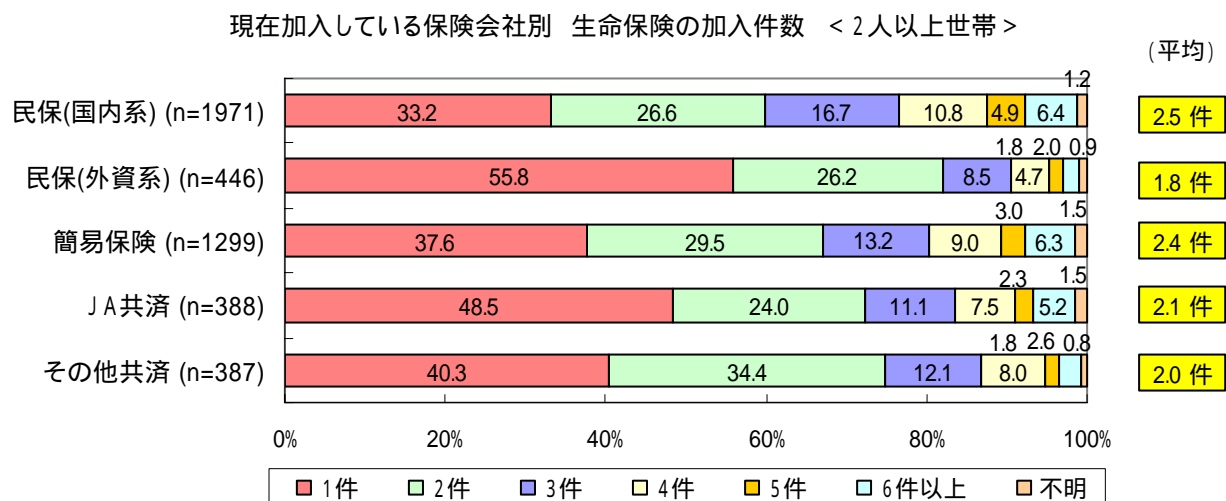
### < 世帯別 >

生命保険に加入している世帯の生命保険の平均加入件数は、全体(n=3,499)で3.7件、2人以上世帯(n=2,948)では4.1件、単身世帯(n=551)では1.8件であった。



### < 現在加入している保険会社別 > (2人以上世帯)

生命保険に加入している2人以上世帯(n=2,948)について、現在加入している保険会社別の平均加入件数をみると、「民保(国内系)」は2.5件、「民保(外資系)」は1.8件、「簡易保険」は2.4件、「JA共済」は2.1件、「その他共済」は2.0件であった。



### < 加入者別 > (全世界帯)

生命保険に加入している世帯(n=3,499)について、加入者別の平均加入件数をみると、「世帯主」は1.9件、「配偶者」は1.6件、「子ども」は2.2件、「その他家族」は2.1件であった。

	該当数	平均	1件	2件	3件	4件	5件	6件以上	不明
世帯主	2,941	1.9件	49.3%	26.5%	14.3%	5.0%	2.0%	1.7%	1.1%
配偶者	1,765	1.6件	61.8%	22.2%	9.7%	3.6%	1.0%	0.8%	0.8%
子ども	1,169	2.2件	38.8%	32.0%	13.9%	7.9%	2.7%	3.8%	0.9%
その他家族	191	2.1件	47.1%	26.7%	9.4%	5.8%	4.2%	3.1%	3.7%
全体	3,499	3.7件	19.3%	16.9%	13.1%	11.5%	7.8%	17.6%	13.7%

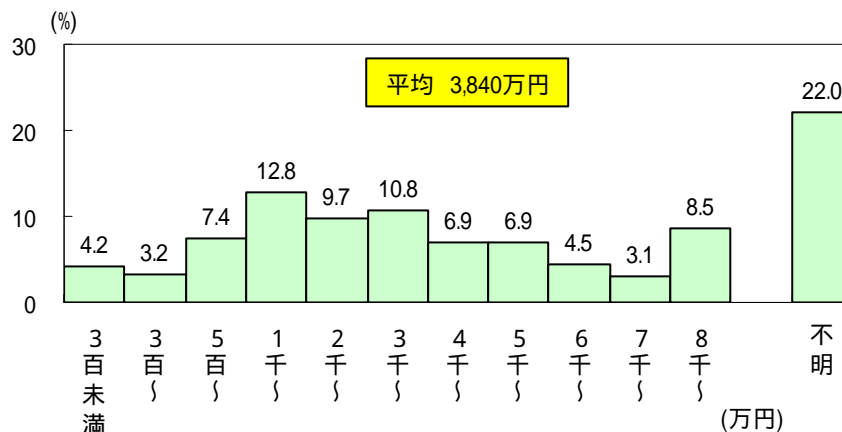
### (3) 保険金額 (問35 - 3)

(3) 保険金額については、疾病・傷害等の特約部分を除いて、死亡された場合にお受け取りになる金額でお答えください。なお、事故と病気でお受け取りになる金額が異なる場合は、病気の場合の金額をご記入ください。

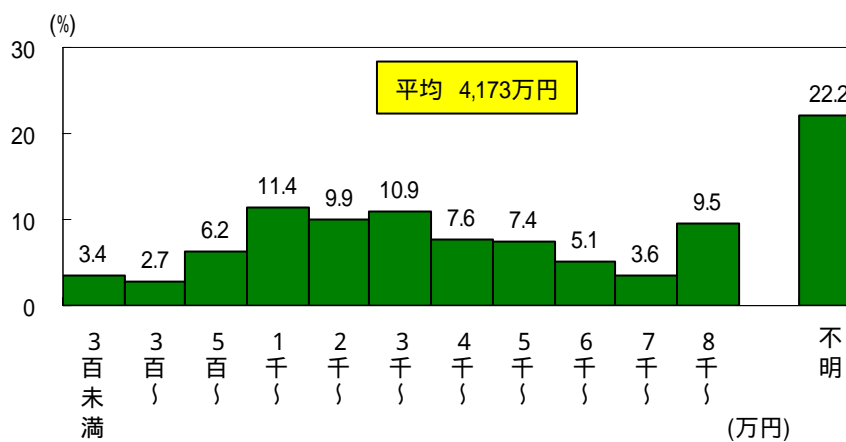
#### < 世帯別 >

生命保険に加入している世帯の生命保険の平均保険金額は、全体(n=3,499)で3,840万円、2人以上世帯(n=2,948)で4,173万円、単身世帯(n=551)で2,084万円であった。

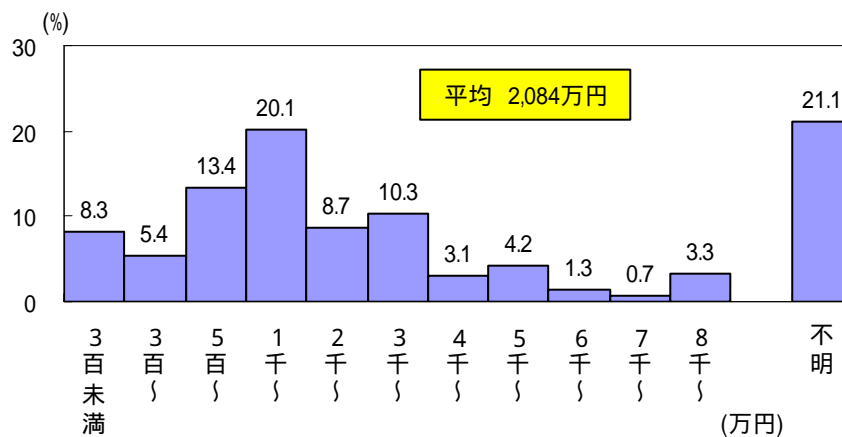
生命保険金額 < 全体 (n=3,499) >



生命保険金額 < 2人以上世帯 (n=2,948) >



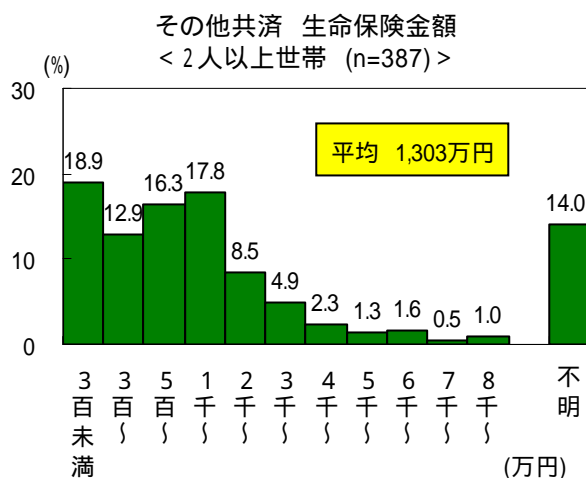
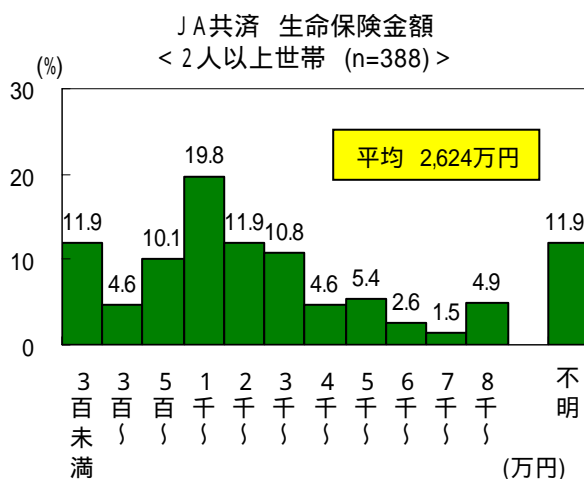
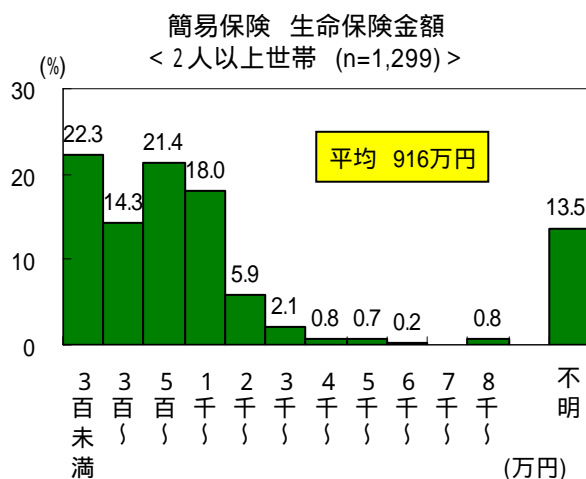
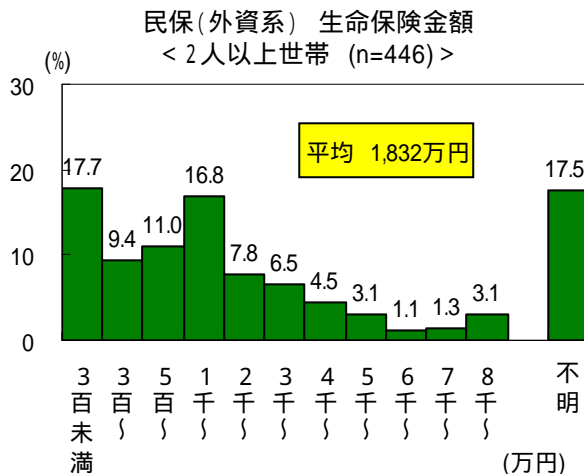
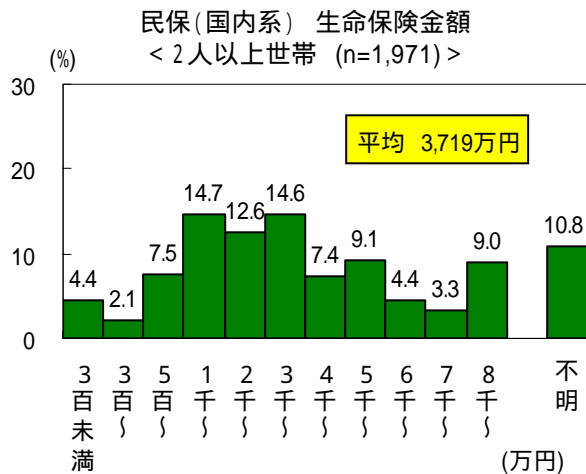
生命保険金額 < 単身世帯 (n=551) >





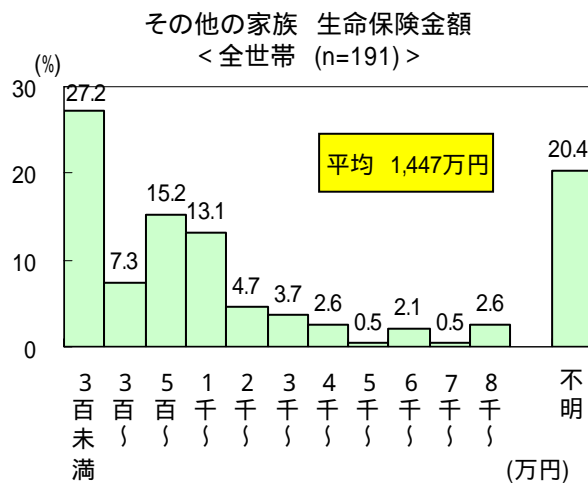
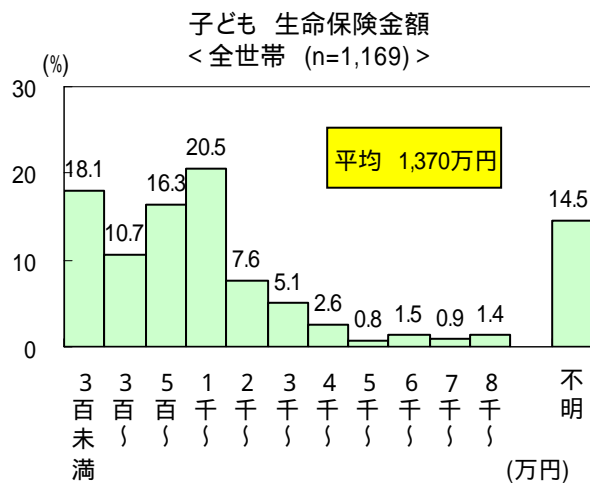
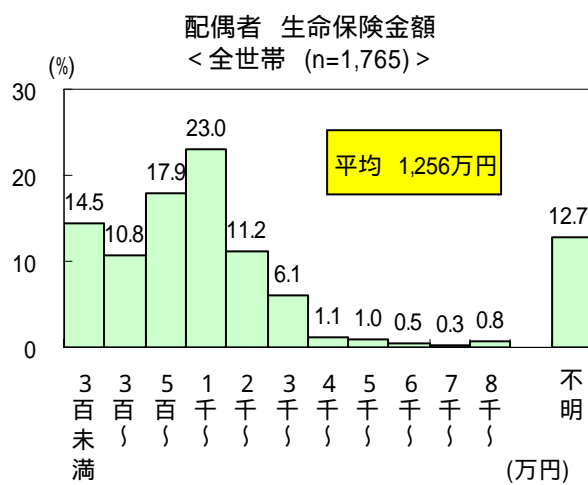
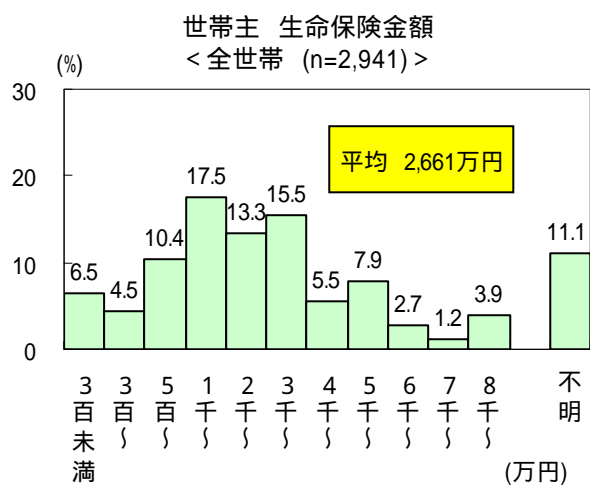
**< 現在加入している保険会社別 > (2人以上世帯)**

2人以上世帯について、現在加入している保険会社別の平均保険金額をみると、「民保(国内系)」は3,719万円、「民保(外資系)」は1,832万円、「簡易保険」は916万円、「JA共済」は2,624万円、「その他共済」は1,303万円であった。



### <加入者別> (全世帯)

加入者別の平均保険金額をみると、「世帯主」は 2,661 万円、「配偶者」は 1,256 万円、「子ども」は 1,370 万円、「その他家族」は 1,447 万円であった。



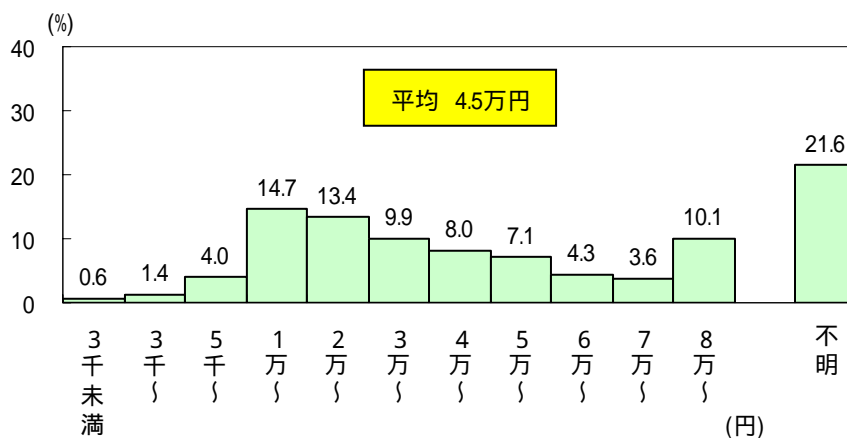
#### (4) 保険料 (問35 - 4)

(4) 保険料については、一時払、前納等の場合は、月額に換算してお答えください。なお、前納割引等がある場合は、割引後の金額でお考えください。

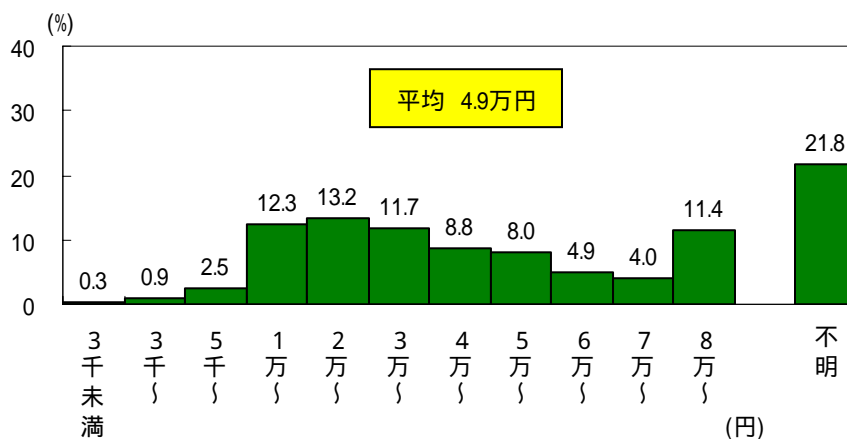
##### < 世帯別 >

生命保険に加入している世帯の生命保険の平均保険料(月額)は、全体(n=3,499)で4.5万円、2人以上世帯(n=2,948)で4.9万円、単身世帯(n=551)で2.4万円であった。

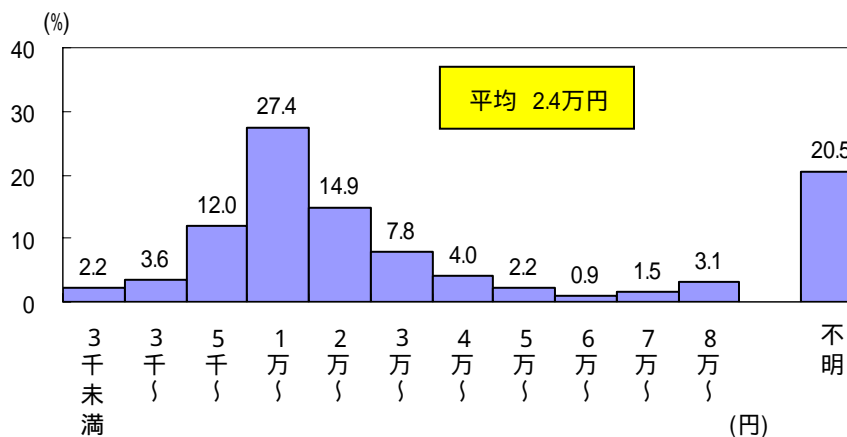
生命保険料(月額) < 全世帯 (n=3,499) >



生命保険料(月額) < 2人以上世帯 (n=2,948) >

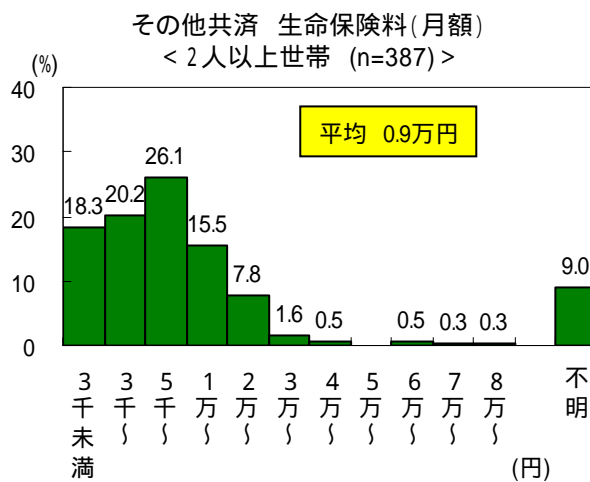
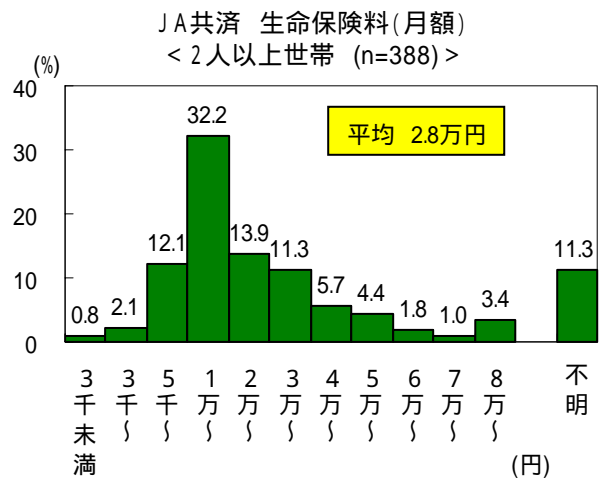
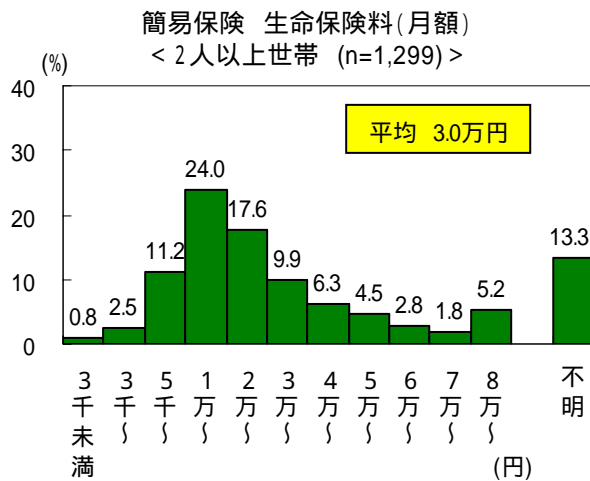
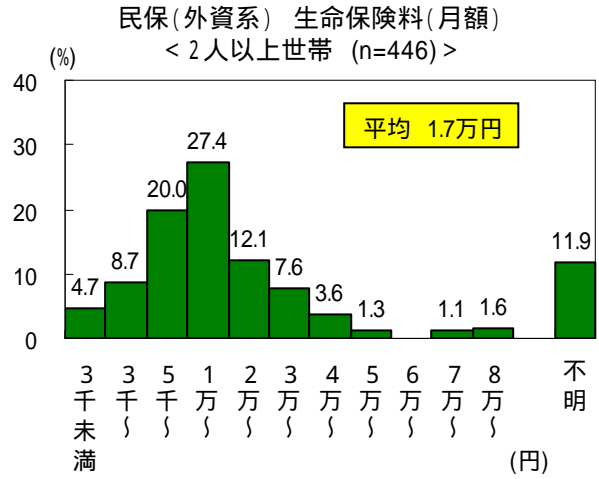
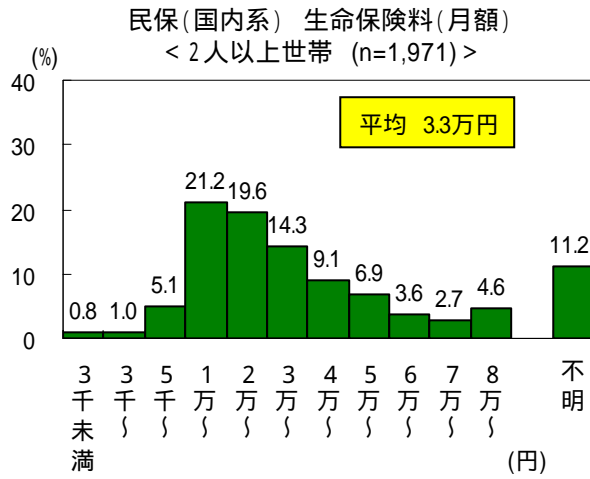


生命保険料(月額) < 単身世帯 (n=551) >



< 現在加入している保険会社別 > (2人以上世帯)

2人以上世帯について、現在加入している保険会社別の平均保険料(月額)をみると、「民保(国内系)」は3.3万円、「民保(外資系)」は1.7万円、「簡易保険」は3.0万円、「JA共済」は2.8万円、「その他共済」は0.9万円であった。



### <加入者別> (全世界帯)

加入者別の平均保険料(月額)をみると、「世帯主」は 2.7 万円、「配偶者」は 1.8 万円、「子ども」は 2.1 万円、「その他家族」は 2.4 万円であった。

